

JYOGAO

城ヶ尾遺跡 II

東九州自動車道建設(末吉IC～国分IC間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 II

縄文・古墳時代編

2003年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

(見返し)

(合紙)

(合紙)

本 文 目 次

I 旧石器時代編

第1章 発掘調査の経過

第1節 調査に至るまでの経過	1
第2節 調査の組織	1
第3節 発掘調査の概要と経過	2

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	5
第3節 遺跡の層位	11

第3章 旧石器時代の調査

第1節 第I文化層の調査	
1 調査の方法と概要	18
2 遺構	19
3 遺物	20
第2節 第II文化層の調査	
1 調査の方法と概要	31
2 遺構	31
3 遺物	41
第3節 第III文化層の調査	
1 調査の方法と概要	123
2 遺構	126
3 遺物	131
第4節 第IV文化層の調査	
1 調査の方法と概要	199
2 遺構	200
3 遺物	206
第5節 第V文化層の調査	
1 調査の方法と概要	230
2 遺物	230

II 縄文・古墳時代編

第IV章 縄文時代の調査

第1節 調査の方法と概要	1
第2節 縄文時代の遺構	1
1 Ⅰ層の遺構	1
2 Ⅱ層の遺構	43
3 Ⅲ層の遺構	79
4 Ⅳ層の遺構	86
5 Ⅴ層の遺構	91
第3節 縄文時代の土器	95
1 I類土器 前平式土器	97
2 II類 古田式土器	98
3 III類 石坂式土器	108
4 IV類 円筒形土器	119
5 V類 押型土器	121
6 VI類 下瀬壺式土器	123
7 VII類 手向山式土器	126
8 VIII類 平布式土器	126
9 IX類 塞ノ神A式土器	129
10 X類 塞ノ神B式土器	145
11 資料別組合状況および碎片化について	180
12 XI類 轟式土器	194
13 XII類 菅壺式土器	194
14 XIII類 深溝式土器	194
15 XIV類 春日式土器	196
16 XV類 磯淵土器	196
第4節 縄文時代の石器	201
1 Ⅰ層出土石器	201
2 Ⅱ～Ⅲ層出土石器	209
3 Ⅳ層出土石器	290
4 Ⅴ層出土石器	297
5 時期不明石器	298

第V章 古墳時代の調査

第1節 調査の方法と概要	302
第2節 古墳時代の遺構と遺物	302
第3節 古墳時代の遺物	307

付編 自然科学分析報告

城ヶ尾遺跡出土の耳栓に付着した赤色顔料について	323
城ヶ尾遺跡出土炭化材の糖種同定	325
城ヶ尾遺跡出土炭化物の放射性炭素年代測定	326
城ヶ尾遺跡の古植生と遺構内容物について	328

第VI章 まとめ

	334
--	-----

目 次

第234段	V層 遺構位置及び礫石検出状況図	2	第298段	V層 遺構内出土遺物 (3)	74
第235段	V層集石 (1)	3	第299段	V層 遺構内出土遺物 (4)	75
第236段	V層集石 (2)	5	第300段	V層 遺構内出土遺物 (5)	76
第237段	V層集石 (3)	6	第301段	V層 遺構内出土遺物 (6)	77
第238段	V層集石 (4)	7	第302段	V層 遺構内出土遺物 (7)	78
第239段	V層集石 (5)	8	第303段	V層 遺構位置及び礫石検出状況図	79
第240段	V層集石 (6)	9	第304段	V層集石 (1)	80
第241段	V層集石 (7)	10	第305段	V層集石 (2)	81
第242段	V層集石 (8)	11	第306段	V層集石 (3)	82
第243段	V層集石 (9)	12	第307段	V層集石 (4)	83
第244段	V層集石 (10)	13	第308段	V層集石 (5)	84
第245段	V層土坑 (1)	14	第309段	V層 遺構位置図	86
第246段	V層土坑 (2)	15	第310段	V層集石	87
第247段	V層土坑 (3)	16	第311段	V層土坑 (1)	88
第248段	V層土坑 (4)	18	第312段	V層土坑 (2)	89
第249段	V層土坑 (5)	19	第313段	V層 遺構内出土遺物	90
第250段	V層土坑 (6)	20	第314段	IV層 遺構位置図	91
第251段	V層土坑 (7)	21	第315段	IV層土坑 (1)	92
第252段	V層土坑 (8)	22	第316段	IV層土坑 (2)	93
第253段	V層土坑 (9)	23	第317段	IV層 遺構内出土遺物	94
第254段	V層土坑 (10)	25	第318段	I類～III類土器出土状況図	95
第255段	V層土坑 (11)	26	第319段	II類土器実測図 (1)	96
第256段	V層土坑 (12)	27	第320段	I類土器実測図 (2)	97
第257段	V層土坑 (13)	28	第321段	II類土器実測図 (1)	99
第258段	V層土坑 (14)	29	第322段	II類土器実測図 (2)	100
第259段	V層土坑 (15)	30	第323段	II類土器実測図 (3)	101
第260段	V層土坑 (16)	32	第324段	II類土器実測図 (4)	102
第261段	V層土坑 (17)	33	第325段	II類土器実測図 (5)	103
第262段	V層土坑 (18)	34	第326段	II類土器実測図 (6)	104
第263段	V層土坑 (19)	35	第327段	II類土器実測図 (7)	105
第264段	V層土坑 (20)	36	第328段	III類土器実測図 (1)	106
第265段	V層土坑 (21)	37	第329段	III類土器実測図 (2)	110
第266段	V層土坑 (22)	38	第330段	III類土器実測図 (3)	111
第267段	V層土坑 (23)	39	第331段	III類土器実測図 (4)	112
第268段	V層土坑 (24)	40	第332段	III類土器実測図 (5)	113
第269段	V層土坑 (25)	41	第333段	III類土器実測図 (6)	114
第270段	V層 遺構内出土遺物	42	第334段	III類土器実測図 (7)	115
第271段	V層 遺構位置及び礫石検出状況図	43	第335段	IV類～V類土器出土状況図	119
第272段	VI, V層遺構配置及び礫石検出状況	44	第336段	IV類土器実測図	120
第273段	土器埋設遺構検出状況	46	第337段	V類土器実測図	122
第274段	土器埋設遺構検出状況	47	第338段	VI類土器実測図	124
第275段	V層集石 (1)	49	第339段	V類土器実測図	126
第276段	V層集石 (2)	50	第340段	V類土器実測図	127
第277段	V層集石 (3)	51	第341段	IX類, X類土器出土状況図	129
第278段	V層集石 (4)	52	第342段	IX類土器実測図 (1)	130
第279段	V層集石 (5)	53	第343段	IX類土器実測図 (2)	131
第280段	V層集石 (6)	54	第344段	IX類土器実測図 (3)	132
第281段	V層集石 (7)	55	第345段	IX類土器実測図 (4)	133
第282段	V層集石 (8)	57	第346段	IX類土器実測図 (5)	134
第283段	V層集石 (9)	58	第347段	IX類土器実測図 (6)	135
第284段	V層集石 (10)	59	第348段	IX類土器実測図 (7)	136
第285段	V層集石 (11)	60	第349段	IX類土器実測図 (8)	137
第286段	V層土坑 (1)	61	第350段	IX類土器実測図 (9)	138
第287段	V層土坑 (2)	62	第351段	X類土器実測図 (1)	146
第288段	V層土坑 (3)	63	第352段	X類土器実測図 (2)	147
第289段	V層土坑 (4)	64	第353段	X類土器実測図 (3)	148
第290段	V層土坑 (5)	65	第354段	X類土器実測図 (4)	149
第291段	V層土坑 (6)	66	第355段	X類土器実測図 (5)	150
第292段	V層土坑 (7)	67	第356段	X類土器実測図 (6)	151
第293段	V層土坑 (8)	68	第357段	X類土器実測図 (7)	152
第294段	V層土坑 (9)	69	第358段	X類土器実測図 (8)	153
第295段	V層土坑 (10)	70	第359段	X類土器実測図 (9)	154
第296段	V層 遺構内出土遺物 (1)	71	第360段	X類土器実測図 (10)	155
第297段	V層 遺構内出土遺物 (2)	72	第361段	X類土器実測図 (11)	156

目 次

第362回	X類土器実測図(12)	157	第424回	VI～VII層層出土土器実測図(模形石器4)	244
第363回	X類土器実測図(13)	158	第425回	VI～VII層層出土土器実測図(二次加工痕のある銅片1)	245
第364回	X類土器実測図(14)	159	第426回	VI～VII層層出土土器実測図(二次加工痕のある銅片2)	246
第365回	X類土器実測図(15)	160	第427回	VI～VII層層出土土器実測図(二次加工痕のある銅片3)	247
第366回	X類土器実測図(16)	161	第428回	VI～VII層層出土土器実測図(微細銅網板のある銅片1)	248
第367回	X類土器実測図(17)	162	第429回	VI～VII層層出土土器実測図(微細銅網板のある銅片2)	249
第368回	X類土器実測図(18)	163	第430回	VI～VII層層出土土器実測図(石核1)	250
第369回	X類土器実測図(19)	164	第431回	VI～VII層層出土土器実測図(石核2)	253
第370回	X類土器実測図(20)	165	第432回	VI～VII層層出土土器実測図(石核3)	254
第371回	X類土器実測図(21)	166	第433回	VI～VII層層出土土器実測図(石核4)	255
第372回	X類土器実測図(22)	167	第434回	VI～VII層層出土土器実測図(石核5)	256
第373回	X類土器実測図(23)	168	第435回	VI～VII層層出土土器実測図(石核6)	257
第374回	X類土器実測図(24)	169	第436回	VI～VII層層出土土器実測図(石核7)	258
第375回	接合状況及び砕片化図分析対象資料	181	第437回	VI～VII層層出土土器実測図(石核8)	259
第376回	X類574土器接合状況図及び砕片化図(1)	182	第438回	VI～VII層層出土土器実測図(石核9)	260
第377回	X類579土器接合状況図及び砕片化図(2)	184	第439回	VI～VII層層出土土器実測図(石核11)	261
第378回	X類612土器接合状況図及び砕片化図(3)	186	第440回	VI～VII層層出土土器実測図(原産)	262
第379回	X類605土器接合状況図及び砕片化図(4)	188	第441回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片1)	263
第380回	X類653土器接合状況図及び砕片化図(5)	190	第442回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片2)	264
第381回	X類657土器接合状況図及び砕片化図(6)	192	第443回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片3)	265
第382回	XⅠ類～XⅤ類土器出土状況図	194	第444回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片4)	266
第383回	XⅠ類土器実測図	195	第445回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片5)	267
第384回	XⅡ類土器実測図	196	第446回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片6)	268
第385回	XⅢ類土器実測図(1)	197	第447回	VI～VII層層出土土器実測図(銅片7)	269
第386回	XⅢ類土器実測図(2)	198	第448回	VI～VII層層出土土器実測図(石片1)	272
第387回	XⅣ～XⅤ類土器実測図	200	第449回	VI～VII層層出土土器実測図(石片2)	273
第388回	V層層出土土器分布図	201	第450回	VI～VII層層出土土器実測図(大形銅器)	274
第389回	V層層出土土器実測図(石鏃)	202	第451回	VI～VII層層出土土器実測図(ハンマーストーン)	275
第390回	V層層出土土器実測図(石核)	204	第452回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石1)	276
第391回	V層層出土土器実測図(銅片)	205	第453回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石2)	277
第392回	V層層出土土器実測図(磨製石斧、大型銅器、ハンマー、磨石/磨石1)	206	第454回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石3)	278
第393回	V層層出土土器実測図(磨石/磨石2)	207	第455回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石4)	279
第394回	V層層出土土器実測図(石鏃)	208	第456回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石5)	280
第395回	VI層～VII層層出土土器分布図	209	第457回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石6)	281
第396回	VI層～VII層層出土土器出土状況図	210	第458回	VI～VII層層出土土器実測図(磨石/磨石1)	283
第397回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃1)	212	第459回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石2)	284
第398回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃2)	213	第460回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石3)	285
第399回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃3)	214	第461回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石4)	286
第400回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃4)	215	第462回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石5)	287
第401回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃5)	216	第463回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石6)	288
第402回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃6)	217	第464回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃/台石7)	289
第403回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃7)	218	第465回	V層層出土土器分布図	290
第404回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃8)	219	第466回	V層層層出土土器実測図(石鏃)	291
第405回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃9)	220	第467回	V層層層出土土器実測図(石鏃、石鏃、スクレイパー1)	292
第406回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃10)	221	第468回	V層層層出土土器実測図(スクレイパー2)	293
第407回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃11)	222	第469回	V層層層出土土器実測図(微細銅網板のある銅片・石核・銅片1)	294
第408回	VI～VII層層層出土土器実測図(大型石鏃、尖頭状石器、石鏃)	223	第470回	V層層層出土土器実測図(銅片2・磨製石斧・磨石/磨石)	295
第409回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃未製品1)	224	第471回	V層層層出土土器実測図(石鏃・スクレイパー・石鏃)	297
第410回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃未製品2)	225	第472回	V層層層出土土器実測図(銅片・磨製石斧)	298
第411回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃未製品3)	226	第473回	時期不明石器実測図(石鏃・スクレイパー)	299
第412回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃)	232	第474回	時期不明石器実測図(磨製石斧)	300
第413回	VI～VII層層層出土土器実測図(石鏃)	233	第475回	時期不明石器実測図(田石)	300
第414回	VI～VII層層層出土土器実測図(鉄入石器)	234	第476回	古墳時代遺物分布図及び遺構位置図	303
第415回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー1)	235	第477回	1号住居検出状況	304
第416回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー2)	236	第478回	1号住居完成状況	305
第417回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー3)	237	第480回	1号住居内出土遺物	306
第418回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー4)	238	第479回	1号住居内遺物集中部	306
第419回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー5)	239	第481回	1号住居内出土遺物	307
第420回	VI～VII層層層出土土器実測図(スクレイパー6)	240	第482回	2号住居検出状況及び住居内出土遺物	308
第421回	VI～VII層層層出土土器実測図(模形石器1)	241	第483回	3号住居検出状況及び住居内出土遺物	309
第422回	VI～VII層層層出土土器実測図(模形石器2)	242	第484回	4号住居検出状況	310
第423回	VI～VII層層層出土土器実測図(模形石器3)	243	第485回	4号住居内出土遺物	311
			第486回	古墳時代出土遺物(1)	312

插 圖 目 次

第487圖 古墳時代出土遺物(2).....	313
第488圖 古墳時代出土遺物(3).....	314
第489圖 古墳時代出土遺物(4).....	315
第490圖 古墳時代出土遺物(5).....	316

表 目 次

第70表 Ⅲ層遺構内出土石器觀察表.....	42	第120表 XⅤ類土器觀察表.....	200
第71表 Ⅲ層遺構内出土土器觀察表.....	42	第121表 Ⅲ層出土土器觀察表(1).....	203
第72表 Ⅲ層遺構内出土土器觀察表.....	78	第122表 Ⅲ層出土土器觀察表(2).....	205
第73表 Ⅲ層遺構内出土製品觀察表.....	78	第123表 Ⅲ層出土土器觀察表(3).....	207
第74表 Ⅲ層遺構内出土土器觀察表.....	78	第124表 Ⅲ層出土土器觀察表(4).....	208
第75表 Ⅳ層遺構内出土土器觀察表.....	90	第125表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(1).....	226
第76表 Ⅳ層遺構内出土土器觀察表.....	94	第126表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(2).....	227
第77表 Ⅰ類土器觀察表(1).....	97	第127表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(3).....	228
第78表 Ⅰ類土器觀察表(2).....	98	第128表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(4).....	229
第79表 Ⅱ類土器觀察表(1).....	101	第129表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(5).....	230
第80表 Ⅱ類土器觀察表(2).....	102	第130表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(6).....	231
第81表 Ⅱ類土器觀察表(3).....	105	第131表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(7).....	232
第82表 Ⅱ類土器觀察表(4).....	106	第132表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(8).....	237
第83表 Ⅱ類土器觀察表(5).....	107	第133表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(9).....	239
第84表 Ⅱ類土器觀察表(6).....	108	第134表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(10).....	240
第85表 Ⅱ類土器觀察表(1).....	110	第135表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(11).....	250
第86表 Ⅱ類土器觀察表(2).....	115	第136表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(12).....	251
第87表 Ⅱ類土器觀察表(3).....	116	第137表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(13).....	256
第88表 Ⅱ類土器觀察表(4).....	117	第138表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(14).....	257
第89表 Ⅱ類土器觀察表(5).....	118	第139表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(15).....	258
第90表 Ⅳ類土器觀察表.....	121	第140表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(16).....	259
第91表 Ⅴ類土器觀察表.....	123	第141表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(17).....	260
第92表 Ⅴ類土器觀察表.....	125	第142表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(18).....	262
第93表 Ⅴ類土器觀察表.....	126	第143表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(19).....	270
第94表 Ⅴ類土器觀察表.....	128	第144表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(20).....	271
第95表 Ⅴ類土器觀察表(1).....	139	第145表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(21).....	273
第96表 Ⅴ類土器觀察表(2).....	140	第146表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(22).....	275
第97表 Ⅴ類土器觀察表(3).....	141	第147表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(23).....	281
第98表 Ⅴ類土器觀察表(4).....	142	第148表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(24).....	282
第99表 Ⅴ類土器觀察表(5).....	143	第149表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(25).....	286
第100表 Ⅴ類土器觀察表(6).....	144	第150表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(26).....	287
第101表 Ⅴ類土器觀察表(7).....	145	第151表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(27).....	288
第102表 Ⅴ類土器觀察表(1).....	147	第152表 VI~Ⅷ層出土土器觀察表(28).....	289
第103表 Ⅴ類土器觀察表(2).....	149	第153表 Ⅴ層出土土器觀察表.....	296
第104表 X類土器觀察表(3).....	150	第154表 Ⅳ層出土土器觀察表.....	301
第105表 X類土器觀察表(4).....	151	第155表 時期不明土器觀察表.....	301
第106表 X類土器觀察表(5).....	170	第156表 古墳時代出土土器觀察表(1).....	317
第107表 X類土器觀察表(6).....	171	第157表 古墳時代出土土器觀察表(2).....	318
第108表 X類土器觀察表(7).....	172	第158表 古墳時代出土土器觀察表(3).....	319
第109表 X類土器觀察表(8).....	173	第159表 古墳時代出土土器觀察表(4).....	320
第110表 X類土器觀察表(9).....	174	第160表 古墳時代出土土器觀察表.....	320
第111表 X類土器觀察表(10).....	175	第161表 古墳時代出土土器觀察表.....	320
第112表 X類土器觀察表(11).....	176		
第113表 X類土器觀察表(12).....	177		
第114表 X類土器觀察表(13).....	178		
第115表 X類土器觀察表(14).....	179		
第116表 XⅠ類土器觀察表.....	195		
第117表 XⅡ類土器觀察表.....	196		
第118表 XⅢ類土器觀察表.....	199		
第119表 XⅣ類土器觀察表.....	200		

第IV章 縄文時代の調査

第1節 調査の方法と概要

縄文時代の調査は10m四方のグリッドを設定し、調査区全体にわたり全面発掘調査を行った。

遺跡の所在する周辺一帯は、噴出源や噴出時期の異なる火山噴出物が良好に堆積していることが知られていた。本遺跡でもそれに違わず条件の良い部分では、各種の火山噴出物が堆積し、それらの層を間層に、その上下に遺構、遺物が含まれていたが、台地面の先端部や、傾斜面等では削平や流失等により減少、消失している部分も見られた。

本遺跡の代表的火山噴出堆積層は、IV層に縄文時代中期から後期の目安とされる御池軽石層、V層にアカホヤ火山灰層、VI層にP-11黄褐色軽石層、IX層に薩摩火山灰層である。したがって、遺構、遺物はその間の腐植土層に発見されることとなる。

縄文時代の遺構、遺物は、X層～IV層にかけて検出している。遺構では、集石、土坑、土器埋設土坑が発見されている。

集石遺構はⅧ層(24基)、Ⅷ層(28基)、Ⅵ層(14基)、Ⅴ層(3基)の69基が発見され、土坑はⅧ層(54基)、Ⅷ層(19基)、Ⅴ層(5基)、Ⅳ層(4基)の82基を検出している。さらにⅦ層では、3個の耳栓状土製品と石器等を出土した土坑も検出している。

集石遺構のうち、Ⅶ層、Ⅵ層の集石は、半円形状(環状)に検出され、特徴的な配置、分布状況を示していた。また、Ⅶ層での集石と土坑の分布は、分布域を異にする状況が見られ、遺構の違い(機能)による場の占が異なる可能性を示していた。

特殊遺構として、Ⅶ層で完形の土器を埋設した土器埋設土坑も4基が発見されている。4基の土坑には、極めて完形品に近い状態の土器を1点ずつ設置したであろう状況が観察されている。

遺物は、X層～IV層にかけて多量に出土した。特にⅥ層、Ⅶ層の出土が顕著で、全体量の約6割を越している。特に、Ⅵ層が主要包含層のX類土器は、集石遺構を環状に取り巻くように分布し、遺構との関連性を示すとともに、特異な出土状況を提示していた。

第2節 縄文時代の遺構

集石遺構

検出した69基の集石については、各集石の検出面を基本に該当する文化層を判断し、文化層毎にまとめて記載した。また、礫の集中度合いから大きく3種に区分できるが、それぞれが複合するパターンを見られることから最終的に5つに分類した。

集石遺構の分類

集石Ⅰ類 土坑状の掘り込みに礫が集中するもの及びその可能性が高いもので、いわゆる典型的な集石遺構

集石Ⅱ類 礫は集中するが掘り込み遺構が確認されないもので、礫の底面配置が水平に観察されたもの

集石Ⅲ類 まばらに散在する礫が一定のエリアを確保するもの、集石の拡散化?

集石Ⅳ類 掘り込みを持つ集石と、掘り込み外に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ(Ⅰ類+Ⅲ類)

集石Ⅴ類 掘り込みを伴わない集中と、その周辺に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ(Ⅱ類+Ⅲ類)

土坑状遺構

検出した82基の土坑についても、土坑内の埋土堆積状況から該当する文化層を推定し、文化層毎にまとめて記述を行った。また、形状や底面に追加された掘り込み・杭痕も確認できるため、6分類した。

土坑状遺構の分類

土坑Ⅰ類 掘り込み底面がほぼ平坦をなすもの

土坑Ⅱ類 掘り込み壁面に小穴がひとつあるもの

土坑Ⅲ類 掘り込み壁面に小穴が複数あるもの

土坑Ⅳ類 掘り込み壁面以外に小穴をもつもの

土坑Ⅴ類 掘り込みが鋭角なすり鉢状を呈するもの

土坑Ⅵ類 掘り込みが2段掘りを呈し、底面がほぼ平坦なもの

Ⅶ層～Ⅳ層にかけて、15基の遺構内から遺物が確認された。土器の類別については後述の第IV章第3節において行われた設定に基づき記述した。

Ⅰ Ⅶ層の遺構

集石遺構

Ⅶ層では24基の集石を検出した。集石は、A地区西側傾斜面よりと、B地区及びC地区に散在する。E、F-15、16区には土坑を含め、やや遺構が集中する傾向がある。

Ⅰ号集石(第235図)

D-17区で検出した。安山岩と砂岩を使用し、10～15cmの大型の礫が多い。礫は約60cmの円形状に密集し、一部の礫には黒いスス状の付着物がみられ、また、被熱により赤化し、熱破砕した小礫もみられる。

掘り込みラインは確認していないが、礫の底面配置観察からは土坑状の掘り込み遺構を有した可能性が高い。また、中央部がやや窪み礫が整然と配置されることから、集石の可能性も伺える。

(集石1類)

2号集石 (第235図)

F-15区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部花崗岩らしき礫も混じる。10cm以下の小型の礫が多く、礫は約60cmの円形状に集中し、中心部に被熱により赤化し、熱破砕した小礫がみられる。

掘り込みラインは確認できないが、礫集中度合いや礫の底面配置や断面観察から掘り込みを有した可能性が高い。

(集石1類)

3号集石 (第235図)

F-10区で検出した。砂岩主体の礫を使用し、若干安山岩が混じる。10cm前後の中型の礫と大型の礫が多い。中心部の礫は被熱により赤化がみられる。

長径65cm、短径62cmのほぼ円形で、礫上面からの深さ20cmの掘り込みが確認された。礫は数段に重なり合い、非常に良好な残存状況を示す。

(集石1類)

4号集石 (第235図)

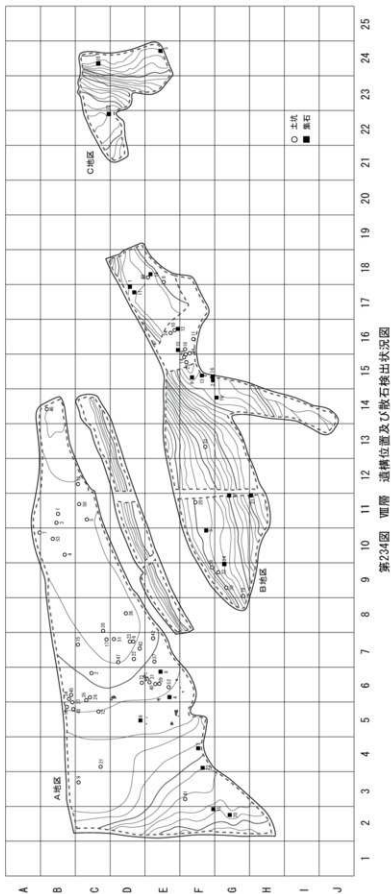
E-6区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部砂岩も混じる。小型の角礫が多く、わずかに被熱による赤化した礫がみられ、中心部には小礫が集中する。

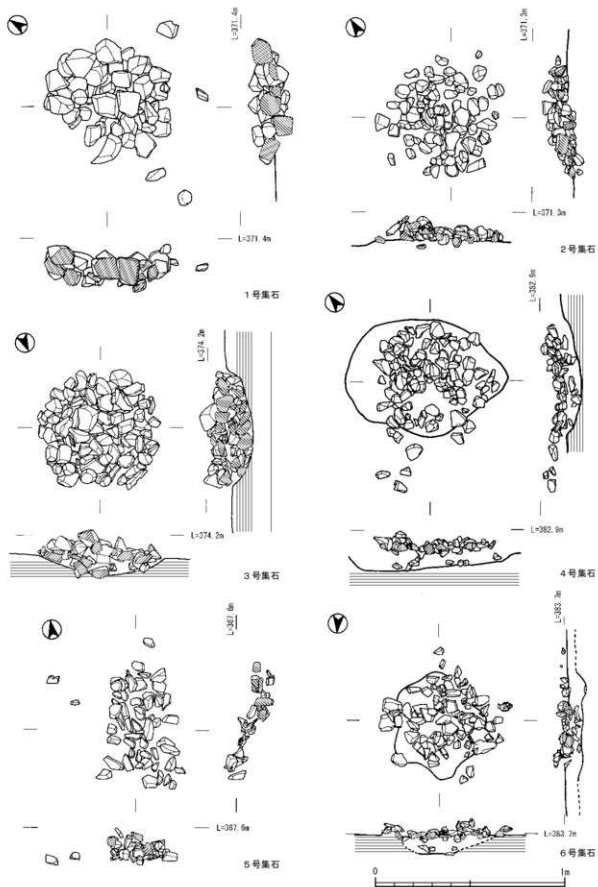
土坑は、長径87cm、短径63cmの楕円形で、Ⅹ層中に黒褐色土を埋土とする。礫上面からの深さ15cmで土坑の床面を確認し、礫のほとんどは土坑を被覆するような状態で床面より上位で検出し、底面付近には数点の礫が確認された。

(集石1類)

5号集石 (第235図)

E-24区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、中型から大型の礫が多い。被熱により黒変した礫がみられる。礫集中部の南側にみられる礫は、やや盛り上がりを見せ、雑多に積み上げたような状況であった。北側の礫集中部は断面観察で中心部が窪むことから、明確なラインは確認できていないが掘り込みを





第235图 Ⅷ层集石 (1)

伴った可能性が高い。

(集石Ⅰ類)

6号集石 (第235図)

D-5区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部砂岩、頁岩が混じる。小型の礫が多く、一部には被熱による赤化がみられる。

Ⅸ層中に暗褐色土を埋土とする。長径57cm、短径47cm、礫上面からの深さ13cmの掘り込みを確認した。礫は掘り込みを被覆する状態で検出され、掘り込み内には数点の小礫がみられるのみである。

(集石Ⅰ類)

7号集石 (第236図)

F-4区で検出した。安山岩が使用され、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化がみられる。

20数点の礫が集中するが、掘り込み等を伴った痕跡はみられない。

(集石Ⅱ類)

8号集石 (第236図)

E-6区で検出した。安山岩が使用され、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化している。礫がコンパクトにまとまる。

40cm×30cmの範囲に礫が集中し、ほぼ水平に接地することから掘り込み等は無いと判断される。

(集石Ⅱ類)

9号集石 (第236図)

F-15区で検出した。堆積岩系の礫と安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。礫は被熱により赤化し、一部は熱破砕している。

70cm×60cmの範囲に散在する。

(集石Ⅲ類)

10号集石 (第236図)

E-16区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から大型の礫が多い。被熱の状況はほとんどうかがえない。15cmを越す礫が集まるが、接地は水平とみられる。

(集石Ⅱ類)

11号集石 (第236図)

D-17区で検出した。安山岩を使用し、砂岩がわずかに混じる。中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化、黒変するものがみられる。砂岩製の磨石 (第270図) が共存する。

検出では、礫の接地は水平と判断した。

(集石Ⅲ類)

12号集石 (第236図)

E-16区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、大型の礫と小型の礫が多い。中心部の礫は被熱により赤化がみられる。一部熱破砕した礫もみられる。

50cm×70cmの範囲に集中する。

(集石Ⅱ類)

13号集石 (第237図)

F-15区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、大型から中型の礫が多い。礫の半数程度は被熱により赤化し、一部は熱破砕している。

中央部がわずかに窪む東側の礫集中部は、断面から掘り込みを有した可能性がうかがえる。西側にみられる礫はわずかに集中部より高く、傾斜に沿って流れたような状況を呈している。

(集石Ⅰ類)

14号集石 (第237図)

E-18区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中型の摩滅した角礫が多い。被熱の様子はあまりうかがえない。調査時の標高計算に誤りがあり実際のデータは不明である。

150cm×150cmの範囲に散在する。

(集石Ⅲ類)

15号集石 (第238図)

F-2区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫集中部の礫に被熱により赤化しているのがみられる。

集石と、それを取り巻く散在礫で構成する。15号集石(50cm×50cm)は中央付近が窪み、断面観察等から掘り込みを有した可能性が高い。集石周辺の礫は、水平状に散在する。

(集石Ⅳ類)

16号集石 (第239図)

F-15区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の礫が多い。中心付近の礫は被熱により赤化している。

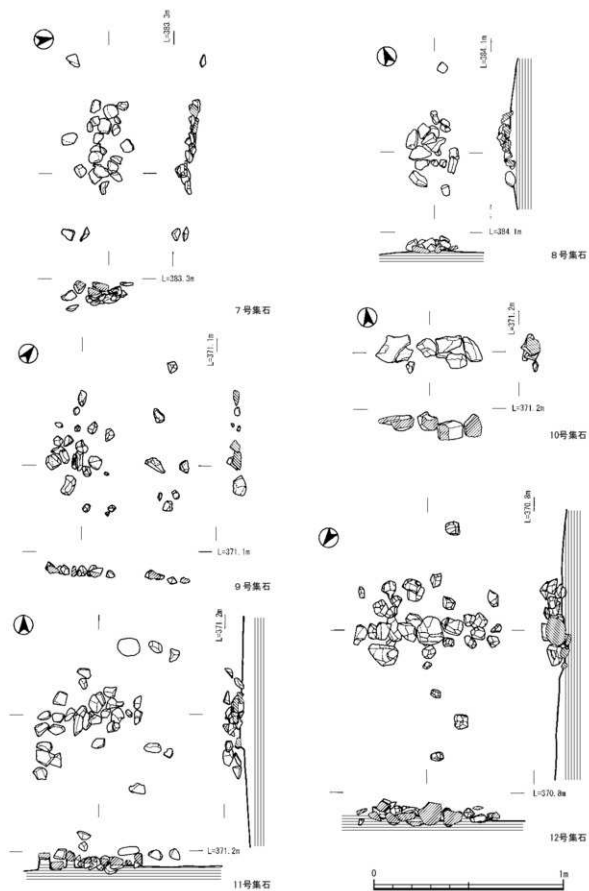
平面図と断面図に掘り込みの記載があるが、断面図に反映されず礫との関係が不明である。礫分布も上下2枚に分かれるように見える部分があり、2基の礫群が重なり合っている可能性も考えられる。今回は1基と判断した。

(集石Ⅱ類?)

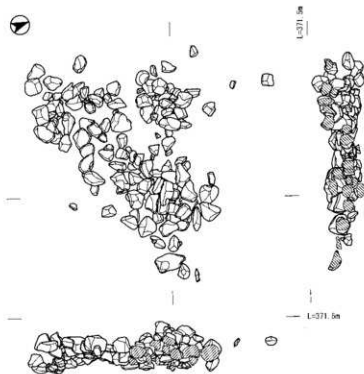
17号集石 (第239図)

G-11区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の角礫が多い。礫は被熱により赤化していて、中心部には炭化物粒も認められる。

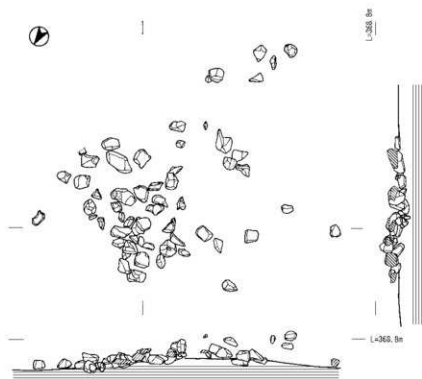
集石部(60cm×70cm)と周辺部から成り、集石部は円形



第236图 VII层集石 (2)



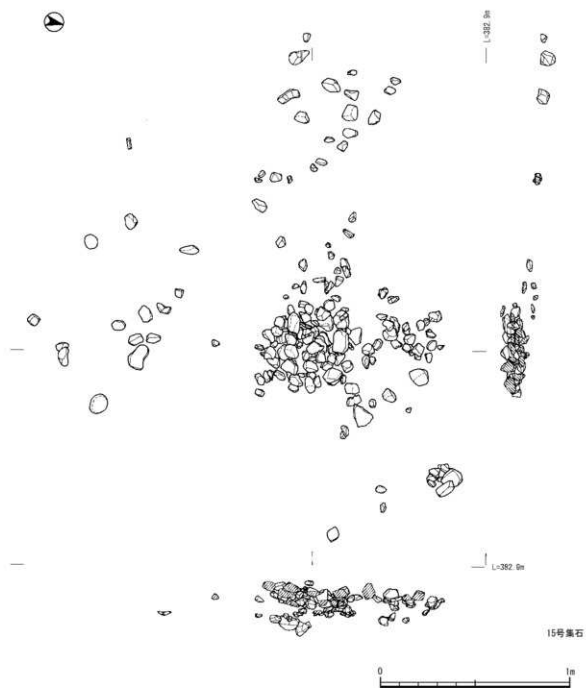
13号集石



14号集石



第237図 VII層集石 (3)



第238図 Ⅷ層集石 (4)

状の配置が見られ、南北方向の接地状況からは掘り込みの可能性を示している。集石部からはみ出した南側の礫は水平に接地する。

(集石Ⅳ類)

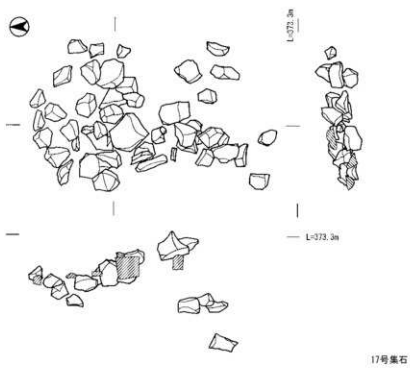
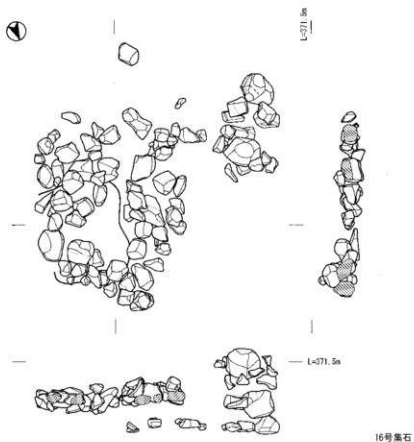
18号集石 (第240図)

C-24区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の

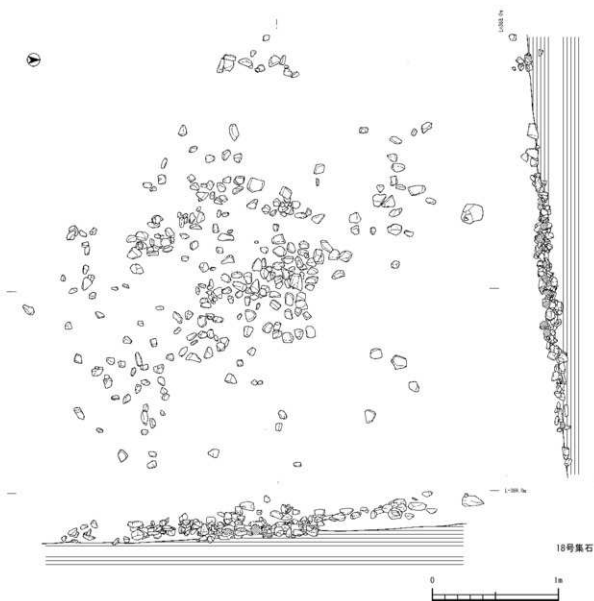
角礫が多い。一部の礫には被熱による赤化、黒変がみられる。

300cm×300cmの広範囲に、南東方向に緩やかに傾斜しながら礫が散在する。中央部付近では、集中する傾向も見られるが希薄である。

(集石Ⅲ類)



第239図 VII層集石 (5)



19号集石 (第241回)

G-14区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。小型から中型の礫が多い。集中部の礫は被熱により赤化しているものが多い。周辺に若干炭化物粒がみられる。

IX層上面で長径85cm、短径80cm、礫上面からの深さ25cmの掘り込みが確認された。掘り込みはX層まで達している。掘り込み内には礫が集中し、集石を構成する。この集石部と、集石外の南から東に水平に散在する礫で構成する。

(集石IV類)

第240回 Ⅷ層集石 (6)

20号集石 (第242回)

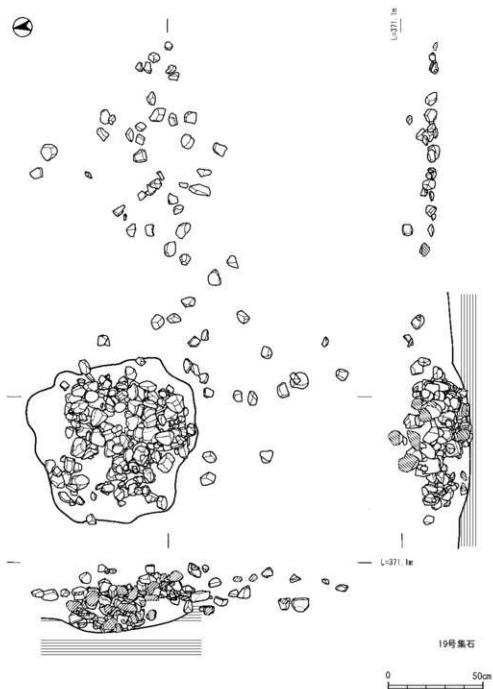
G-2区で検出した。安山岩の小型礫を使用する。礫は被熱により赤化し、熱破砕した礫も多い。礫周辺には焼土と若干の炭化物粒が確認された。

1基の集石として取り扱ったが、元来2基で、2基とも掘り込みを伴う集石の可能性が高い。特に、南側の集石は掘り込み中に整然と収まる。

(集石I類)

21号集石 (第242回)

H-11区で検出した。砂岩、安山岩を使用する。礫は被



第241図 VII層集石 (7)

熱による赤化，黒変がみられ，一部は熱破砕している。
(集石Ⅲ類)

22号集石 (第243図)

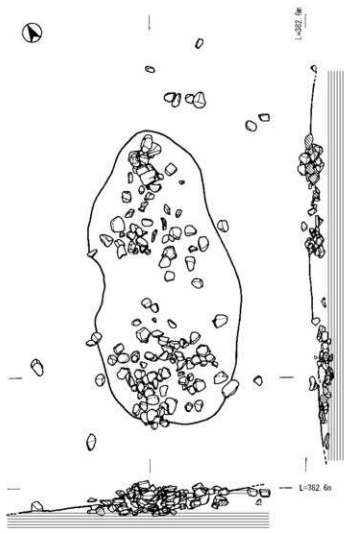
C-22区で検出した。安山岩を使用し，若干砂岩が混じる。中型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。
(集石Ⅲ類)

23号集石 (第243図)

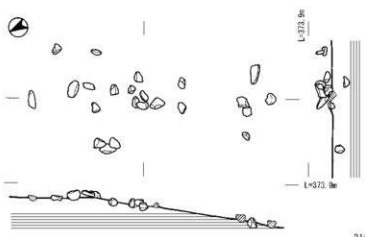
F-4区で検出する。小型の礫を使用し，一部は被熱により赤化している。
(集石Ⅲ類)

24号集石 (第244図)

G-9区で検出した。砂岩，安山岩を使用する。礫は被熱により赤化し，一部は熱破砕している。
(集石Ⅲ類)



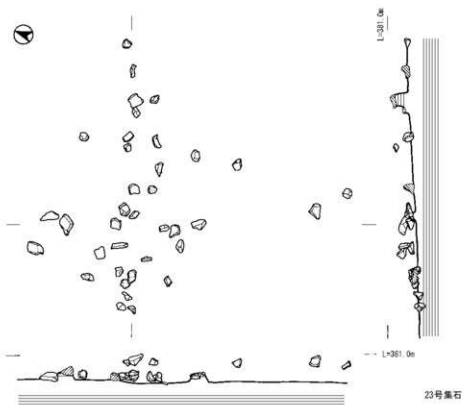
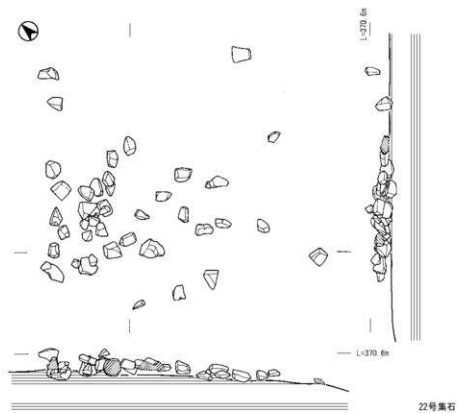
20号集石



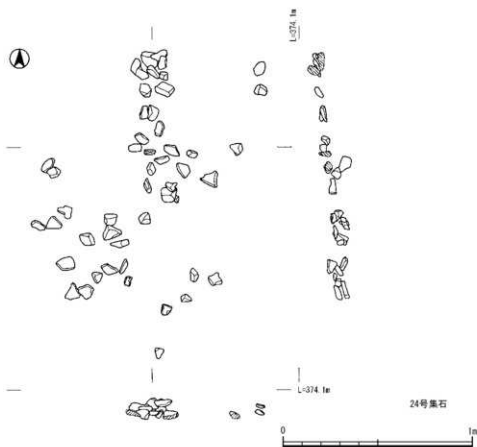
21号集石



第242図 VII層集石 (8)



第243図 Ⅴ層集石(9)



第244図 VII層集石 (10)

土坑

Ⅶ層では54基の土坑を検出した。土坑の分布はA地区、B地区に見られ、A地区においては東よりに偏在する。B地区においては散在するが、F-15、16区に集中する傾向が見られる。

1号土坑 (第245図)

B-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プラン円形で長軸88cm、短軸82cm、深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦である。

(土坑Ⅰ類)

2号土坑 (第245図)

C-6区、Ⅸ層上面で検出した。平面プラン円形で長軸113cm、短軸93cm、深さは検出面から26cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み西側壁の立ち上がりが緩やかなのは崩壊したためと考えられる。

(土坑Ⅰ類)

3号土坑 (第246図)

B-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸73cm、短軸53cm、深さは検出面から44cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑Ⅰ類)

4号土坑 (第246図)

B-10区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸108cm、短軸66cm、深さは検出面から20cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑Ⅰ類)

5号土坑 (第246図)

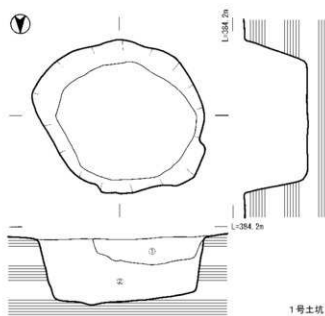
C-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸110cm、短軸69cm、深さは検出面から22cmである。底面は平坦で掘り込み壁東側の立ち上がりは緩やかである。

(土坑Ⅰ類)

6号土坑 (第247図)

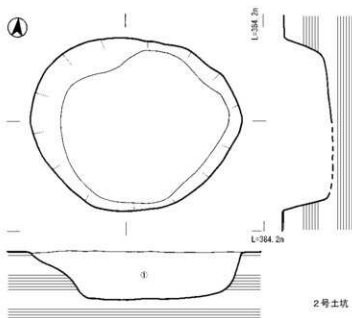
D-7区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸109cm、短軸62cm、深さは検出面から16cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑Ⅰ類)



1号土坑

①	暗茶褐色土、10mmほどの黄褐色ハリスが混じる。
②	黒褐色土、5mmほどの黄褐色ハリスが混じる。

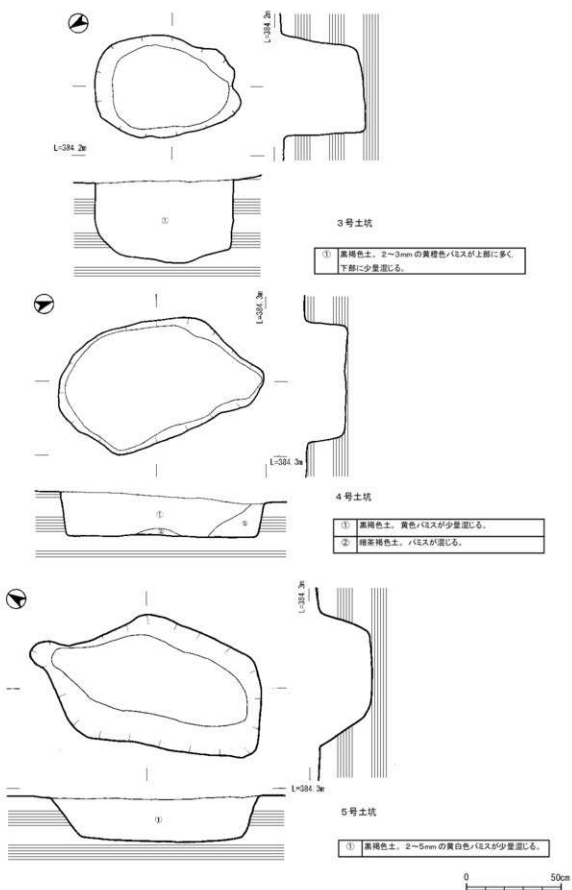


2号土坑

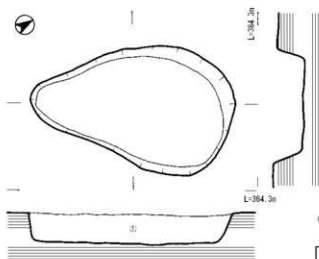
①	黒褐色土、2~5mmの褐色ハリスが点在する。
---	------------------------



第245図 Ⅱ層土坑 (1)

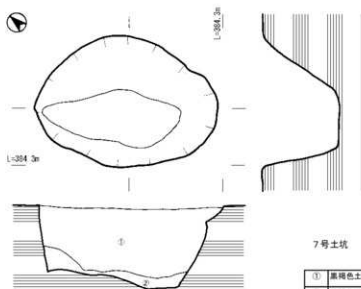


第246図 Ⅷ層土坑(2)



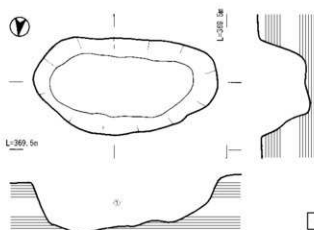
6号土坑

① 黒褐色土。3cmほどのサツマブロックが混じり、2mmほどの黄色ハリスも点在する。



7号土坑

① 黒褐色土。黄色ハリスが混じる。
② 黄褐色土。腐植による定質化が進んだものと思われる。



8号土坑

① 黒色土。5～20mmのサツマハリスが点在する。

0 50cm

第247図 Ⅷ層土坑 (3)

7号土坑 (第247図)

A-10区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸97cm、短軸69cm、深さは検出面から39cmである。底面はやや傾斜をもっている。
(土坑Ⅰ類)

8号土坑 (第247図)

E-18区、ⅩⅢ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm、短軸52cm、深さは検出面から25cmである。底面には凹凸がみられる。
(土坑Ⅰ類)

9号土坑 (第248図)

C-3区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸109cm、短軸42cm、深さは検出面から38cmである。底面北側にはわずかな窪みがみられ、掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。
(土坑Ⅰ類)

10号土坑 (第248図)

E-16区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸164cm、短軸123cm、深さは検出面から21cmで、やや大型の土坑である。底面はほぼ平坦である。
(土坑Ⅰ類)

11号土坑 (第249図)

F-16区、Ⅹ1層で検出した。平面プランはほぼ円形と思われるが一部に突出する部分が見られる。長軸156cm、短軸125cm、深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で、埋土中から礎1点と黒曜石チップが6点出土した。
(土坑Ⅰ類)

12号土坑 (第249図)

C-5区、Ⅸ層で検出した。平面プランは不定形で、長軸108cm、短軸60cm、深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦で、西側に若干の窪みが見られる。土坑埋土中から黒曜石チップが3点出土した。
(土坑Ⅰ類)

13号土坑 (第250図)

C-12区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは長方形で長軸180cm、短軸70cm、深さは検出面から27cmである。底面は平坦である。掘り込みが丁寧で、このタイプの土坑は13号1基のみである。
(土坑Ⅰ類)

14号土坑 (第250図)

F-15区、Ⅹ1層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸81cm、短軸54cm、深さは検出面から35cmである。

底面は東側にやや傾斜し、長軸東端に深さ43cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

15号土坑 (第251図)

C-7区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸104cm、短軸59cm、深さは検出面から29cmである。底面は南側にやや傾斜し、長軸南端に深さ75cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

16号土坑 (第251図)

B-5区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm、短軸69cm、深さは検出面から53cmである。底面は南東側にやや傾斜し、長軸南東端に深さ55cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

17号土坑 (第252図)

C-7区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸76cm、短軸53cmを、深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で、長軸東端に深さ28cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

18号土坑 (第252図)

F-16区、Ⅹ1層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸端部が一部突出する。長軸134cm、短軸85cm、深さは検出面から36cmである。底面は南東側にやや傾斜し、長軸南東端に深さ76cmの小穴がみられる。埋土中から土器片10点が出土した。
(土坑Ⅱ類)

19号土坑 (第253図)

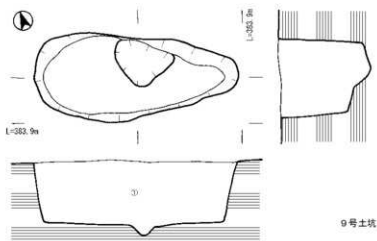
G-9区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm、短軸52cm、深さは検出面から35cmである。底面は南側にやや傾斜し、長軸北端に深さ77cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

20号土坑 (第253図)

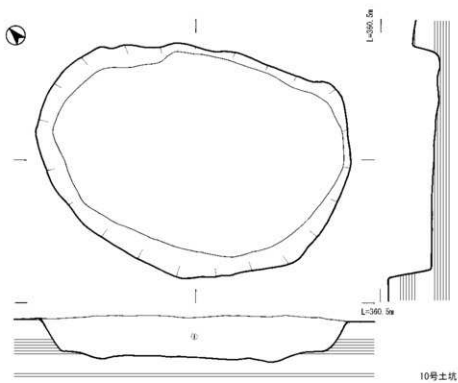
F-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸87cm、短軸55cm、深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で、長軸西端に深さ61cmの小穴がみられる。
(土坑Ⅱ類)

21号土坑 (第254図)

C-4区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸88cm、短軸50cm、深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で、長軸北端に深さ30cmの小穴がみられ



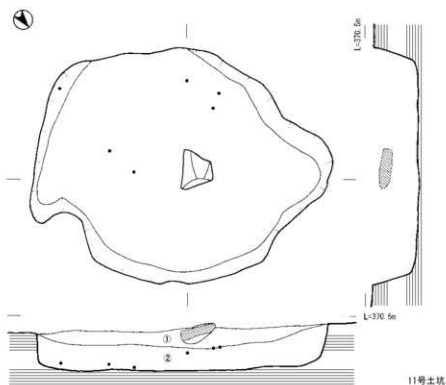
① 黒褐色土。1～5mmの褐色ハリスが混じる。



① 黒色土。サツマハリスが混じる。

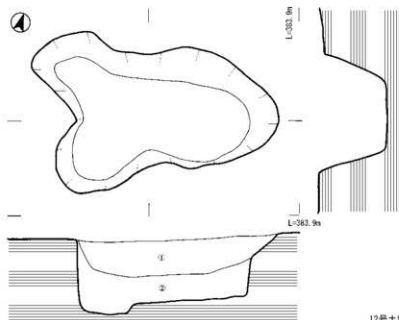


第248図 Ⅷ層土坑 (4)



11号土坑

①	黒褐色土。サツマノビスが混じる。
②	黒色土。

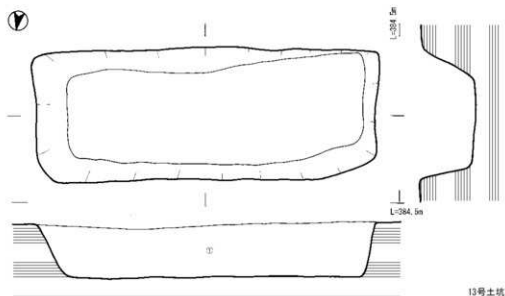


12号土坑

①	灰褐色土。2～30mmの橙色ノビスが点在し、5mmほどの灰化物がわずかに混じる。
②	黒褐色土。10～50mmの橙色ノビスが混じる。

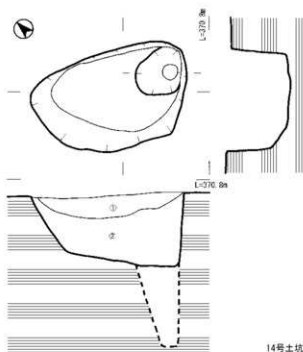


第249図 Ⅱ層土坑(5)



13号土坑

① 黒褐色土。2~3mmの黄白色ハリスが混じる。

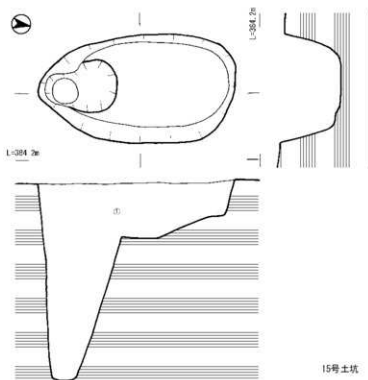


14号土坑

①	黒褐色土。
②	黒色土。

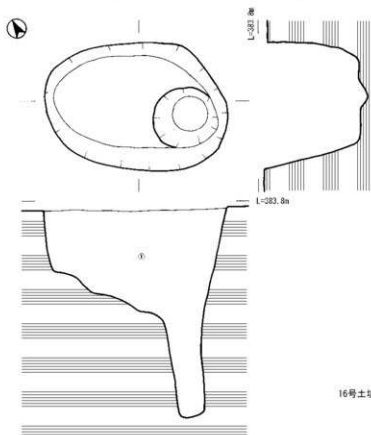
0 50cm

第250図 Ⅱ層土坑 (6)



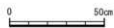
15号土坑

① 黒褐色土。2~3mmの黄色パリスが存在する。

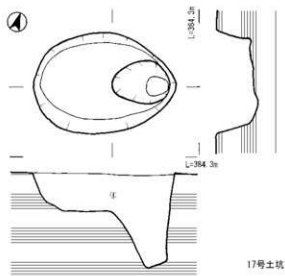


16号土坑

① 黒褐色土。1~3mmの黄色パリスが存在する。

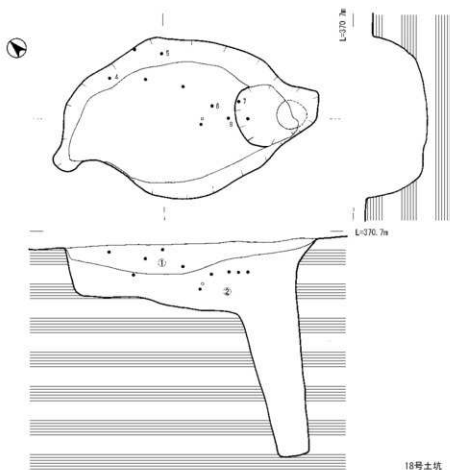


第251図 Ⅷ層土坑 (7)



17号土坑

① 黒褐色土。1～3mmの黄色パイスが存在する。



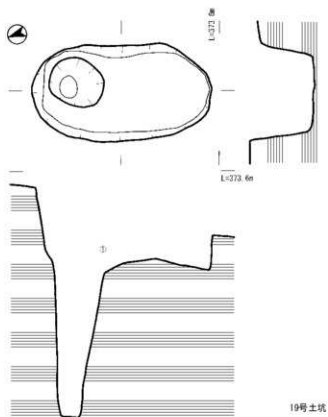
18号土坑

① 黒褐色土。サツマハリスが若干混じる。

② 黒色土。

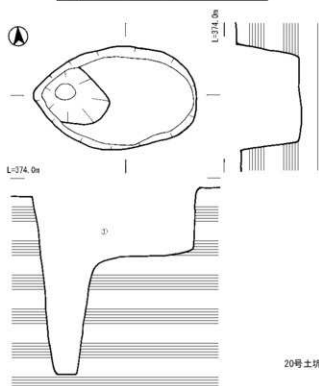


第252図 Ⅷ層土坑 (8)



19号土坑

① 黒色土、黄色パワスが混じる。



20号土坑

① 黒褐色土。



第253図 Ⅷ層土坑 (9)

る。

(土坑Ⅱ類)

22号土坑 (第254図)

D-7区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm、短軸79cm、深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で、長軸西端に平面不定形の内部で段を有する小穴がみられる。小穴の深さは55cmである。

(土坑Ⅱ類)

23号土坑 (第255図)

D-7区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm、短軸64cm、深さは検出面から53cmである。底面はほぼ平坦で、長軸北東端に深さ21cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

24号土坑 (第256図)

E-16区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm、短軸69cm、深さは検出面から26cmである。底面は北西側にやや傾斜し、長軸北西端に深さ64cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点と礎1点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

25号土坑 (第256図)

F-15区、X I層上面で検出した。検出時点で一部削平を受けていたため、平面プランは確定できないがおそらく楕円形であると思われる。長軸92cm、短軸不明、深さは検出面から41cmある。底面はほぼ平坦で、長軸北端で深さ69cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

26号土坑 (第256図)

C-6区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸103cm、短軸66cm、深さは検出面から35cmである。底面は南東側にやや傾斜し、長軸南東端に深さ21cmの先細りの小穴がみられる。また中央やや北西よりに小さな落ち込みがみられる。類別に苦慮するが掘り込み壁に接して小穴が存在することから、ここではⅡ類と判断した。

(土坑Ⅱ類)

27号土坑 (第257図)

B-5区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸70cm、短軸37cm、深さは検出面から21cmである。底面は南西側にやや傾斜し、長軸南西端に深さ21cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

28号土坑 (第257図)

C-8区、IX層上面で検出した。検出時点で一部削平を受けていたため平面プランは確定できないが、おそらく不定型であると思われる。長軸不明、短軸59cm、深さは検出面から41cmである。底面は南西側にやや傾斜し、南西端に深さ24cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

29号土坑 (第257図)

F-15区、X I層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm、短軸47cm、深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で、長軸北東端に深さ26cmの小穴がみられる。埋土中から土器小片1点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

30号土坑 (第258図)

G-9区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm、短軸59cm、深さは検出面から45cmである。底面はほぼ平坦で、長軸北西端に深さ55cmの小穴がみられる。小穴は上部径は広いが下部では先細りとなる。

(土坑Ⅱ類)

31号土坑 (第258図)

E-6区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸118cm、短軸63cm、深さは検出面から73cmである。底面は南側にやや傾斜し、長軸南端に深さ37cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

32号土坑 (第259図)

G-9区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸86cm、短軸63cm、深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で、北端に深さ25cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

33号土坑 (第259図)

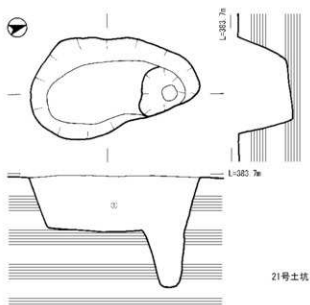
F-13区、X I層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸119cm、短軸66cm、深さは検出面から83cmである。底面はやや傾斜し、長軸端部に深さ35cmの小穴がみられる。方位記載漏れのため長軸方向等は不明である。

(土坑Ⅱ類)

34号土坑 (第260図)

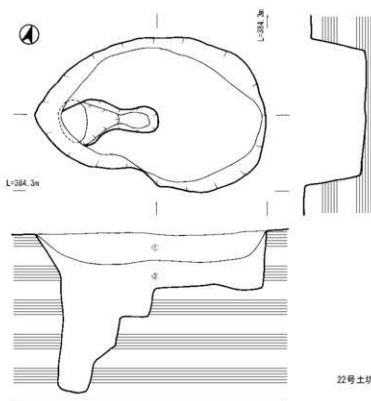
B-6区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm、短軸65cm、深さは検出面から10cmである。底面は南西側にやや傾斜し、長軸南西端に深さ41cmの小穴がみられる。小穴は他と比較して大型である。

(土坑Ⅱ類)



21号土坑

① 黒褐色土。1~3mmの黄色パズルが存在する。

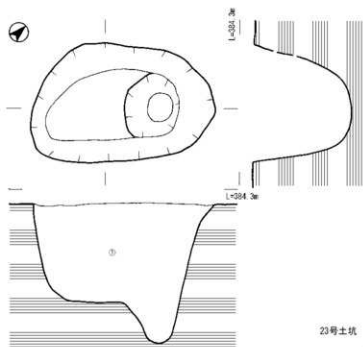


22号土坑

① 黄褐色粘土質黄灰色土。Ⅲ~ⅤI層の遺土と思われる。
② 黒褐色土。暗層土に類似する。

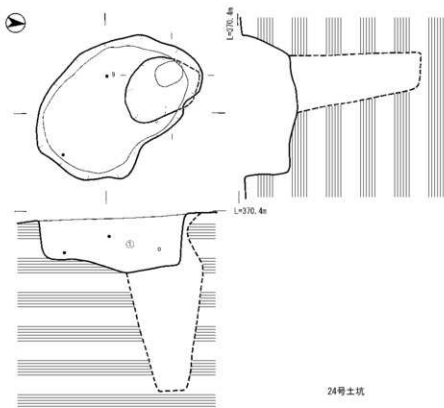


第254図 Ⅷ層土坑 (10)



23号土坑

① 黄褐色土。2mmほどの黄色ハリスが存在する。

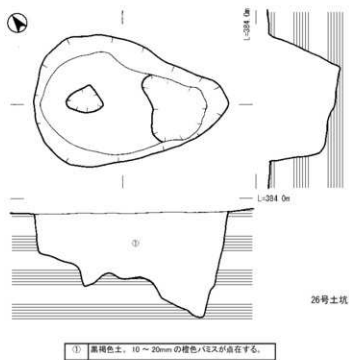
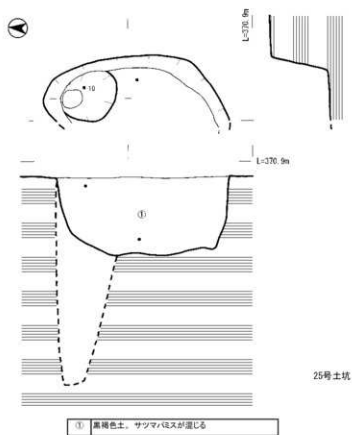


24号土坑

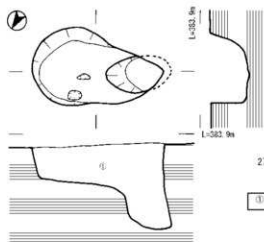
① 黄褐色土。サツマハリスが混じる。

0 50cm

第255図 VII層土坑 (11)

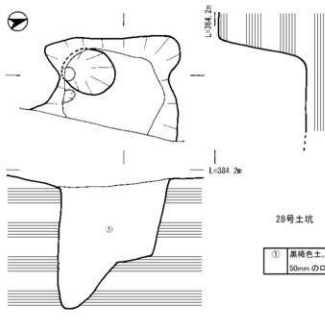


第256図 Ⅷ層土坑 (12)



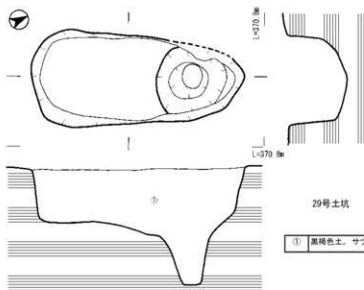
27号土坑

① 黒褐色土。1～3mmの黄色ハリスが点在する。



28号土坑

① 黒褐色土。20～30mmのサツマブロックと30～50mmのローム（X1層土）ブロックが混じる。

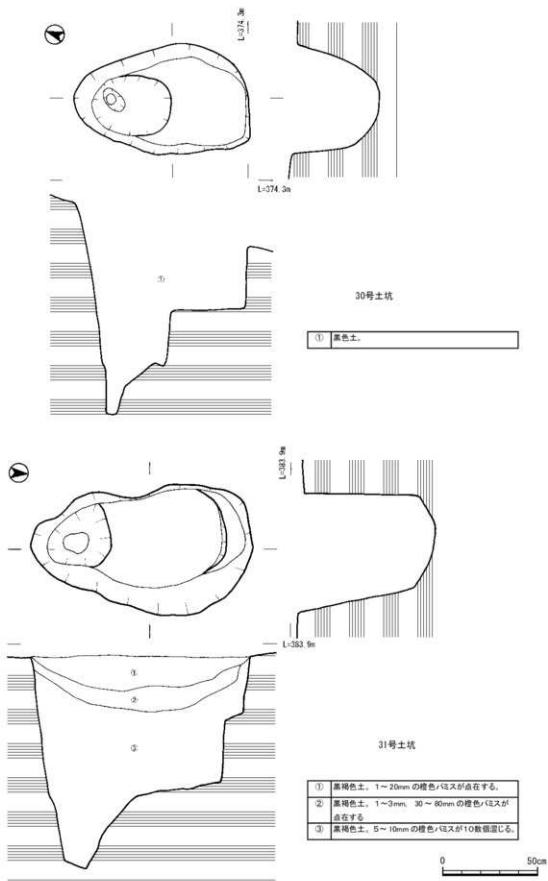


29号土坑

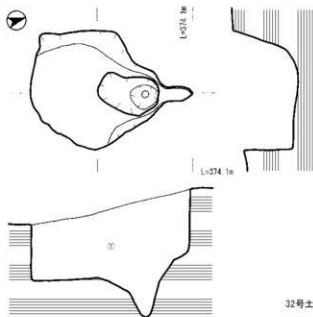
① 黒褐色土。サツマハリスが混じる。



第257図 Ⅷ層土坑 (13)

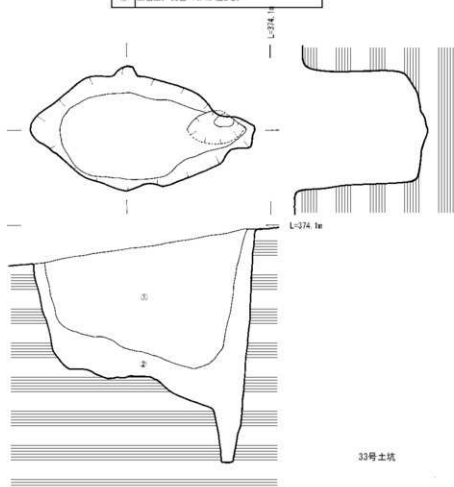


第258図 Ⅷ層土坑 (14)



32号土坑

① 黒色土、黄色パリスが混じる。



33号土坑

① 黒褐色土、2~3mmの黄白色パリス、20~30mmの黄色パリスが混じる。
② 黒色土、ローム（X I層土）が混入する。

0 50cm

第259図 Ⅷ層土坑 (15)

35号土坑 (第260図)

C-5区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸88cm、短軸49cm、深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で、長軸南東端に深さ27cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

36号土坑 (第260図)

D-8区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸105cm、短軸57cm、深さは検出面から53cmである。底面には細長い段掘りが行われ、南西側にやや傾斜している。段掘り下部南西端に深さ7cmの小穴がみられる。類別に苦慮するが掘り込み壁に接して小穴が存在することから、ここではⅡ類と判断した。

(土坑Ⅱ類)

37号土坑 (第261図)

E-7区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸72cm、短軸49cm、深さは検出面から60cmである。底面は南東側にやや傾斜し、長軸南東端に深さ17cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

38号土坑 (第261図)

F-9区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm、短軸51cm、深さは検出面から38cmである。底面は南西側にやや傾斜し、長軸南西端に深さ15cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

39号土坑 (第262図)

E-6区、Ⅰ層上面で検出した。40号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが、おそらく楕円形と思われる。長軸97cm、短軸77cm、深さは検出面から63cmである。底面はほぼ平坦である。

(土坑Ⅰ類)

40号土坑 (第262図)

E-6区、Ⅰ層上面で検出した。39号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが、おそらく不定形であると思われる。長軸136cm、短軸不明、深さは検出面から41cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み南端に深さ84cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

41号土坑 (第263図)

F-3区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸80cm、短軸60cm、深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み端に深さ56cmの小穴がみられる。小穴の掘り込み縦軸はやや内側を向く。方位記載漏

れのため長軸方向等は不明である。

(土坑Ⅱ類)

42号土坑 (第263図)

E-7区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは不定形で、長軸141cm、短軸58cm、深さは検出面から60cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み端に深さ26cm、47cmの小穴が2か所みられる。切り合いの可能性も考えられるが、埋土が同一であることから1基と判断した。

(土坑Ⅱ類)

43号土坑 (第264図)

D-7区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸116cm、短軸72cm、深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で、長軸南東端と短軸北東端に深さ15cmと5cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅲ類)

44号土坑 (第264図)

F-16区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸186cm、短軸58cm、深さは検出面から50cmである。底面は南東側にやや傾斜し、長軸南東端と北西端に深さ46cm、48cmの小穴がみられる。切り合いの可能性も考えられるが、埋土が同一であることから1基と判断した。

(土坑Ⅲ類)

45号土坑 (第265図)

B-6区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm、短軸73cm、深さは検出面から14cmである。底部はほぼ平坦で、掘り込み端に3か所の小穴がみられる。西側的小穴は深さ14cmで、その他については不明である。

(土坑Ⅲ類)

46号土坑 (第265図)

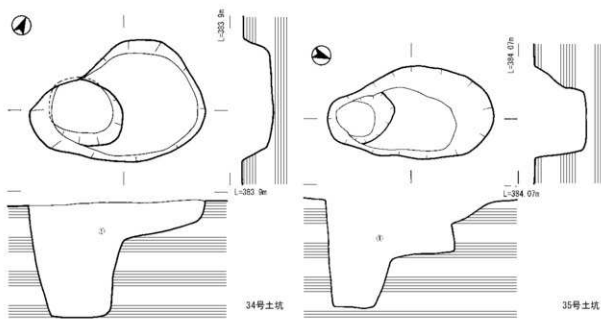
B-14区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸82cm、短軸62cm、深さは検出面から7cmである。底部はほぼ平坦で、掘り込み端に2か所の小穴がみられる。南西端の小穴は深さ17cmで、もう一方は不明である。

(土坑Ⅲ類)

47号土坑 (第265図)

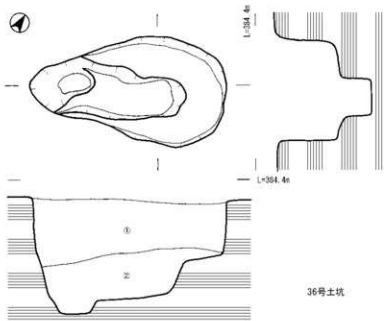
D-7区、Ⅰ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸172cm、短軸59cm、深さは検出面から25cmである。底部はほぼ平坦で、掘り込み端部に3か所の小穴がみられる。断面にみられる小穴は深さ16cmで、ほか2か所については不明である。底面中央よりも数力所の浅い窪みがみられるが、人為的なものではないと考え、ここではⅢ類と判断した。

(土坑Ⅲ類)



① 黒褐色土。1~3mmの黄色ノミスが点在する。

③ 黒褐色土。2~40mmの橙色ノミスが点在する。



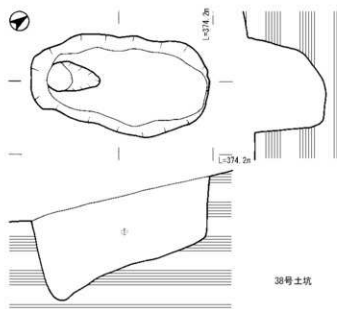
①	黒褐色土。詳細の記載なし。
②	黒褐色土。詳細の記載なし。

0 50cm

第260図 Ⅷ層土坑 (16)



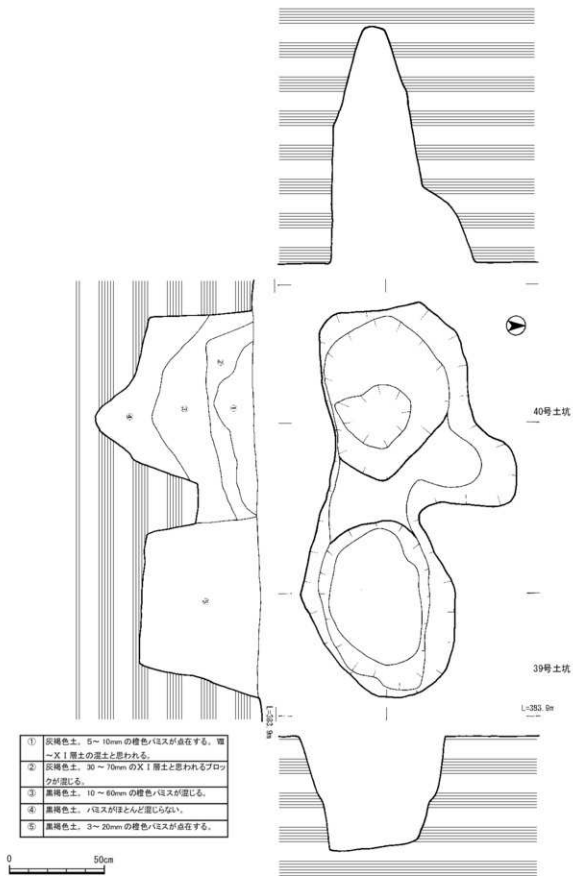
① 赤褐色土。1~4mmの褐色ハビスが点在し、1mmほどの白色ハビスも散在する。



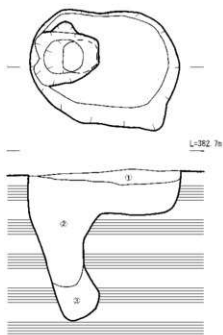
① 黒色土。黄色ハビスが散在する。

0 50cm

第261図 Ⅷ層土坑 (17)

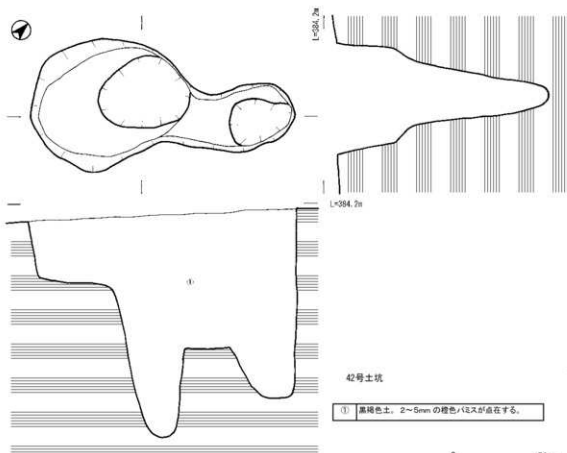


第262図 VII層土坑 (18)



41号土坑

①	黒褐色土、硬質で1mmほどのパミスが点在する。
②	黒褐色土、1より軟質。
③	灰褐色土、バラバラしている。又目層土が埋積を受けたものと思われる。

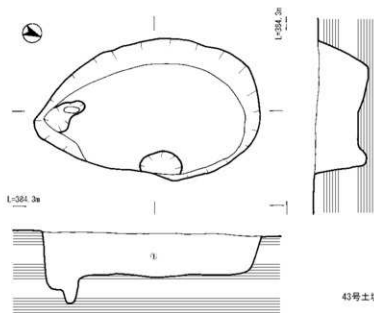


42号土坑

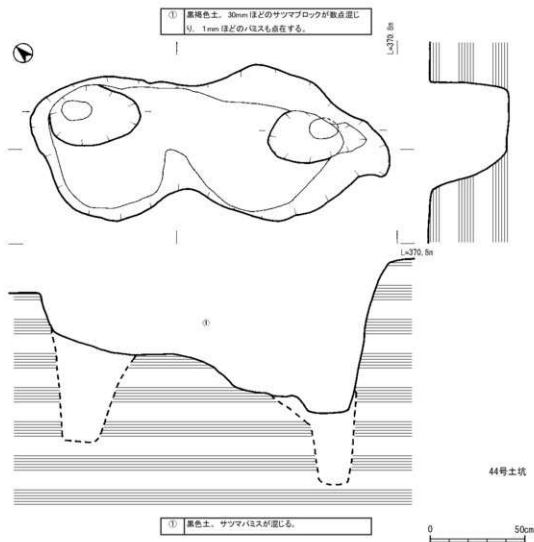
①	黒褐色土、2~5mmの橙色パミスが点在する。
---	------------------------

0 50cm

第263図 Ⅷ層土坑 (19)



43号土坑

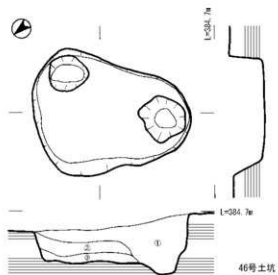


44号土坑

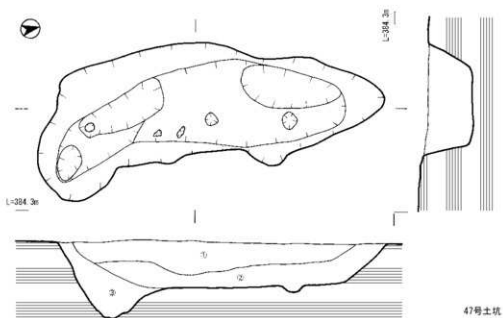
第264図 VII層土坑 (20)



- | | |
|---|------------------------|
| ① | 黒褐色土。1~3mmの黄色ハリスが点在する。 |
|---|------------------------|



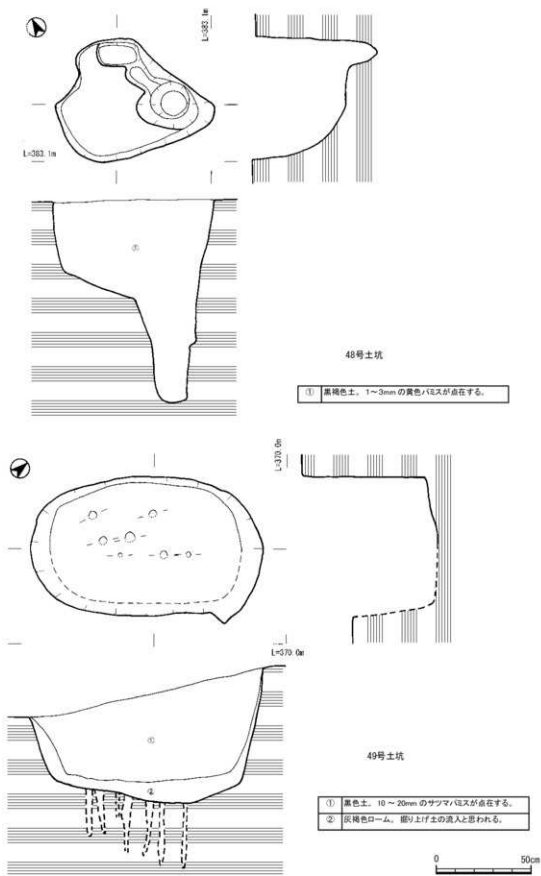
- | | |
|---|---------------------|
| ① | 黒褐色土。2~3mmのハリスが混じる。 |
| ② | 黒褐色土。掘りすぎと思われる。 |
| ③ | 明茶褐色弱粘質土。掘りすぎと思われる。 |



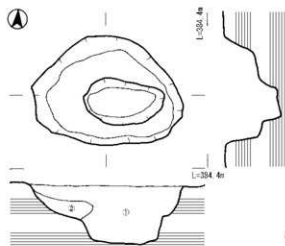
- | | |
|---|----------------------------|
| ① | 黒褐色土。2~3mmのハリスが点在する。 |
| ② | 黒褐色土。ローム(XI層土)のブロックが若干混じる。 |
| ③ | 黒褐色土。50mmほどのサツマブロックが混じる。 |



第265図 Ⅷ層土坑 (21)

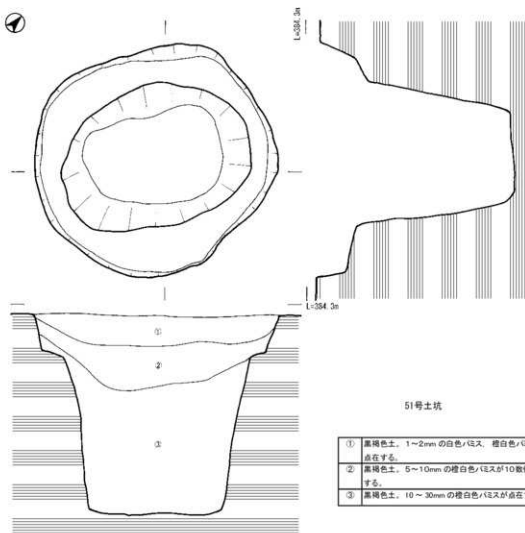


第266図 VII層土坑 (22)



50号土坑

- | | |
|---|---|
| ① | 黒褐色土。ハリスが少量混じる。 |
| ② | 赤褐色土。サツマ火山灰が混じる。壁~X1層の遊土で遺構壁面の積層土と思われる。 |

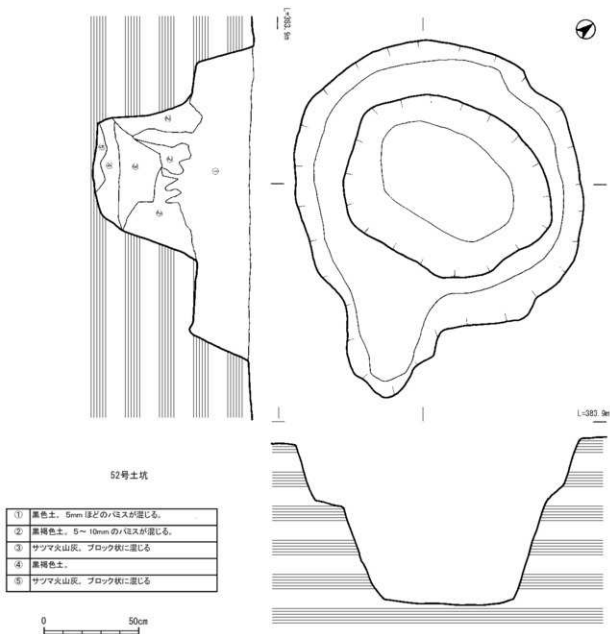


51号土坑

- | | |
|---|-------------------------------|
| ① | 黒褐色土。1~2mmの白色ハリス、橙白色ハリスが点在する。 |
| ② | 黒褐色土。5~10mmの橙白色ハリスが10数個点在する。 |
| ③ | 黒褐色土。10~30mmの橙白色ハリスが点在する。 |

0 50cm

第267図 Ⅷ層土坑 (23)



48号土坑 (第266図)

B-5区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸84cm、短軸65cm、深さは検出面から49cmである。底部は東側にやや傾斜し、南東端と北東端の2か所に小穴がみられる。深さは55cm、15cmである。(土坑Ⅲ類)

49号土坑 (第266図)

E-18区、X 1層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm、短軸75cm、深さは検出面から60cmである。掘り込み壁はやや傾斜する部分もみられるがほぼ直立する。底部はほぼ平坦で、底面に7ヶ所の小穴がみられる。

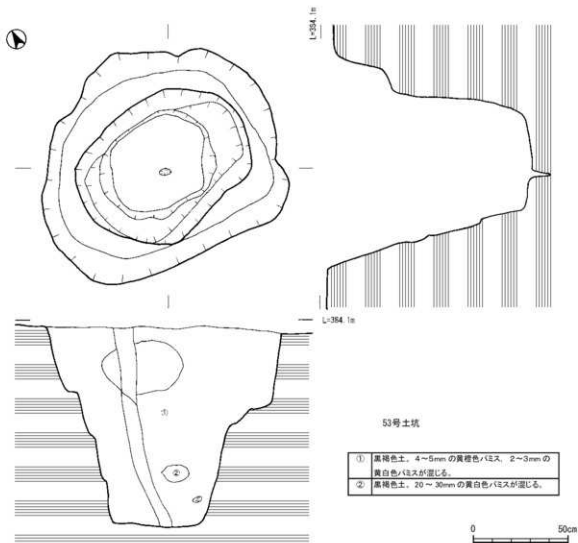
径は小さく、深さは15cmから35cmであり、落し穴状遺構に特有の逆茂木痕の可能性が考えられる。(土坑Ⅳ類)

50号土坑 (第267図)

C-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸77cm、短軸58cm、深さは検出面から18cmである。中央に深さ12cmの小穴がみられ、2段階の形状を示す。(土坑Ⅵ類)

51号土坑 (第267図)

D-7区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形で長



第269図 VII層土坑 (25)

軸129cm、短軸123cmを測る。検出面から21cmのところ
で段掘を行い、深さ83cmの楕円形の掘り込みがみられる。
深さは検出面から104cmである。
(土坑VI類)

52号土坑 (第268図)

E-6区、IX層上面で検出した。平面プランは一部突出
がみられるため不定形であるが、本来は円形であった可
能性が高いと思われる。長軸171cm、短軸152cm、検出面
から29cmのところ段掘を行い、深さ55cmの楕円形の掘
り込みがみられる。深さは検出面から84cmである。形態
的に51号土坑と類似する。
(土坑VI類)

53号土坑 (第269図)

B-10区、IX層上面で検出した。平面プランは円形状で
長軸125cm、短軸115cmを測る。検出面から約41cmのこ
ろで段掘を行い、深さ55cmの楕円形の掘り込みがみられ

る。深さは検出面から96cmを測る。形態的に51号土坑と
類似する。
(土坑VI類)

73号土坑 (第295図)

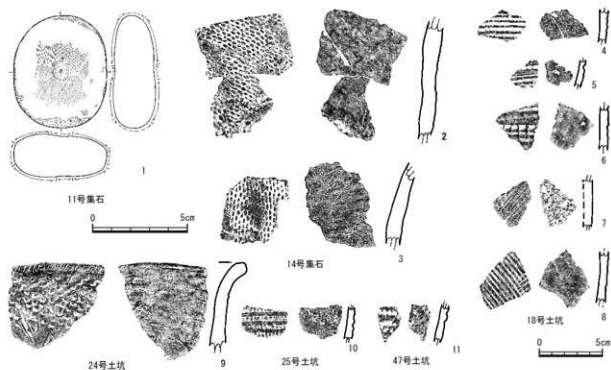
D-6区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で
長軸140cm、短軸103cmを測り、深さは検出面から75cmで
ある。掘り込みは先細りのすり鉢状を呈している。この形態
は73号1基のみである。72号土坑と切り合う。

遺構内出土遺物 (第270図)

VII層では集石(11号と14号)、土坑(18号、24号、25号、
47号)の周辺及び埋土中から遺物が出土している。

1は11号集石に伴った砂岩製の磨石である。表裏面
に研磨痕、側縁部に敲打痕がみられ、表裏面中央に敲打
による浅い窪みもみられる。

2、3は14号集石に伴った。V類土器胴部である。
器壁が厚く、外面には楕円形押型文が施される。4~8



第270図 VI層 遺構内出土遺物

は18号土坑埋土中から出土した。

4～6はII類土器胴部である。4、6は押引文が施される。5は貝殻条痕と刺突がみられる。7、8はIII類の胴部である。羽状の貝殻条痕が施される。

9は24号土坑埋土中から出土した。III類土器の口縁部である。口唇部に斜位の刻み、口縁部直下に貝殻復縁による刺突が施される。

10は25号土坑埋土中から出土した。II類土器胴部である。丁寧な押引文が施される。

11は47号土坑埋土中から出土した。VI類土器胴部である。横位の刺突文が施され、器壁は薄い。

第70表 VI層遺構内出土土器観察表

検出 No	図 No	取上 番号	出土 地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	構成	外面 色調	内面 色調	胎土	備考
270	2	一括1	E-18	14号 集石	深鉢	胴部	横内押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、角閃石、 金雲母、細礫	
	3	一括2	E-18	14号 集石	深鉢	胴部	横内押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、角閃石、 金雲母、細礫	
	4	63号4	F-16	18号 土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、長石、 角閃石	
	5	63号2	F-16	18号 土坑	深鉢	口縁 付足?	貝殻条痕、 刺突	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石	
	6	63号7	F-16	18号 土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕、 押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、長石、 角閃石	
	7	63号5	F-16	18号 土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	不明	良好	明茶褐色	不明	石英、長石、 角閃石	
	8	63号6	F-16	18号 土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石	
	9	70号2	E-16	24号 土坑	深鉢	口縁部	貝殻刺突、 貝殻条痕	ナデ	良好	暗茶褐色	茶褐色	石英、角閃石、 長石、小礫	口唇部刻み
	10	66号1	F-15	25号 土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、長石、 角閃石	
	11	一括	D-7	47号 土坑	深鉢	不明	刺突	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英、長石、 角閃石	

第71表 VI層遺構内出土石器観察表

検出 No	図 No	取上 番号	出土 地点	出土 遺構	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	備考
270	1	一括	D-17	11号集石	磨石	117.5	96	42.5	787.0	SS	

2 VII層の遺構

土器埋設遺構(土坑)

埋設土坑は、4基発見されている。A地区のC-10、11区、C-6区に位置し、第VII層での検出である。

土坑には完形土器が配置され、1号土坑からは深鉢形土器が、2号～4号土坑からは壺形土器が発見されている。

1号土坑はC-10区、2号土坑はC-11区、3号土坑と4号土坑はC-6区で検出した。なお、1号と2号の間隔は約5mで、3号と4号は約1mと隣接する位置にある。なお、土坑周辺からの出土遺物は極端に少なく、同時期の他の遺物とは検出位置を異にしている。

土坑の配された位置は最高位に当たり、遺跡で最も眺望の確保できる一角である。

1号土器埋設遺構(第273図)

C-10区、VII層で検出した。

ほぼ完形と思われる土器(Ⅸ類深鉢)を検出してから、土坑の有無を確認するため土坑平面プラン検出を目指したが、埋土と周辺土との色調が類似するため確認は困難を極めた。そのため、載ち切りを行い土坑有無の確認を実施した。

土坑の存在した根拠は、Ⅸ層に掘り込んだ皿状の底面の確認と土坑掘り込みラインがほぼ垂直に立ち上ることが確認できたことによる。

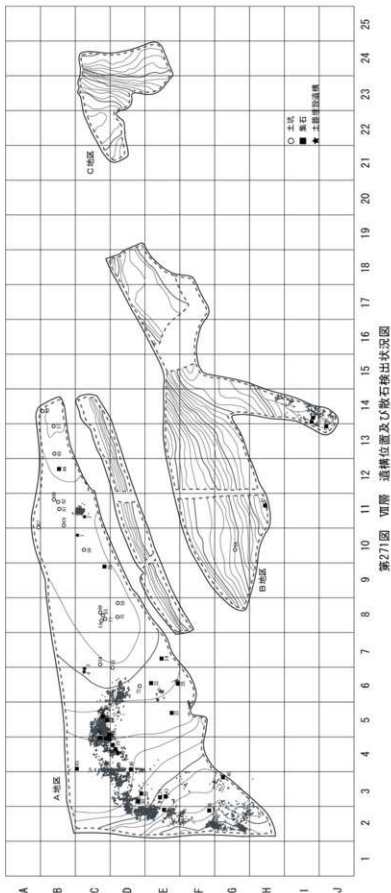
載ち切りによる断面観察で、Ⅸ層に底面を持つ、U字状で最大33cmの土坑の存在を確認した。確認した土坑は、内包する深鉢形土器よりわずかに大きい程度である。

土坑と土器の隙間を埋めた埋土は、土坑が掘り込まれたⅦ層土を主成分とするため、明確な色別は難しい。なお、土器を取り上げた最終段階では、掘り込み面で円形の平面プランを確認している。

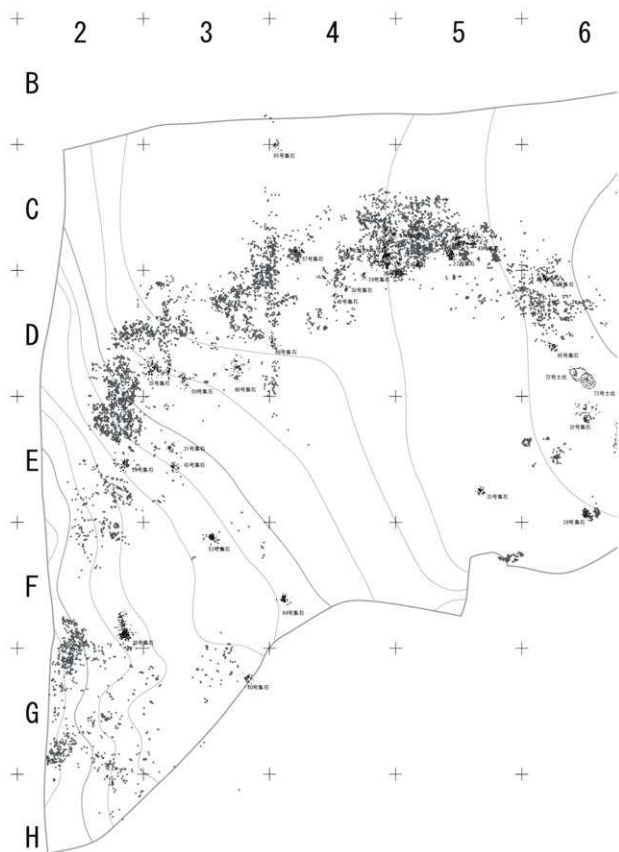
土坑の確認位置、埋設土器の口径と土坑の大きさから判断して、土器の土坑内への設置状況を推測すると、土器を土坑内に完全に挿入することはかなり困難であることが予測された。したがって、地表面から土器口径が一部露出した状態が想定され、土器を埋設したと判断した。

2号土器埋設遺構(第273図)

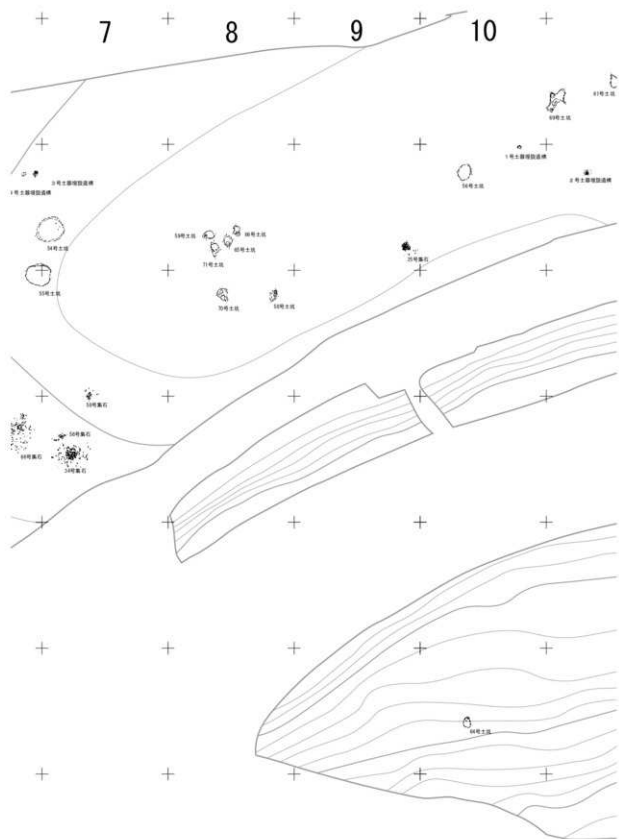
C-11区、VII層で検出した。完形に復元できるとされる土器(Ⅸ類壺)を検出後、土坑

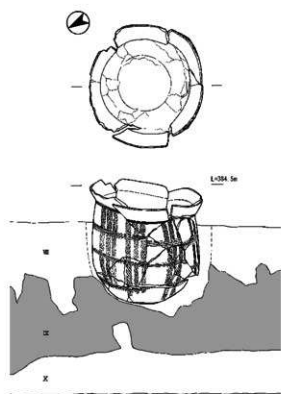


第273図 VII層 遺構位置及び検出状況

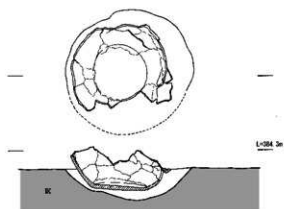


第272図 VI. VII層遺構配置及び散石検出状況

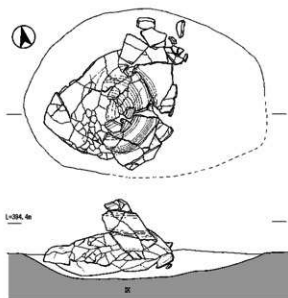




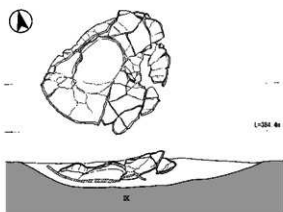
1号土器埋設遺構



1号底部付近断面



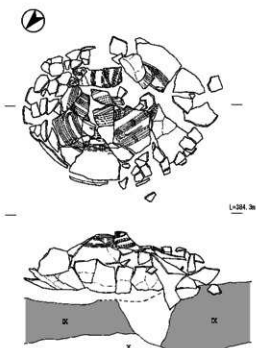
2号土器埋設遺構



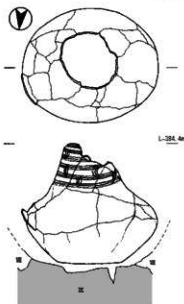
2号底部付近断面



第273图 土器埋設遺構検出状況



3号土器埋設遺構

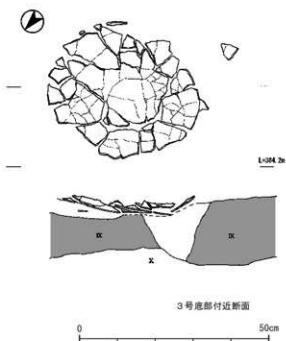


4号土器埋設遺構

第274図 土器埋設遺構検出状況

の有無を確認するため土坑平面プラン検出を繰り返したが、埋土と周辺土との色調が類似するため確認には困難を極めた。そこで、IX層上面まで掘り下げ、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を行った。

遺構内埋土は黒色土で、周辺土と極めて類似する。平面プランは内包する土器の器形を意識しているのか楕円形を呈する。その規格は長軸約68cm、短軸約45cmである。



3号底部付近断面

断面は皿状を呈する。土坑は1号と比較すると大型で、土器をかえ設置するときの余裕をもたせているものと推測される。

内包される土器の器高と1号土器埋設遺構の出土状況から考えて、2号についても地表面から土器口縁部が一部露出し、土器が埋設された遺構と判断した。ちなみに、復元した壺形土器の口縁部の大部分は失われている。

3号土器埋設遺構 (第274図)

C-6区、VII層で検出した。完形に復元できると思われる土器 (IX類壺) を検出後、土坑平面プラン検出、埋土と周辺土との色調区分に至らず、IX層上面まで掘り下げを行い、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を行った。しかしIX層への掘り込みがほとんどみられず平面プラン、断面ともに土坑ラインの確認には至らなかった。

土器の出土状況、復元した土器の器高、ほか類似の遺構から考えて、3号も地表面から土器口縁部が一部露出し、土器が埋設された遺構と判断した。

4号土器埋設遺構 (第274図)

C-6区、VII層で検出した。ほぼ完形と思われる土器 (IX類壺) を検出後、土坑平面プランを確認できなかったため、IX層上面まで掘り下げ、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を目指した。しかし、IX層での具体的な確認もつづかなかった。

Ⅷ層にわずかに残る斜めのラインと、土器の接地ラインを手がかりに推定復元を行った。

内包される土器の器高、他の類似遺構と照らし合わせて、4号も地表面から土器口縁部が一部露出した状態で埋設されたと判断した。

集石

Ⅶ層では28基の集石を検出した。集石はA地区、B地区において検出し、A地区においては西よりに南側に開く半円状に分布し、B地区においてはI、J-13、14区にまとまる傾向がうかがえた。

25号集石 (第275図)

C-9区で検出した。中型から小型の礫を使用する。一部の礫は被熱により赤化している。礫の密集具合と遺構断面から掘り込みを有する可能性が高い。

(集石Ⅰ類)

26号集石 (第275図)

C-5区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し、周辺に炭化物粒も確認できた。検出面の記載漏れ、標高計算の誤りのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅰ類)

27号集石 (第275図)

C-5区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化、黒変している。検出面の記載漏れ、標高計算の誤りのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅰ類)

28号集石 (第275図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。わずかに被熱により赤化した礫がみられる。東側に土層横転がからみ礫の一部は失われている。

(集石Ⅰ類)

29号集石 (第275図)

D-4区で検出した。砂岩を使用し、小型の礫が多い。半数以上の礫は被熱により赤化し、一部熱破砕している。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

30号集石 (第275図)

D-4区で検出した。小型の安山岩を使用する。礫数が少なくコンパクトである。

(集石Ⅱ類)

31号集石 (第276図)

E-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。小型の礫は礫集中部に多く、中型の礫は周囲に分散する傾向が見える。礫は被熱により赤化し、小型の礫は熱破砕している。

(集石Ⅲ類)

32号集石 (第276図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し中型から小型の礫が多い。赤化した礫はほとんどみられない。南側の礫集中部は断面がややレンズ状を呈し、掘り込みを持つ可能性が高い。

(集石Ⅳ類)

33号集石 (第277図)

E-5区で検出した。安山岩を使用し、砂岩が若干混じる。小型の礫が多く、被熱により赤化し、一部は熱破砕している。礫集中部と散らばりの境界は明瞭ではない。

(集石Ⅱ類)

34号集石 (第277図)

E-7区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化し、一部は熱破砕している。礫集中部は断面がややレンズ状を呈し、掘り込みを有した可能性が高い。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅳ類)

35号集石 (第278図)

D-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。比較的大きな礫が中心にまとまり、被熱により赤化している。周囲の礫はやや小型化する傾向がある。

(集石Ⅲ類)

36号集石 (第279図)

C-5区で検出した。中型から小型の礫を使用する。南側に礫のまとまりがうかがえる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

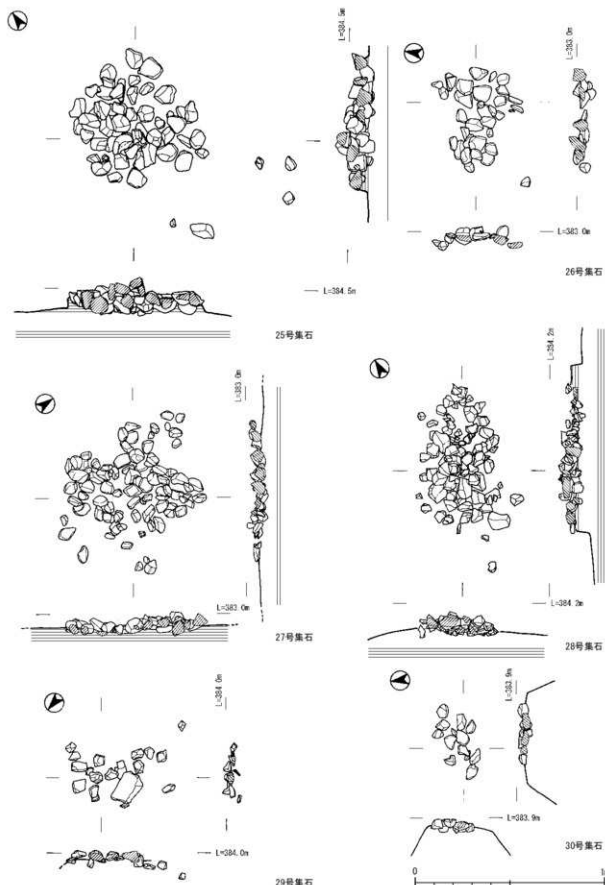
37号集石 (第279図)

C-4区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。東側に礫の集中傾向もみられる。200cm×200cmの広範囲に展開し、周辺部と集中下位に被熱により赤化し、破砕した小型礫がみられる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

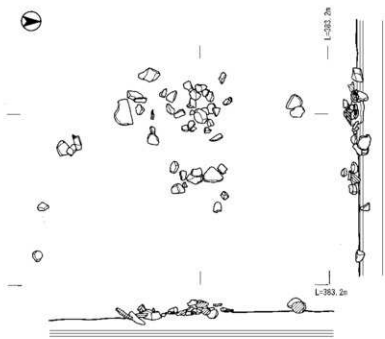
(集石Ⅴ類)

38号集石 (第280図)

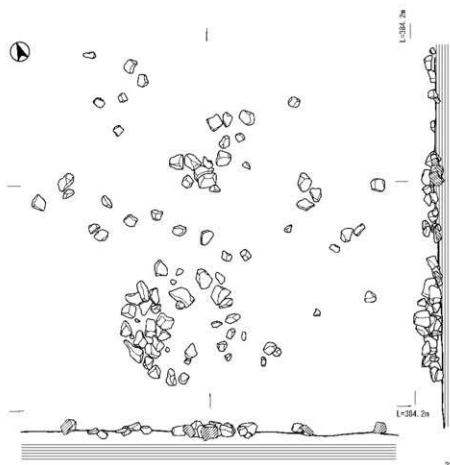
F-2区で検出した。小型の礫を使用する。100cm×250cmの帯状に広がり、南側に60cm×70cmの集中



第275図 VII層集石 (1)



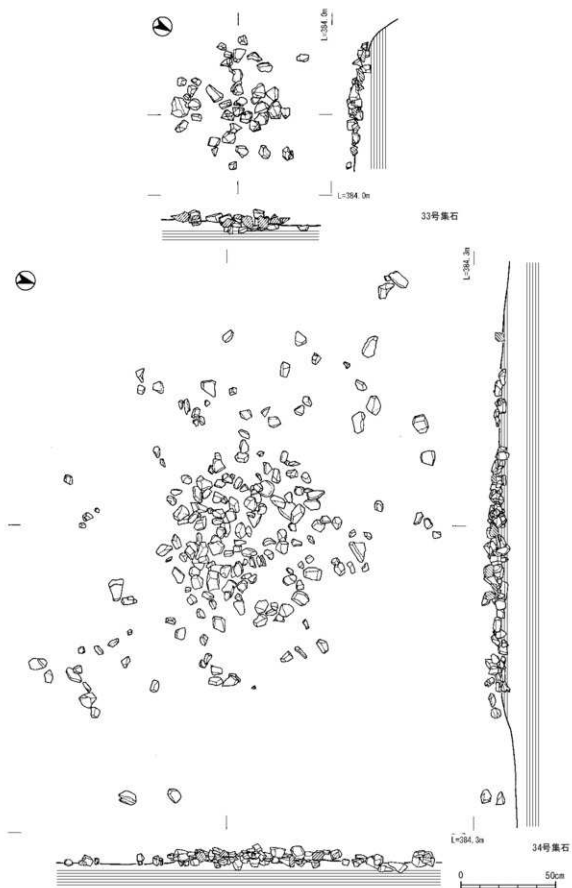
31号集石



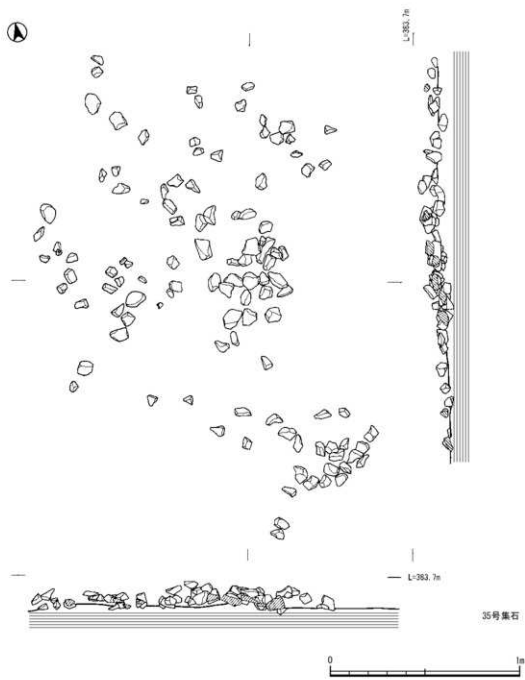
32号集石



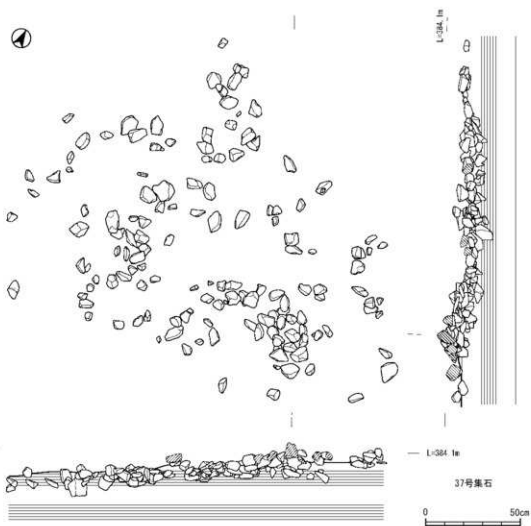
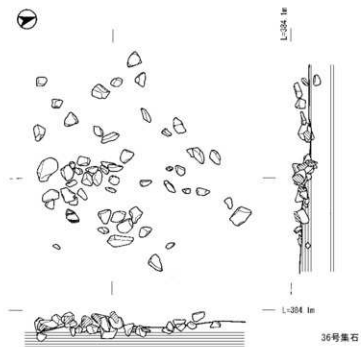
第276図 VII層集石(2)



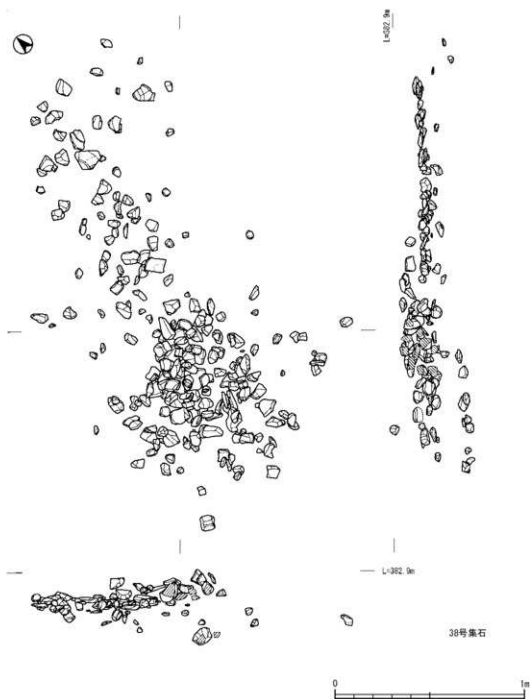
第277図 VII層集石 (3)



第278図 VII層集石 (4)



第279図 VII層集石 (5)



第280図 VII層集石 (6)

か所が見られ、断面観察から掘り込みを伴う可能性が高い。一方、集中心所とは逆の北側には、散在する礫のエリアが見られる。

集中部の礫の一部に被熱による赤化がみられる。
(集石IV類)

39号集石 (第281図)

E-2区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化している。

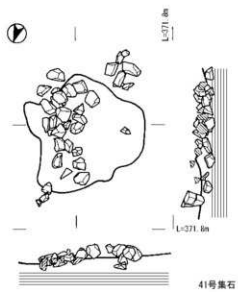
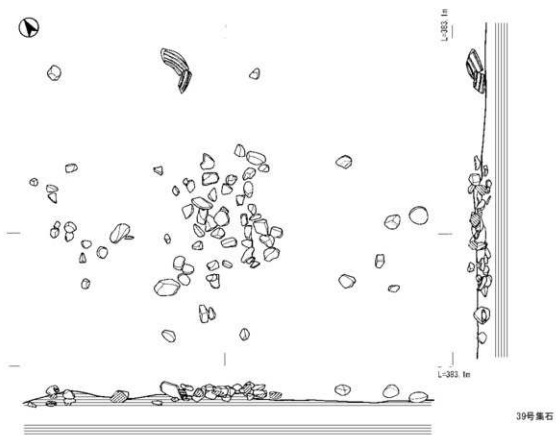
約100cm×200cmの範囲に分布し、2カ所にまとまる状況も見られる。

(集石V類)

40号集石 (第281図)

G-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。60cm×60cm程の集中化傾向が見られ、中心付近の礫は被熱により赤化している。

(集石II類)



第281図 VII層集石 (7)

41号集石 (第281図)

H-11区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。小型礫が多く、一部は被熱のため赤化している。中心部には径50cmほどの炭化物粒の広がりがあり、礫と重なる状況で確認された。

(集石Ⅱ類)

42号集石 (第282図)

I-14区で検出した。中型から小型の角礫を使用している。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×80cmの範囲を成し、中央部に礫の存在しない空き地が見られる。

(集石Ⅱ類)

43号集石 (第282図)

E-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。

50cm×80cmのエリアを成し、中心付近には被熱により赤化した礫がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

44号集石 (第282図)

B-12区で検出した。安山岩を使用し、中型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×50cmとコンパクトなエリアを成し、中央部が粗で上下幅のある残存状況がみられる。また、掘り込みを有した可能性もある。

(集石Ⅰ類)

45号集石 (第282図)

C-4区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。礫の一部は被熱により赤化、黒変がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。砂岩製の磨石 (第302図) が共存する。

(集石Ⅱ類)

46号集石 (第282図)

D-4区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫の一部には被熱による黒変がみられ、炭化物粒もわずかに分布する。

50cm×160cmの帯状の範囲を成す。

(集石Ⅲ類)

47号集石 (第283図)

C-4区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。周辺部に被熱により赤化し、熱破砕した安山岩礫が分布する。120cm×130cmのエリアを成す。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

48号集石 (第283図)

D-4区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。50cm×50cmの円形を成し、中央部は礫が粗と成る。

(集石Ⅱ類)

49号集石 (第283図)

C-5区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し、安山岩は熱破砕しているものが多い。150cm×250cmの広範囲を構成し、不規則に分布する。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅲ類)

50号集石 (第284図)

D-3区で検出した。安山岩、砂岩を使用し大型から中型の礫が多い。

(集石Ⅲ類)

51号集石 (第284図)

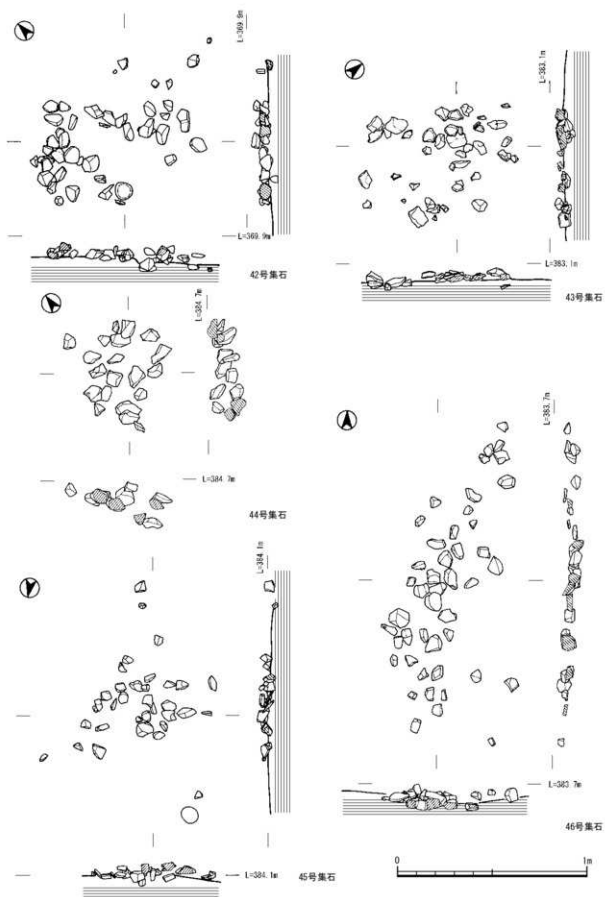
J-13区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中型から小型の角礫が多く、被熱により赤化している。

(集石Ⅲ類)

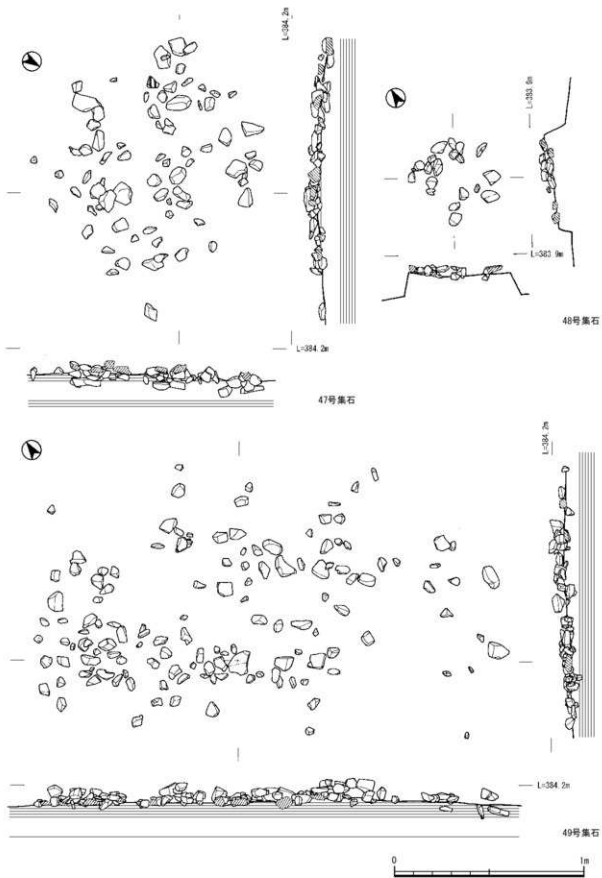
52号集石 (第285図)

I-14区で検出した。小型の角礫を使用する。半数ほどの礫が被熱のため赤化し、一部熱破砕している。

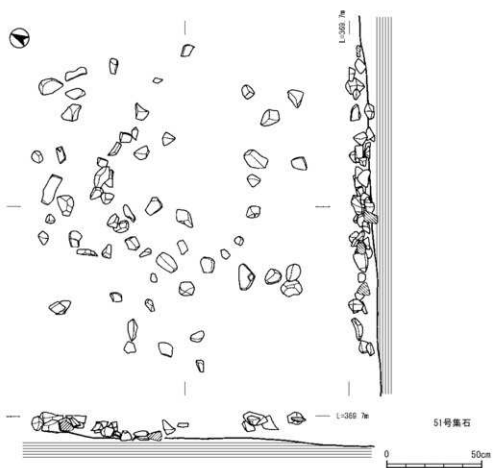
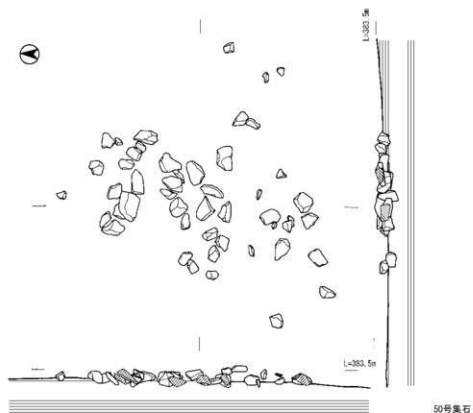
(集石Ⅲ類)



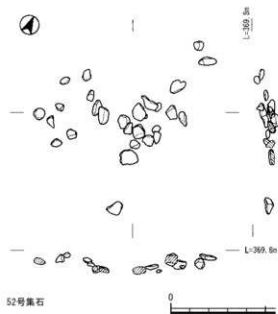
第282図 VII層集石 (8)



第283図 VII層集石 (9)



第284図 VII層集石 (10)



第285図 Ⅶ層集石 (11)

土坑

Ⅶ層では19基の土坑を検出した。土坑は、同一層の集石とは分布域を異にしA地区東側に分布する傾向がうかがえる。

54号土坑 (第286図)

C-7区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形で長軸22cm、短軸19cm、深さは検出面から57cmである。底面は平坦で、掘り込み壁は垂直に立ち上がる。

埋土は4枚に区分でき、詳細は第286図に示した。それぞれの埋土は遺物を含み、特に、埋土4の上面では、北端(楕円形)と南端(円形)に2か所の焼土跡を検出している。

遺構内からは耳栓状土製品3点(16~18)、土器片27点(19~27)、挟入石器2点(28, 29)、石鏝8点(30~37)、二次加工のある剥片1点(38)が出土している。その他、ギョクズイ、黒曜石、チャート、安山岩等の剥片、チップが多数あり、礫も68点含まれていた。

埋土からの出土遺物には偏りが見られ、埋土1と埋土3、埋土4に集中している。

埋土1には、土器片、礫が多数含まれ、ほぼ全域で均一に出土している。

埋土3, 4には、石器、耳栓状土製品が包含され、特に、耳栓状土製品は埋土3と4の境界の埋土4から出土している。また、遺構の東側に耳栓状土製品が集中し、やや分布範囲は広いが石器も東側に集中する傾向がみえる。

55号土坑 (第287図)

D-6区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形で長

軸188cm、短軸172cm、深さは検出面から35cmである。底面は平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。規模、形態的に54号土坑と非常に類似する。

3枚の埋土を確認しているが、遺物は発見されていない。

56号土坑 (第288図)

C-10区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸136cm、短軸107cm、深さは検出面から24cmである。底面は平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。

規模が異なるが54号土坑と形態が非常に類似する。遺物の出土は、確認されていない。

57号土坑 (第288図)

B-13区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸110cm、短軸65cm、深さは検出面から12cmである。底面は平坦で、掘り込み壁の立ち上がりは緩やかに傾斜する。

(土坑Ⅰ類)

58号土坑 (第289図)

D-8区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸88cm、短軸53cm、深さは検出面から32cmである。底面はやや北東側に傾斜する。底面にみられる落ち込みは人為的なものでないと考え、ここではⅠ類と判断した(土坑Ⅰ類)

59号土坑 (第289図)

C-8区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸95cm、短軸47cm、深さは検出面から27cmである。底面は平坦で、一部落ち込みがみられるが人為的なものではないと考え、ここではⅠ類と判断した。(土坑Ⅰ類)

60号土坑 (第289図)

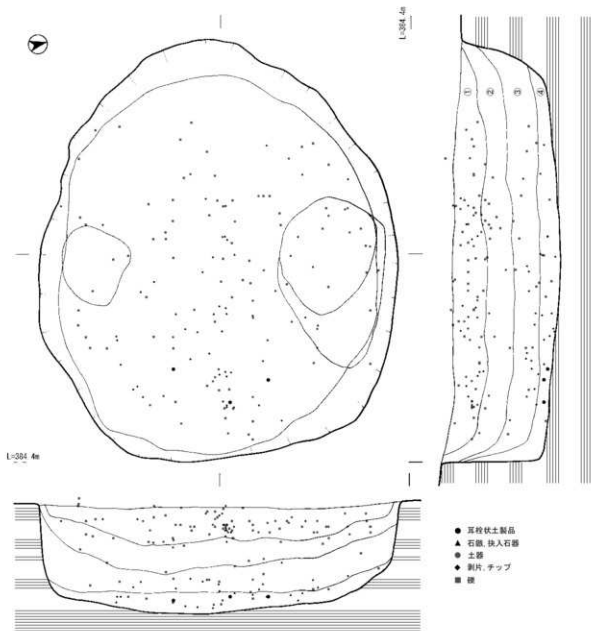
B-13区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm、短軸62cm、深さは検出面から19cmである。底面は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。(土坑Ⅰ類)

61号土坑 (第290図)

B-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸104cm、短軸68cm、深さは検出面から30cmである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。(土坑Ⅰ類)

62号土坑 (第290図)

B-11区、Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸126cm、短軸62cm、深さは検出面から25cmである。

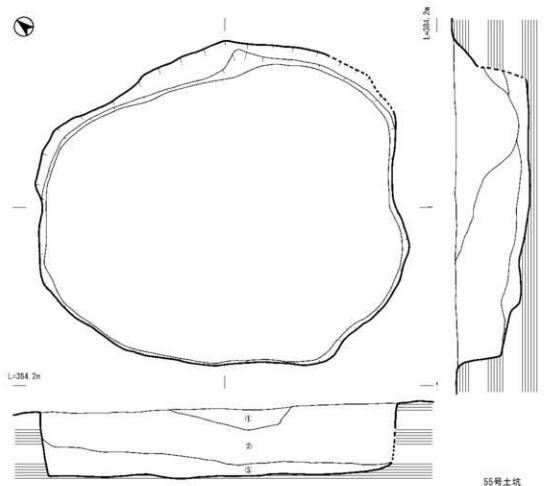


54号土坑

①	暗茶褐色土。サツマハビスが混じる。
②	暗茶褐色土。1より黒っぽい、大きいサツマハビスが混じる。
③	暗茶褐色土。2より黒っぽい、サツマハビスがほとんど混じらない。
④	暗茶褐色土。黒っぽく締まっている。ロームが混じる。

0 50cm

第286図 VII層土坑(1)



55号土坑

第287図 VII層土坑(2)

底面はほぼ平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。

(土坑Ⅰ類)

63号土坑(第290図)

B-14区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸114cm、短軸70cm、深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはかなり傾斜している。

(土坑Ⅰ類)

64号土坑(第291図)

G-10区、X I 層で検出した。平面プランは楕円形状で長軸83cm、短軸63cm、深さは検出面から25cmである。底面はやや起伏をもち北東側に傾斜する。掘り込み壁の立

ち上がりは緩やかで、長軸北東端に深さ62cmで先細りの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

65号土坑(第291図)

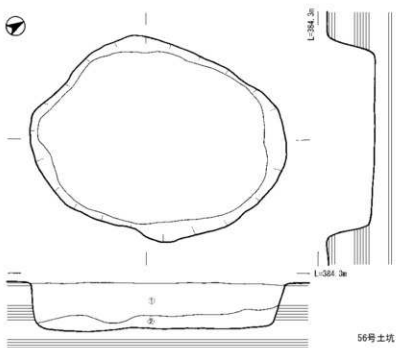
C-8区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸99cm、短軸71cm、深さは検出面から36cmである。底面は平坦で、長軸南西端に深さ38cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

66号土坑(第292図)

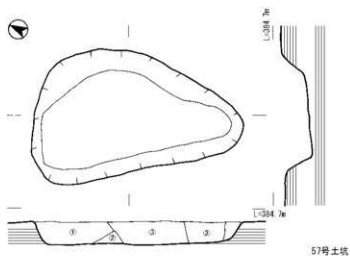
C-8区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸85cm、短軸52cm、深さは検出面から37cmである。底面は平坦で、長軸南端に深さ29cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)



56号土坑

①	暗茶褐色土。3~4mmの黄白色ハリスが全体的に混じる。
②	黒褐色土。

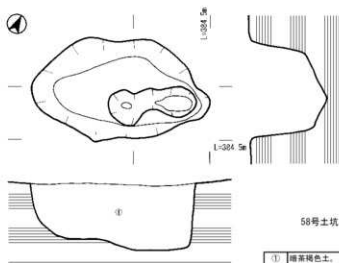


57号土坑

①	暗茶褐色土。2~3mmの黄白色ハリスが少量混じる。
②	黒褐色。2~3mmの黄白色ハリスが少量混じる。
③	明茶褐色土。2~3mmの黄白色ハリスが少量混じる。

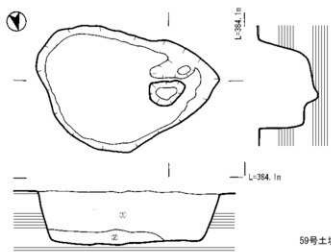


第288図 VII層土坑 (3)



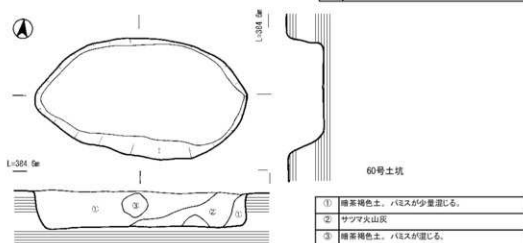
58号土坑

① 褐色褐色土。



59号土坑

① 褐色褐色土、黄褐色ハリスが少量混じる。
② 褐色褐色土。

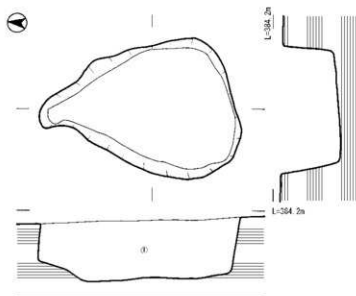


60号土坑

① 褐色褐色土、ハリスが少量混じる。
② サツマ火山灰
③ 褐色褐色土、ハリスが混じる。

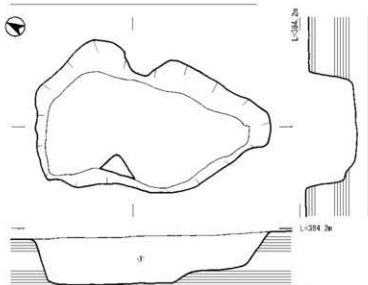
0 50cm

第289図 VII層土坑 (4)



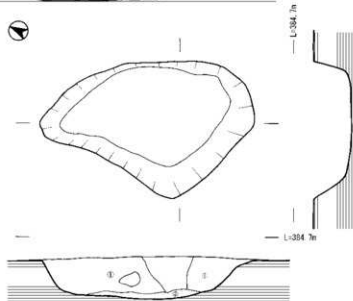
61号土坑

① 暗茶褐色土。2～3mmの黄褐色ノリスが混じる。



62号土坑

① 暗茶褐色土。3～4mmの黄褐色ノリスが全体的に混じる。

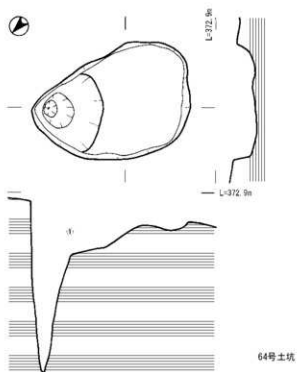


63号土坑

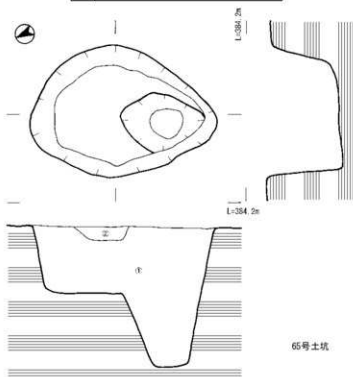
① 暗茶褐色土
② 明茶褐色土。張りすぎと思われる。

0 50cm

第290図 VII層土坑 (5)



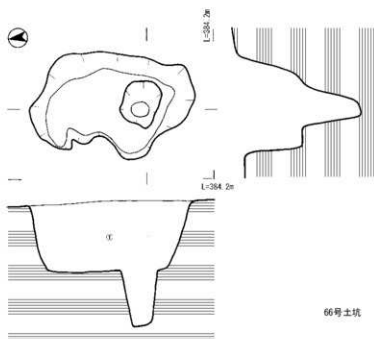
① 黄褐色土。ハリスが散在する。



① 黄褐色土。黄褐色ハリスが全体のみに存在する。
② 黄褐色土。

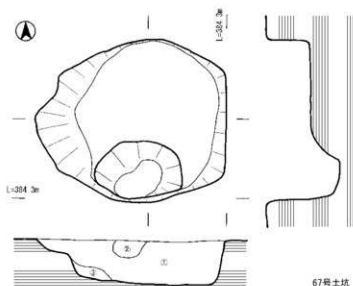


第291図 VII層土坑 (6)



66号土坑

① 暗茶褐色土、黄褐色パイスが全体的に点在する。



67号土坑

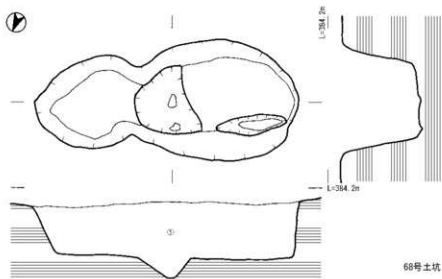
① 暗茶褐色土、2~3mmの黄白色パイスが混じる。

② 暗茶褐色土、20mmほどの黄白色パイスが混じる。

③ 暗茶褐色土、30~40mmの黄褐色パイスが混じる。

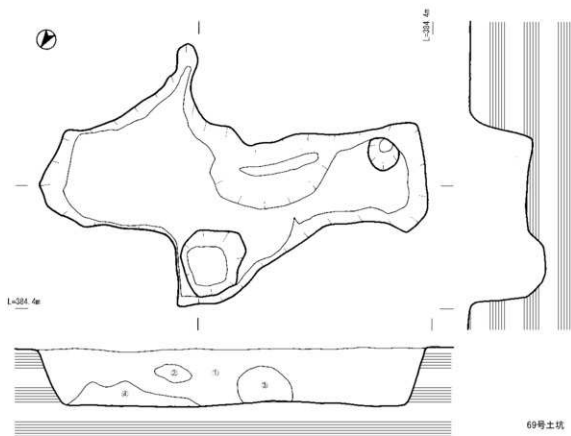


第292図 VII層土坑(7)



68号土坑

① 暗茶褐色土。3～4mmの黄褐色ノミズ、1mmほどの白色ノミズが少量混じる。

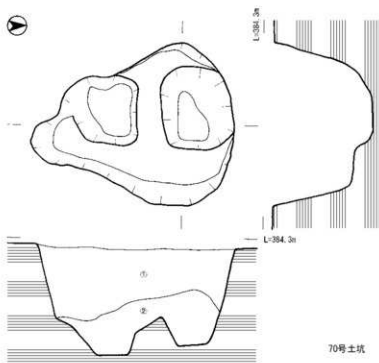


69号土坑

①	暗茶褐色土。10～30mmほどの黄褐色ノミズが混じる。
②	暗茶褐色土。黄褐色ノミズが混じる。
③	暗茶褐色土。20～80mmのノミズが多く混じる。
④	明茶褐色土。

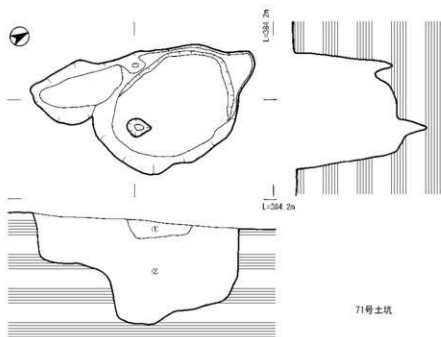


第293図 VII層土坑 (8)



70号土坑

①	暗茶褐色土、5～10mmの黄褐色/紅土が点在する。
②	茶褐色土、50～70mmの大きな/紅土が少量混じる。

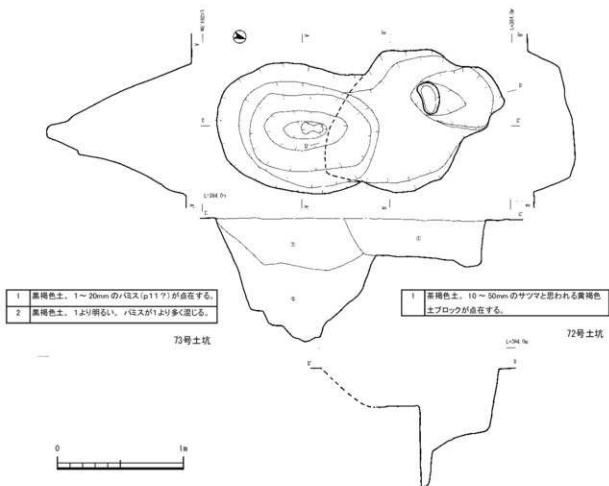


71号土坑

①	茶褐色土、1～2mmの黄褐色/紅土が混じる。
②	暗茶褐色土、黄褐色/紅土が点在する。



第294図 VII層土坑(9)



第295図 VII層土坑 (10)

67号土坑 (第292図)

A-11区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸102cm、短軸87cm、深さは検出面から22cmである。底面は平坦で、南端に深さ15cmの小穴がみられる。(土坑Ⅱ類)

68号土坑 (第293図)

B-11区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸側に1か所くびれがみられる。長軸141cm、短軸56cm、深さは検出面から30cmである。底面は平坦で、中央と南西端に小穴がみられる。深さは中央が10cm、南西端は不明である。(土坑Ⅱ類)

69号土坑 (第293図)

B-11区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸206cm、短軸102cm、深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で、3か所に小穴がみられる。深さは北端が10cmで、残りについては不明である。(土坑Ⅲ類)

70号土坑 (第294図)

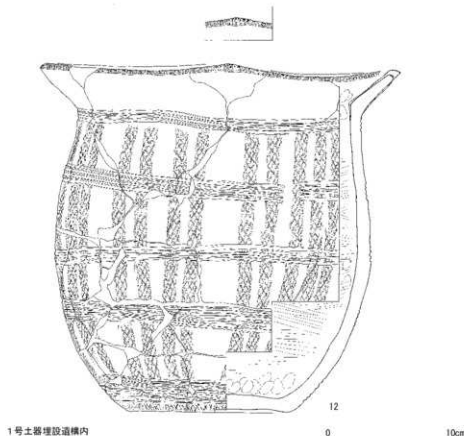
D-8区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸104cm、短軸87cm、深さは検出面から36cmである。底面はやや南側に傾斜する。北端と南西端に小穴がみられ、深さは14cm、20cmである。(土坑Ⅲ類)

71号土坑 (第294図)

C-8区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸108cm、短軸62cm、深さは検出面から55cmである。底面はやや南側に傾斜する。南よりと西端の2か所に小穴がみられる。小穴の深さは14cm、10cmである。(土坑Ⅳ類)

72号土坑 (第295図)

D-6区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸144cm、短軸111cm、深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で、北西側に深さ66cmの小穴がみられる。小穴はやや中心より最深部がみられる。73号土坑と切り合う。埋土中から土器片が1点出土した。(土坑Ⅱ類)



第296図 VII層 遺構内出土遺物 (1)

遺構内出土遺物

VII層では1~4号土器埋設遺構、54号、72号土坑、45号集石の周辺及び埋土中から遺物の出土がみられる。

1号埋設遺構出土遺物(第296図)

器高30.7cm、口径30.3cm、底径13.9cmのⅩ類深鉢形土器である。

焼成は良好で、外面はナデ調整を行った後、施文を施す。内面は若干貝殻柔痕を残すもの丁寧なナデ調整が施される。器形は底部が若干上げ底を呈し、胴部はやや内湾しながら立ち上がり胴部中位で最大径に達し口縁屈曲部に向かって若干狭くなる。

口縁部は外側に開き、屈曲部内面の稜線は明瞭に残る。口縁部は器高に比較して短い。口縁部は4か所の突起をもつ波状口縁をなす。

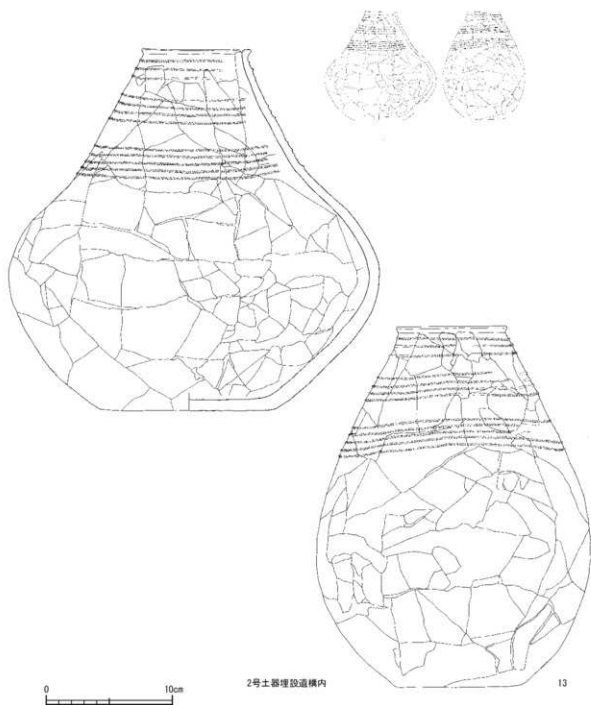
文様は口唇部外面側に縦位、内面側に斜位の刻み目を施し、波状口縁突起部には中央に縦位3条、その両側に横位2条、さらにその外側に縦位2条の沈線が施される。口縁部は無文で、口縁屈曲部下位から横位の平行沈線文と縦位の網目状襷系文が施される。

平行沈線文は屈曲部、胴部最大径部、底部、その中間部の5か所に施される。上から3条、4条、3条、5条、6条である。

網目状襷系文は、2条1組と3条1組の施文手法があり、2条で構成される面と、3条で構成される面の2面で構成される。施文順位は網目状襷系文施文の後、平行沈線文を施文する。

付着物は口縁部外面と胴部上半にスス、底部内面付近に炭化物の付着が認められ、有機物を煮沸した可能性を示している。また、胴部外面下半の赤化現象と表面の微細な亀裂や剥落、底部内面の赤化が著しいことから煮沸具として機能している。

埋設後の被熱の可能性は考えられず、煮沸具としての機能を終え、埋設することで新たな機能と役割を担ったのであろう。



第297図 VII層 遺構内出土遺物(2)

2号埋設遺構出土遺物(第297図)

器高32.1cm, 口径9.6cm, 底径は11.3~15.2cmで, IX類土器である。焼成は良好で, 外面はナデ調整を行った後胎文を施す。器壁が3mm程度と極めて薄い部分もあり, 丁寧にヘラケズリを行ったと思われる。

底部は楕円形を呈し, 胴部下半は底面形を保ちながら膨らみつつ立ち上がり, 胴部は左右に大きく張り出す楕円形となる。胴部上半からは直線的に内傾し, 壺の頸部を形成しながら正円形の口縁部へと続く。

頸部には, 刻みを施す微隆起線が施される。微隆起線は3か所に集約して施され, 上から3条, 4条, 5条となる。最上位の3条の微隆起線には, 右下がりのヘラ刻みが施される。中位の4条の微隆起線は上から左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がり, 右下がり, 右下がり, 右下がり, 右下がり, 右下がり, 右下がりのヘラ刻みが施される。下位の5条の微隆起線にも交互に右下がり, 左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がりのヘラ刻みが施される。

付着物は胴部最大部付近にススの付着が見られ, 内面

には炭化物等の付着はみられない。このことから有機物以外の物質、水などの液体を煮沸した可能性も考えられる。また胴部外面下半に器壁の剥落が認められ、被熱の痕跡を明瞭に伝えている。

この壺形土器も1号埋設土器同様、埋設することで新たな機能と役割が与えられたのであろう。

3号埋設遺構出土土器(第298, 299号)

C-6区、Ⅶ層で検出した。器高は現存長で35.4cm、口径は欠損のため不明、底径は11.9cm~15cmのⅩ類土器である。焼成は良好で、外面は丁寧なナデ調整の後、施文が施される。内面は口縁の細かな貝殻条痕の後、丁寧にナデで調整している。

底部は楕円形で、胴部下半は底面形そのままにふくらみをもち立ち上がり、胴部が左右に張り出す楕円形となる。胴部最大径は胴部上位にあり2号、4号と比較して大きく肩の張る形態である。やや平坦な肩部を形成した後、ほぼ直線的に内傾し口縁部へと向かう。胴部の張り具合をイメージとして表すと2号、4号がなで肩で3号はいかり肩といった感じである。

施文は口縁部から頸部にかけて施される。まず、5~6条1組の横位の平行沈線文を頸部の上部と下部に還らす。次に、その平行沈線間を繋ぎながら、同じように5~6条1組の平行曲線文を充填し、施文を施している。その後、平行沈線文に2~3本の半月形状の短沈線文を重ねている。なお、失われた口縁部付近にも施文されていた可能性が残される。

付着物は壺3個体中最も顕著で、胴部最大部直下付近にススの付着がみられる。濃液で図示した部分にススが残り、濃く表示した部分は特に濃く残されている。一方、内面には炭化物は残されず、2号と同様水などの液体を煮沸した可能性を示している。

胴部下半から底部にかけ、器面の亦化と剥落、微細な亀裂が見られ、強く被熱している。

第4号埋設遺構出土土器(第300号)

C-6区、Ⅶ層で検出した。器高は現存長で32.8cm、口径は欠損のため不明、底径は13.9cm~15.6cmのⅩ類土器である。焼成は良好で、外面は丁寧なナデ調整の後、施文が施される。内面は丁寧なナデ調整が施される。

底部は楕円形で、胴部下半は底面形そのままにふくらみをもち立ち上がり、胴部が左右に張り出す楕円形となる。頭部は内傾しながら、楕円形の胴部最大部から口縁部へと直線的に立ち上がる。

胴部下半から底部接地面にかけて器壁は厚くなり、壺形土器3個体中最も厚く1.5cm程度である。

文様は口縁部から頸部にかけて施される。3条1組横位の平行沈線文を6段施し、平行沈線文は3段が1組になり、曲線文で繋がれている。

付着物は胴部外面中位から下位にかけてススの付着が

認められ、内面には炭化物の付着はみられない。2号同様有機物以外の物質、水などの液体を煮沸した可能性が考えられる。また胴部下半に器壁の剥落や微細な亀裂が見られ、激しく煮沸を受けた痕跡を残している。

54号土坑出土土器(第301号)

16~18は耳栓状土製品である。3個体とも環状を呈し表裏面の径が若干異なる。16は張り出した外面端部に、斜位の刻みを施す。表裏面、刻みの一部に赤色顔料が残る。外径は57mm~64mmで、内径約28mm、高さ約37mmを測る。17は外径66mm~70mm、内径約45mm、高さ45mmを測る。文様等は施されない。18は大半を欠損する。推定外径72mm、内径36mm、高さ34mmを測る。17同様文様等は施されない。

19, 20はⅦ類土器である。19は口唇部に刻みが、外面に連続した刺突文と短沈線文が施される。20は口唇部を欠損するが、19同様の施文を持つ。

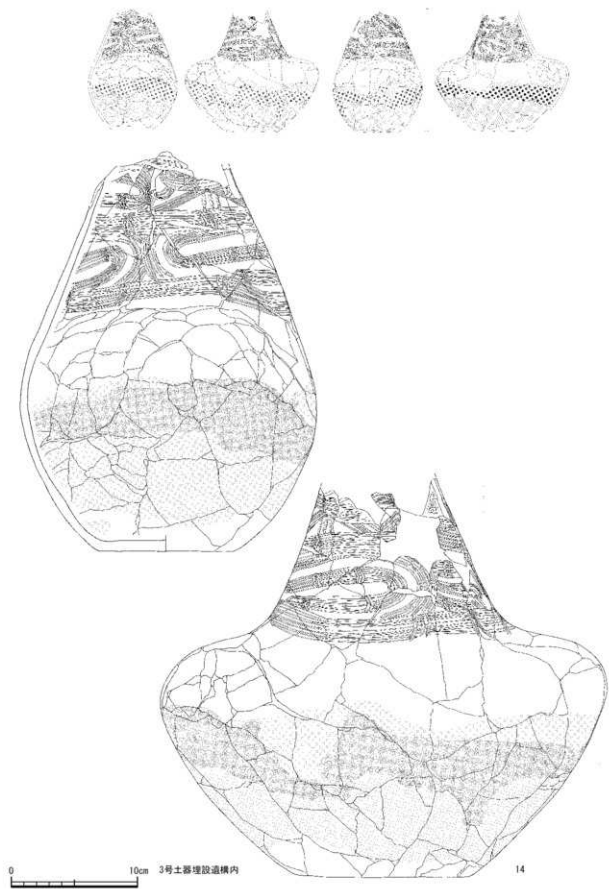
21~27はⅩ類土器で、21~26は深鉢形土器、27は壺形土器である。21は口縁部で外面に細かい刻みを行う微隆起線と沈線文を施す。22は胴から口縁にかけての屈曲部で胴部に懸糸文が施文され、口縁はきつく外反する。23は無文の口縁部で、口唇部が一部肥厚し波状口縁を呈す。24, 25は懸糸文の施文される胴部である。26は無文のやや内湾する胴部である。27は壺の口縁部あるいは直下の内傾する頸部と思われる。外面に縦位の懸糸文が施される。

28, 29は定型化する抉入石器である。28は黒色のチャート製で、両側縁及び下端部を3カ所に丁寧な調整による抉りを施す。29は緑色のチャート製で両側縁に簡単な抉りを施す。

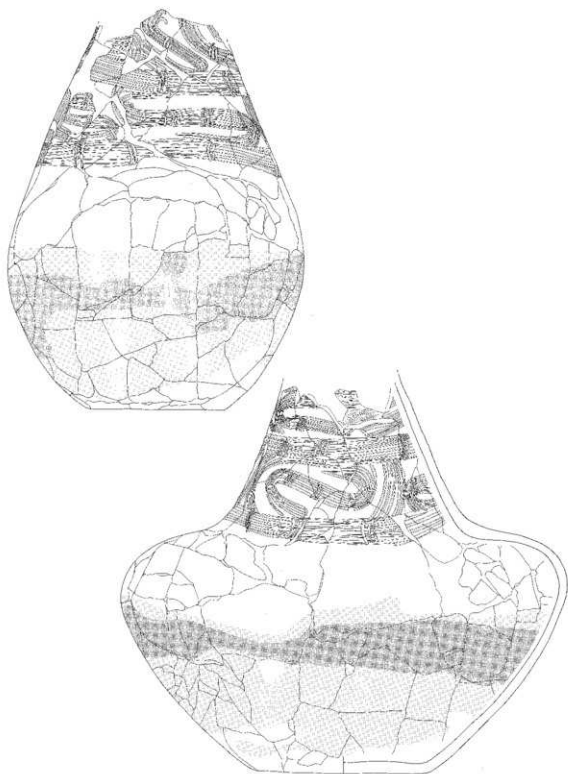
30~37は打製石鏃である。

30は灰色の安山岩製で先端部と逆刺が欠損する。31は黒色の頁岩製で基部が欠損する。調整は比較的粗く、厚手で裏面に素材剥片の剥離面を多く残す。32は灰色の安山岩製で、先端部、基部を欠損するが、薄手で両面から丁寧に調整されている。33は灰色の安山岩製で両逆刺を欠損する。両面から交互剥離調整を施し丁寧に仕上げている。34は灰色の安山岩製で逆刺の一方と先端部を欠損する。35はギョクズイ製で先端部、基部を欠損する。側縁部はやや内湾している。36は明灰色の安山岩製で、先端部、逆刺の一部が欠損している。側縁は両面からの丁寧な交互剥離調整で、基部は深く抉りを施す。37は灰色の安山岩製で、逆刺の一方を欠損する。側縁部は直線状で縦長の形態である。

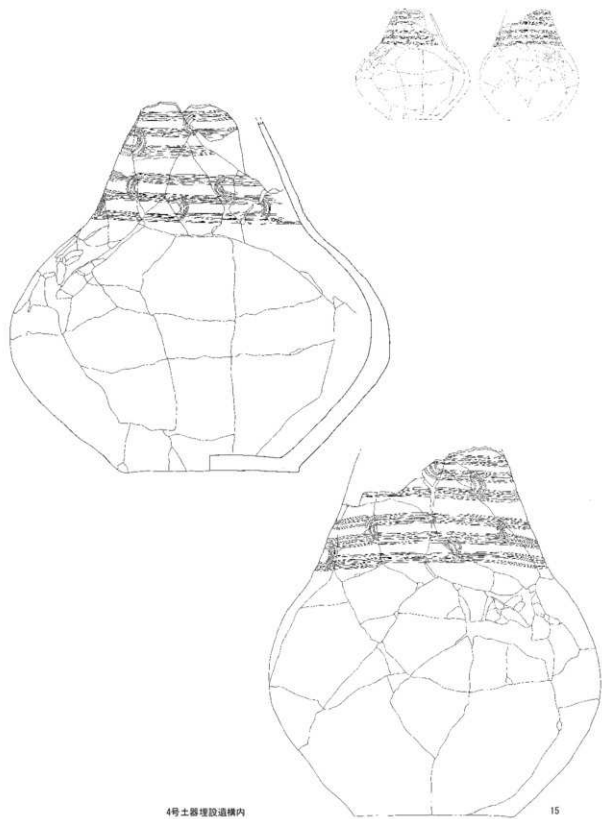
38は二次加工痕のある剥片である。灰色の安山岩製で、側縁部両面に微細な剥離痕が認められる。



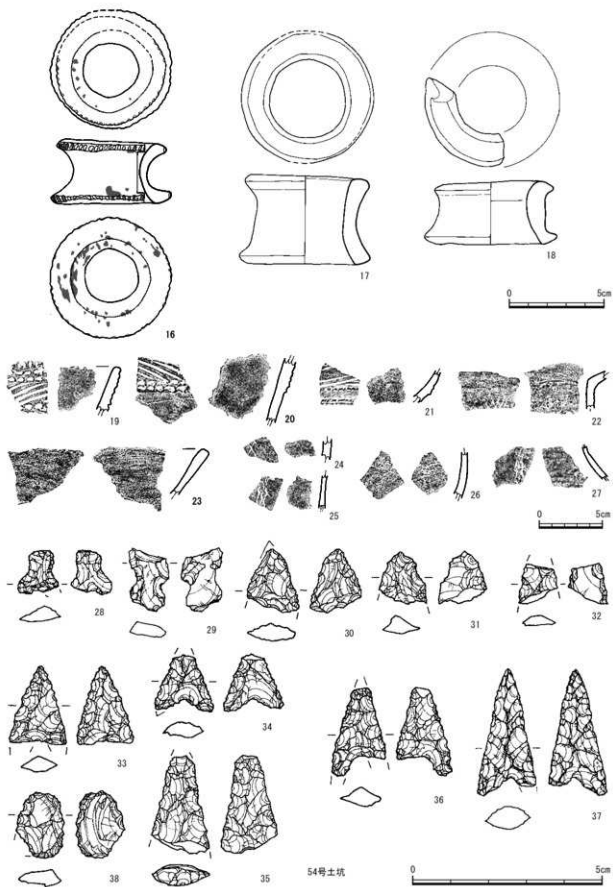
第298図 VII層 遺構内出土遺物 (3)



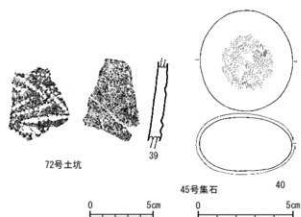
第299圖 VII層 遺構内出土遺物 (4)



第300図 VII層 遺構内出土遺物 (5)



第301图 VII层 遺構内出土遺物(6)



72号土坑出土遺物 (第302図)

39はⅥ類土器胴部で、外面に貝殻刺突文を施す。

45号集石遺構出土遺物 (第302図)

40は45号集石に共存した磨石である。円形を呈し、全体的によく研磨されている。

第302図 VII層 遺構内出土遺物 (7)

第72表 VII層遺構内出土土器観察表

検出No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外産色調	内産色調	胎土	備考
301	19	28号44	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部	刺突沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明灰褐色	石英、長石、角閃石	口唇部剥み
	20	28号34	C-7	54号土坑	深鉢	口縁付近?	沈線刺突	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、長石、角閃石	
	21	28号48	C-7	54号土坑	深鉢	胎曲部付近	貝殻刺突	ナデ	良好	茶褐色	暗灰褐色	石英、長石、角閃石	微塵帯貼付刻み目
	22	28号45	C-7	54号土坑	深鉢	胎曲部	彫糸	ナデ	良好	暗灰褐色	暗灰褐色	石英、角閃石	
	23	28号33	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部		ナデ	良好	明茶褐色	茶褐色	石英、角閃石	
	24	28号27	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	彫糸	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石	
	25	28号50	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	彫糸	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石	
	26	28号23	C-7	54号土坑	深鉢	胴部?	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	明灰褐色	石英、角閃石	
	27	28号94	C-7	54号土坑	壺?	腹部付近?	彫糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、角閃石	
	302	39	一括	D-6	72号土坑	深鉢	胴部	刺突	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石

第73表 VII層遺構内出土土製品観察表

検出No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	外径(mm)	内径(mm)	高さ(mm)	重量(g)	胎土	色調	焼成	備考
301	16	28号121	C-7	54号土坑	瓦椀状土製品	57~64	28~29	35~37	59	石英、長石、角閃石	茶褐色	良好	赤色顔料付着
	17	28号131	C-7	54号土坑	瓦椀状土製品	66~70	41~45	45	84	長石、角閃石	白みがかかった明灰茶褐色	良好	
	18	28号143	C-7	54号土坑	瓦椀状土製品	72φ	36φ	34	27	石英、長石、角閃石	明茶褐色	良好	

第74表 VII層遺構内出土石器観察表

検出No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考	
301	28	28号129	C-7	54号土坑	挿入石器	12.0	10.5	3.3	0.38	CH		
	29	28号130	C-7	54号土坑	挿入石器	12.0	11.2	2.5	0.63	CH		
	30	28号126	C-7	54号土坑	石鏃	17.1	14	4.5	0.94	AN		
	31	28号115	C-7	54号土坑	石鏃	14.2	12.9	5.8	0.75	SH		
	32	28号123	C-7	54号土坑	石鏃	10.7	10.5	2.5	0.28	AN		
	33	28号139	C-7	54号土坑	石鏃	21.2	15.3	4.1	1.05	AN		
	34	28号133	C-7	54号土坑	石鏃	15.4	15.8	3.9	0.7	AN		
	35	28号124	C-7	54号土坑	石鏃	26	15.5	5.3	1.78	CC		
	36	28号144	C-7	54号土坑	石鏃	23.4	14.5	5.4	1.22	AN		
	37	28号55	C-7	54号土坑	石鏃	33.5	15.5	5.5	2.09	AN		
	38	28号148	C-7	28号土坑	二次加工痕のある剥片	17.7	13.2	4.7	1.01	AN		
	302	40	一括	C-4	45号集石	磨石	106.5	96	56.5	858.0	SS	

3 VI層の遺構

集石

VI層では14基の集石を検出した。集石はVII層同様に、A地区西より南側に間く半円状に分布する傾向が顕著である。またB地区においてはI, J-13, 14区に集中する傾向が伺える。

53号集石 (第304図)

F-3区で検出した。安山岩を使用し、わずかに頁岩、砂岩が混じる。中型から小型の礫が多い。

40cm×50cmの円形に良くまとまり、中心部の礫は被熱により赤化している。黒色土の入り込む浅い掘り込みを確認している。

(集石I類)

54号集石 (第304図)

I-14区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。

65cm×70cmの円形を成し、大型礫が中心部に置かれ礫は被熱により黒変している。礫集中部の中央が窪み、掘り込みを備えた可能性が高い。

(集石I類)

55号集石 (第304図)

J-14区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中心部下部の礫は被熱により赤化している。実測観察所見に掘り込みがあるとの記載があり、断面においてもややレンズ状の礫堆積を示す。

(集石I類)

56号集石 (第304図)

E-7区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。被熱の様子ほとんどうかがえない。検出面の記載漏れのため隣接遺構レベルとの対比で層位を判断した。

(集石II類)

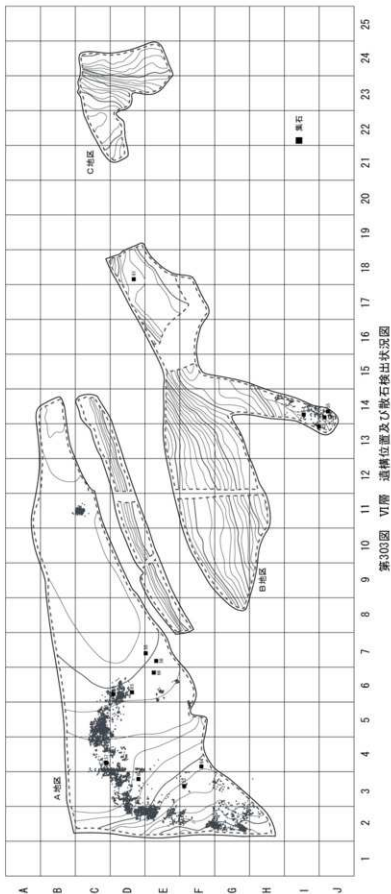
57号集石 (第304図)

C-4区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。一部の礫に被熱による赤化がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

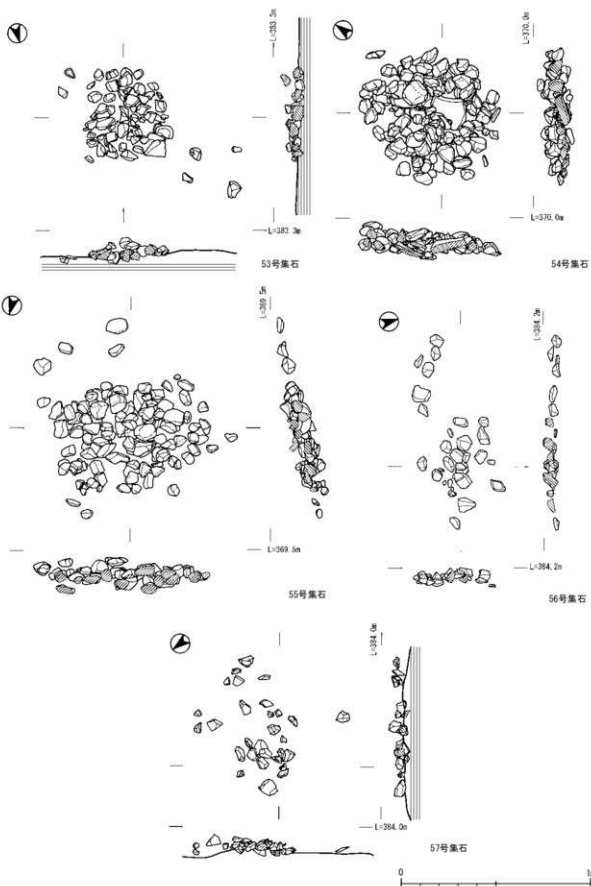
(集石II類)

58号集石 (第305図)

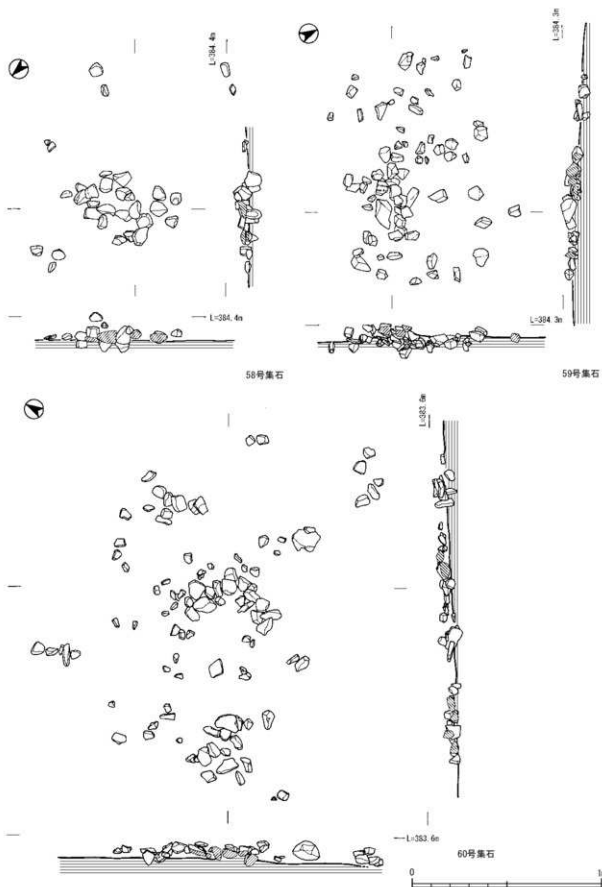
E-7区で検出した。安山岩を使用し、小型



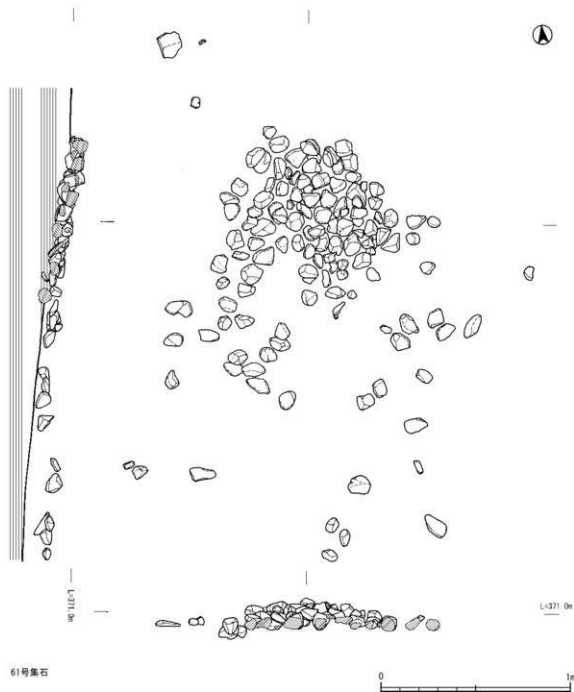
第303図 VI層 遺構位置及び集石検出状況図



第304図 VI層集石 (1)



第305図 VI層集石 (2)



61号集石

第306図 VI層集石 (3)

の礫が多い。礫の一部には被熱による赤化がみられる。検出面の記載漏れのため隣接遺構レベルとの対比で層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

59号集石 (第305図)

D-6区で検出した。砂岩を使用し、若干堆積岩系の礫が混じる。礫のほとんどは被熱により赤化、黒変し、一部は熱破砕している。検出面の記載漏れのため検出状況

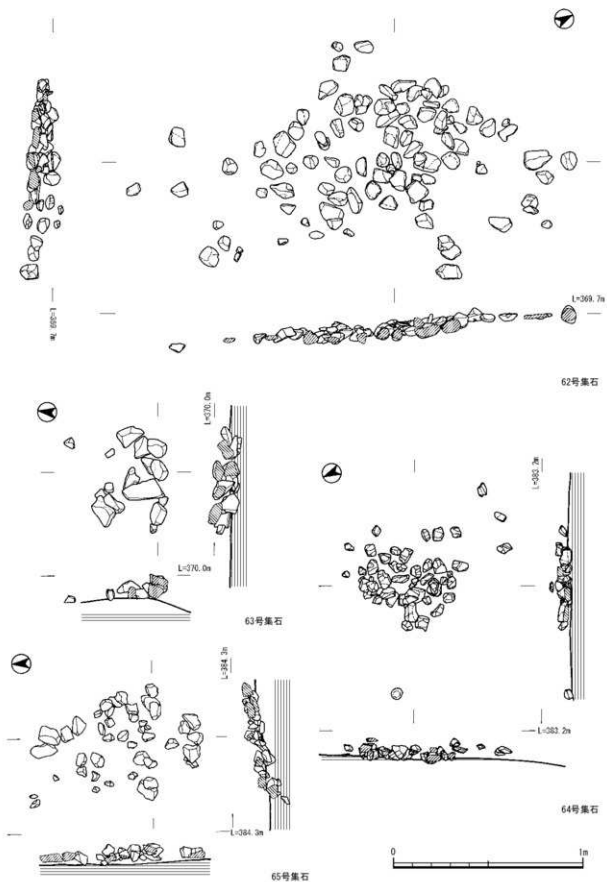
写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

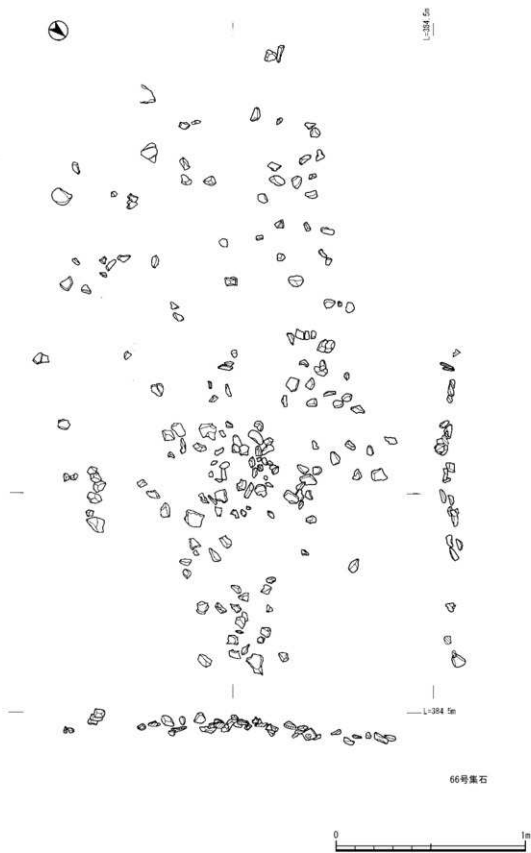
60号集石 (第305図)

D-3区で検出した。安山岩、砂岩を使用し中型から小型の礫が多い。礫はほとんど被熱を受け赤化している。特に中心付近の礫は赤化が著しい。

160cm×170cmと広く散布するが、中央部に集石(50cm)の痕跡が見られ、集石を起点に拡散した状況が読みとれ



第307图 VI层集石(4)



る。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。
(集石V類)

61号集石 (第306図)

D-18区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。中型の礫が多く、一部の礫は被熱により赤化している。砂岩は赤化が著しく、熱破砕しているものが多い。170cm×200cmの広範囲に展開するが、北側に集石(70cm×70cm)が残る。したがって、南側に散在する礫は、拡散と解される。集中部中心に若干の炭化物粒がみられる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。
(集石V類)

62号集石 (第307図)

J-14区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型の礫が多い。
150cm×200cmと広がるが、中心よりやや北側に礫の集見が見える。礫集中部の礫は被熱により赤化し、熱破砕しているものが多い。
(集石V類)

63号集石 (第307図)

J-13区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、やや大型の礫が多い。中心の大型の礫には被熱による黒変がみられる。
(集石II類)

64号集石 (第307図)

F-4区で検出した。安山岩の角礫を使用し、小型の礫が多い。集中部中心付近の礫に被熱による赤化がみられる。
50cm×50cmに集中し、遺構断面は中心がやや窪み、掘り込みを備えた可能性が高い。
(集石I類)

65号集石 (第307図)

D-6区で検出した。安山岩を使用し、若干堆積岩系の礫が混じる。中型から小型の礫が多く、ほとんどの礫は被熱により赤化し、熱破砕している。
検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
(集石II類)

66号集石 (第308図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。
160cm×330cmと広範囲に分布する。
(集石III類)

4 V層の遺構

集石

V層では3基の集石を検出した。集石は、まとまりを見せず分布する。A地区においては中央付近に1基、B地区においては緩傾斜面に2基検出した。

67号集石 (第310図)

G-13区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。礫は被熱により赤化し、一部は熱破砕している。

長径78cm、短径70cm、礫上面から11cmのほぼ円形の掘り込みが確認された。礫は掘り込み内に集中して、中央部が窪んでいる。

(集石Ⅰ類)

68号集石 (第310図)

G-15区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。大型と小型の礫が多く、一部は被熱により黒変している。炭化物粒もわずかにみられる。

(集石Ⅱ類)

69号集石 (第310図)

C-7区で検出した。小型の角礫を使用し、一部の礫は被熱により赤化している。

(集石Ⅱ類)

土坑

V層では5基の土坑を検出した。土坑は、A地区西側において、ほぼ直線上に分布する。

74号土坑 (第311図)

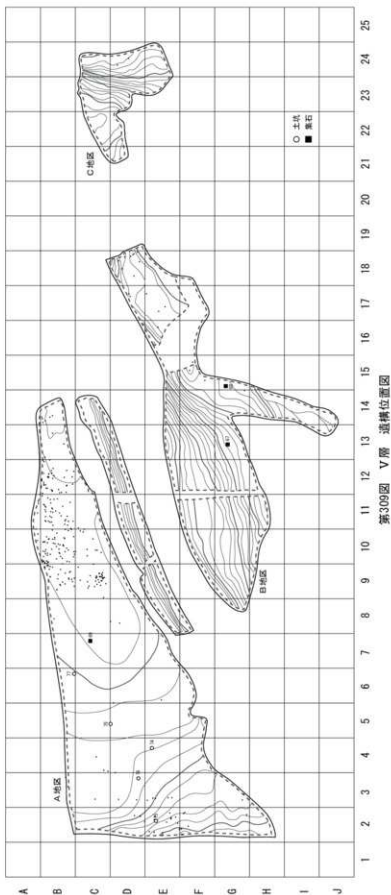
E-4区、Ⅷ層上面で検出した。平面プラン円形で長軸83cm、短軸68cm、深さは検出面から65cmである。底面はほぼ平坦で、わずかな窪みがみられる。掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。

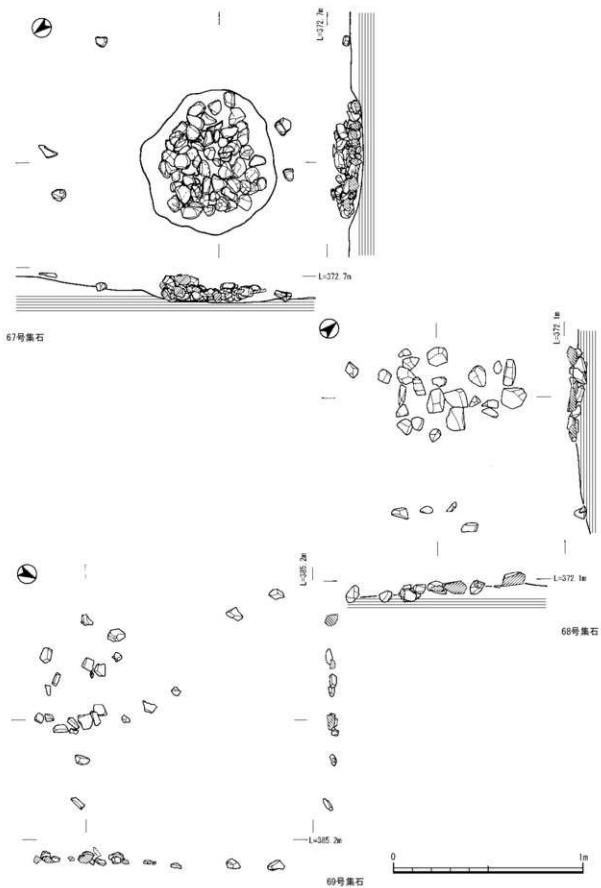
(土坑Ⅰ類)

75号土坑 (第311図)

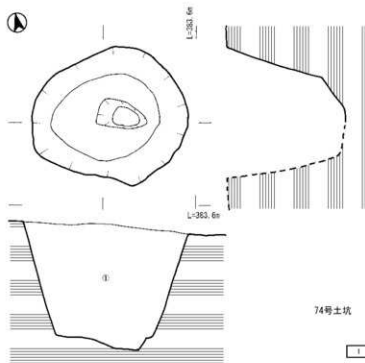
E-2区、Ⅷ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸143cm、短軸92cm、深さは検出面から57cmである。底面は平坦で、掘り込み壁の立ち上がりは垂直である。埋土中から土器片4点が出土した。

(土坑Ⅰ類)



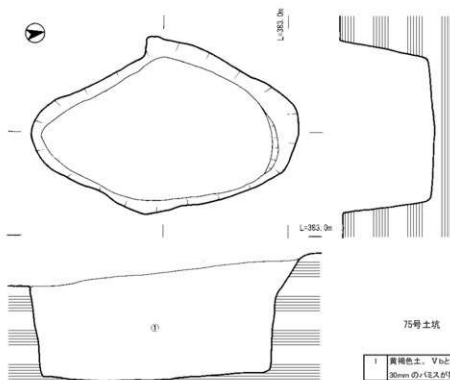


第310圖 V層集石



74号土坑

① 黄褐色土。VbとVI層土の混土と思われる。

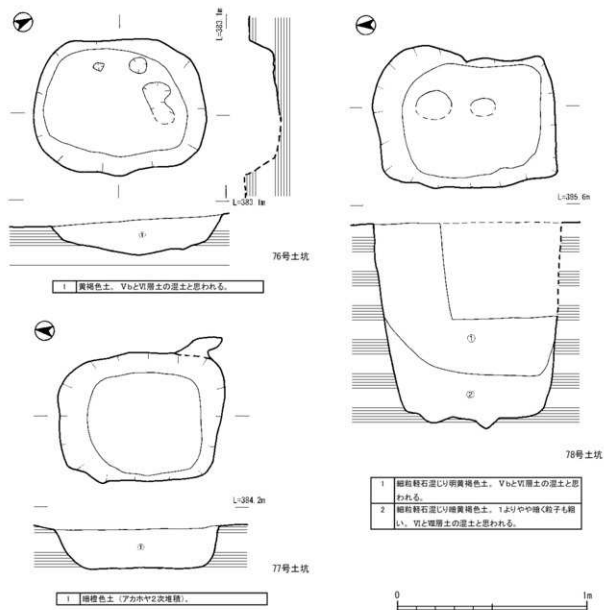


75号土坑

① 黄褐色土。VbとVI層土の混土と思われる。5～30mmのハリスが散在する。ハサバザしている。



第311図 V層土坑 (1)



第312図 V層土坑 (2)

76号土坑 (第312図)

D-3区、Ⅷ層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸92cm、短軸73cm、深さは検出面から18cmである。底面はやや皿状を呈し、掘り込み壁の立ち上がりも緩やかである。

(土坑Ⅰ類)

77号土坑 (第312図)

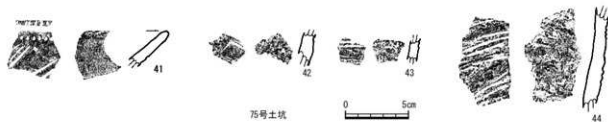
B-6区、Ⅷ層上面で検出した。平面プランは方形形で長軸86cm、短軸69cm、深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。

(土坑Ⅰ類)

78号土坑 (第312図)

C-5区、V b層上面で検出した。平面プランは方形形で長軸97cm、短軸67cm、深さは検出面から103cmである。底面はほぼ平坦でわずかな窪みが2か所みられる。掘り込み壁ほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑Ⅰ類)



第313図 V層 遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

75号土坑出土遺物(第313図)

41～44はX類土器である。

41は口縁部で、口唇部に刻み口唇直下外面に一条の貝

殻刺突、その下に斜位の貝殻条痕を施す。42～44は胴部である。外面に貝殻条痕を施す。44は特に粗い条痕が施される。

第75表 V層遺構内出土土器観察表

探頭 No	図 No	取上 番号	出土 地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	構成	外面 色調	内面 色調	胎土	備考
313	41	一括2	E-2	75号 土坑	深鉢	口縁部	刺突、沈線	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、金雲母、 白色粒	口唇部刻み
	42	一括3	E-2	75号 土坑	不明	不明	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石、 金雲母	
	43	一括4	E-2	75号 土坑	不明	不明	貝殻条痕、沈線	ナデ	良好	茶褐色	暗茶褐色	石英、長石、 角閃石	
	44	一括1	E-2	75号 土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英、長石、 角閃石、磁礫	

5 IV層の遺構

土坑

IV層では4基の土坑を検出した。土坑は、A地区西側に3基、B地区に1基、散在する状況で分布する。

79号土坑 (第315図)

B-3区、V b層上面で検出した。削平のため平面プランの確定はできないがおそらく楕円形であったろうと思われる。長軸100cm、短軸不明、深さは検出面から65cmである。底面はやや東側に傾斜し、中央に深さ15cmの小穴がみられる。埋土中から土器片が4点出土した。

(土坑IV類)

80号土坑 (第315図)

H-2区、VIa層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸96cm、短軸92cm、深さは検出面から76cmである。底面はほぼ平坦で、やや北よりに径の小さい深さ27cmのピットを確認し、逆茂木と判断した。

(土坑IV類)

81号土坑 (第315図)

F-3区、Va層上面で検出した。一部削平を受けているため平面プランは確定できないが、おそらく円形であろうと思われる。長軸97cm、短軸86cm、深さは検出面から103cmである。

底面は平坦で、中央にやや径の大きい深さ48cmの小穴がみられる。

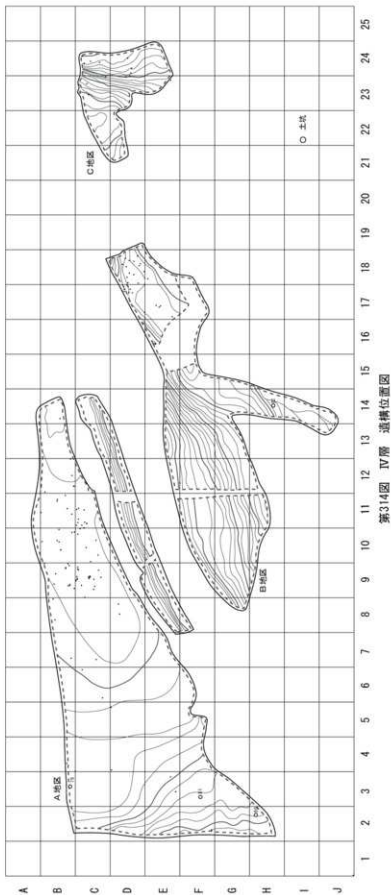
(土坑IV類)

82号土坑 (第315図)

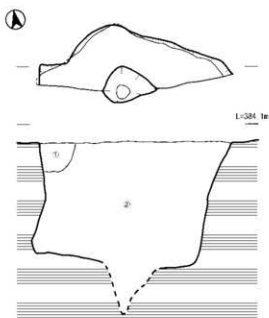
H-14区、VIa層上面で検出した。平面プランは楕円形状で一部突出部がみられる。長軸140cm、短軸62cm、深さ34cmである。

底面にはやや起伏があり、小穴が5か所にみられる。深さは4cmから11cmと浅く、やや斜め方向である。

(土坑IV類)

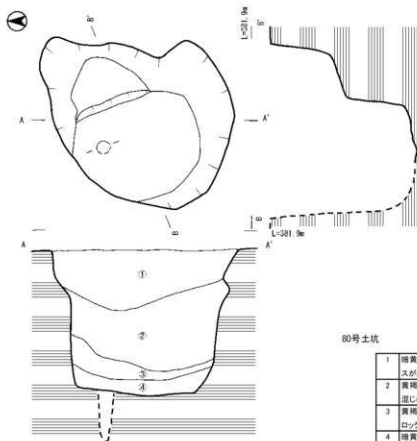


第315図 IV層 遺構位置図



79号土坑

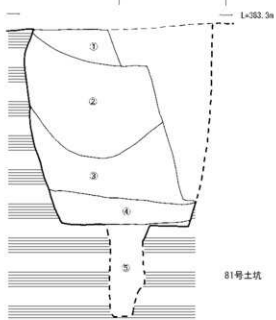
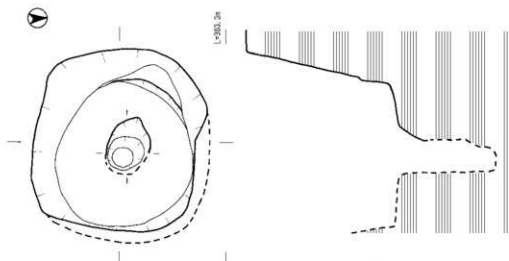
1	明褐色火山灰（アカホヤ）。細粒ハリスを若干含みや粘質がある。ブロック状に落ち込んだものと思われる。
2	細粒軽石混じり黄褐色硬質土。やや粘性がある。細粒ハリスが混じる。



80号土坑

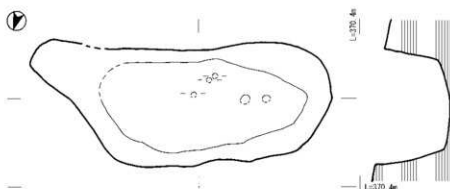
1	暗黄褐色土。IV～V層土の混土。5mmほどのハリスが混じる。
2	黄褐色土。IV層土より細かい。5～20mmのハリスが混じる。
3	黄褐色土。2より若干明るい。アカホヤ火山灰がブロック状に混ざる。
4	暗黄褐色土。1より若干明るい。

第315図 IV層土坑 (1)

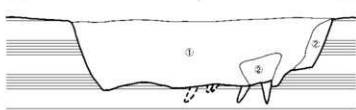


81号土坑

1	黄褐色土。
2	IV~V層土の混土。10~20mmのハイスが混じる。
3	IV~V層土の混土。5mmほどのハイスが若干混じる。
4	埋層土の一種似している。5mmほどのハイスが若干まじりややハヤつく。
5	4より細かい。



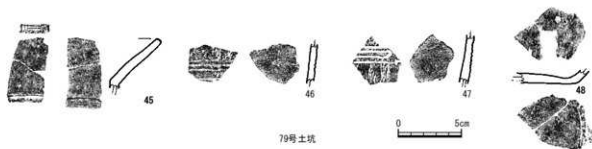
82号土坑



1	黄褐色土。御池火山灰が混じる。
2	黄褐色土。IVとV層土の混土。



第316図 IV層土坑(2)



第317図 IV層 遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

79号土坑出土遺物 (第317図)

45～48はⅩ類土器である。

45は口縁部から屈曲部にかかるもので、口唇部に2本1対の沈線が縦位、横位に施される。外面屈曲部には横位の沈線が認められ、内面の屈曲部稜線は明瞭に残され

る。46, 47は胴部で、外面に縦位の撫糸文と横位の沈線文を施す。48は底部で外面に横位の沈線が施される。撫糸の痕跡もわずかにみられる。

第76表 IV層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
317	45	一括3	C-3	79号土坑	深鉢	口縁～屈曲部	沈線	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、角閃石	
	46	一括1	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線、撫糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石	
	47	一括4	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線、撫糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石	
	48	一括2	C-3	79号土坑	深鉢	底部	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、長石、角閃石	

第3節 縄文時代の土器

発掘調査で出土し、縄文時代に該当する土器の総点数は3356点である。

この3356点の中で、出土遺物の部位や文様が識別困難な小片を除き、接合を経て型式として確認ができたものは833点である。これらの833点について、型式分類及び細別を行い本報告書に記載した。

取り扱った833点については、Ⅰ類～ⅤⅤ類の各類型として分類している。

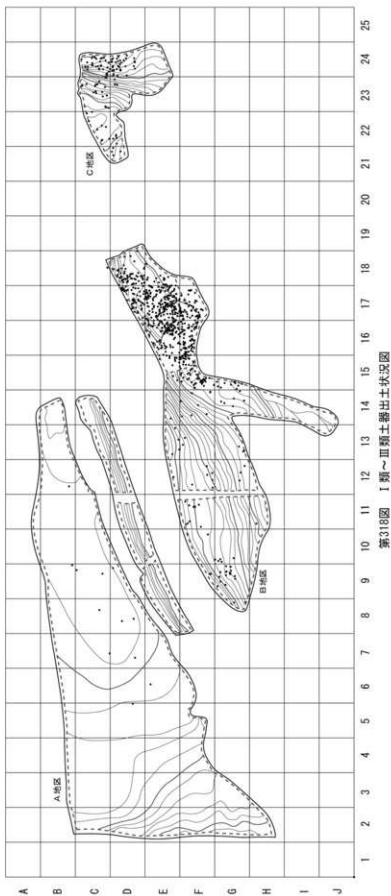
出土層位は、Ⅷ層～Ⅳ層出土及び表土一括の土器として処理されており、南九州縄文時代早期～晩期の時期に該当し、この間の層中でⅠ類土器からⅤⅤ類土器が出土している。

Ⅷ層～Ⅵ層は縄文時代早期に相当し、Ⅰ類からⅩ類土器が出土している。

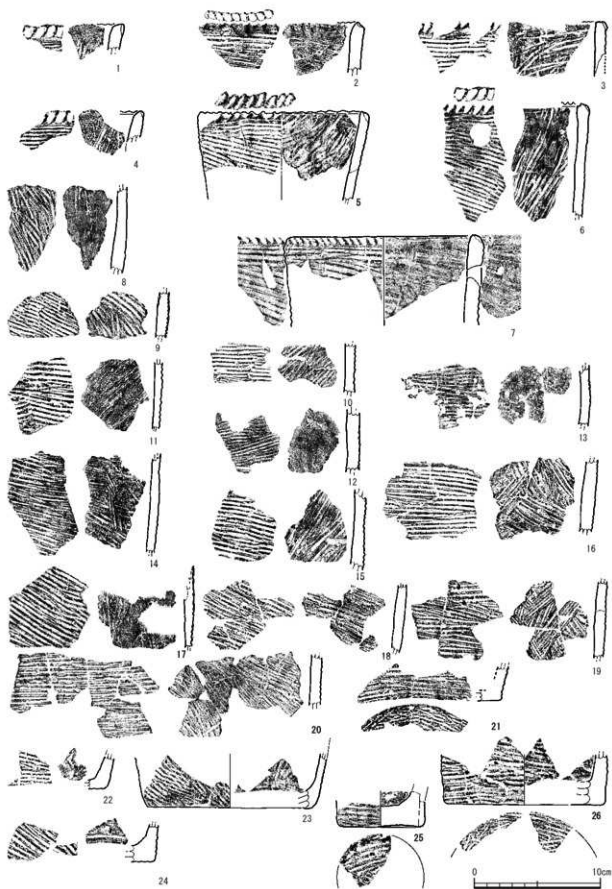
Ⅴ層は縄文時代前期、中期に相当し、ⅩⅠ類土器からⅩⅢ類土器が出土している。

Ⅳ層は縄文時代後期、晩期に相当し、ⅩⅣ類、ⅩⅤ類土器が出土している。

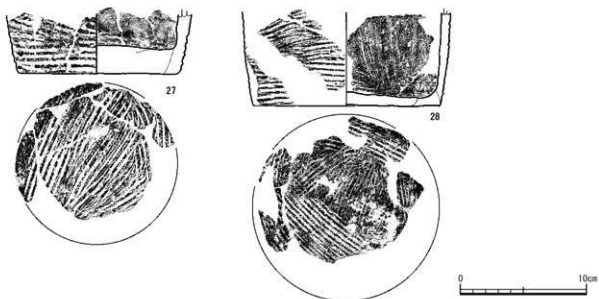
なお、各類型とそれぞれの概要については以下の通りである。



第318図 Ⅰ類～Ⅲ類土器出土状況図



第319圖 I類土器実測圖(1)



第320図 I類土器実測図(2)

1 I類土器 前平式土器(第318, 319図)

平底の底部から直線的に立ち上がり、若干外反する口縁部を持つ円筒形貝殻条痕文土器で、前平式土器に分類される一群である。

口唇部に刻み目を有し、口唇部の直下より底部にかけての全域は、横位ないし斜位の貝殻条痕文を施している。内面は、条痕整形(3, 5, 6)、条痕整形後ナデ(1, 2, 4等)や工具ナデ(7)で仕上げ、胴部から底面にかけては貝殻条痕仕上げ(9, 16, 20, 23等)が普遍化している。また、底部接地面も貝殻条痕で整形される。

口唇部の刻みは、貝殻腹縁(3, 5, 7)と棒状工具(1, 2, 4)を使用している。

口縁部から胴部の器壁は7~10mm、底部は15mm~20mm

で、底部が厚く作られることが一般的である。なお、底部接地面は正円形をなすが、これは貝殻円筒形土器に共通する特徴でもある。

7は口縁部付近の補修穴で、外面から縦長に穿孔され、穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部と底部の接着に関し、21および25~28の観察からは、筒状の胴部と底部を別々に製作し、円盤状の底部を筒状の胴部に入れ込み(底部を胴部で包み込む)、接着する行為がみられる。特に、27, 28の底部円盤を断面で観察すると、内底面が長く、地に接する接地面が短く作られ、逆台形状を呈している。このことから、底部を胴部で包み込む製作が行われたことが読みとれる。

第77表 I類土器観察表(1)

種別	図	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
319	1	8063(F-16/電層)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	2	7830(D-17/電層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	3	8573(E-18/電層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	貝殻痕	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	4	8017(E-17/電層)	Hue7.5YR2/2 (黒褐色)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	5	7840(D-18/電層) 7851(D-18/電層) 7987(D-18/電層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	貝殻痕	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	6	8080(D-18/電層) 8085(D-18/電層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	貝殻痕	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
	7	7643(E-17/電層) 7653(E-17/電層) 7655(E-17/電層) 7666(E-17/電層) 7800(E-17/電層) 8004(E-17/電層)	Hue10YR4/1 (褐色)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	ナデ 貝殻痕	貝殻痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り 補修穴2
	8	7832(D-17/電層)	Hue2.5YR3/2 (暗赤褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝殻痕	長角石	胴部
	9	7707(E-17/電層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	貝殻痕	貝殻痕	長角石	胴部
	10	8018(E-17/電層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	貝殻痕	貝殻痕	長角石	胴部

2 日類 吉田式土器 (第320回～第326回)

平底の底部から直線の立ち上がり、口縁部が外反する口縁部(29, 30, 73, 80, 105等)と、直立する口縁部(85, 87)を持つものがあり、前者が卓越する。

器形は円筒形と角筒形をなす貝殻条痕文系の土器で、胴部文様は貝殻複線の押引文を専らとし、吉田式土器に分類される。

円筒形土器の中には口縁部直下の貝殻刺突線文の下に、楔形の突帯文を持つもの(29, 30, 31, 32, 33, 34)もあるが、角筒形土器ではみられない。

平坦に整形した狭い口唇部に規則的なヘラ刻みを施し、口縁部端には横位の貝殻刺突線文を1条(1, 2, 3, 48, 72, 105等)、2条(38, 40, 60, 104等)、3条(77, 82, 85, 87)、5条(81, 83, 86)施す。

貝殻刺突線文の下位には縦位の楔形の貼付文(29, 30, 31, 32, 33, 34)を行ったものと、密接な縦位の貝殻刺突文を施すもの(35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42)、(43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50)の様に貝殻施文のロッキング手法によって楔形文様を表現しているものもある。

円筒形土器では、胴部から底部の施文は横位の貝殻押

引文を基調とするが、個体によりバリエーションがみられる。貝殻刺突線文の下位に縦位の貝殻複線刺突文を密に1列(70)ないし2列(40, 72等)施すものや、やや粗に1列(77)、2列(71, 75)あるいは斜めに(79)施すもの等がみられる。また、(101, 103, 104, 105)の様に、半截竹管文を配するものもある。

角筒形土器(52, 53, 54)では、貝殻複線のロッキング手法で楔形突帯文を表現する。

底部端には129～155のいずれも縦位の刻みを有している。また、底部は正円形をなし、接地面は丁寧に磨かれており総じて、薄く作られている。

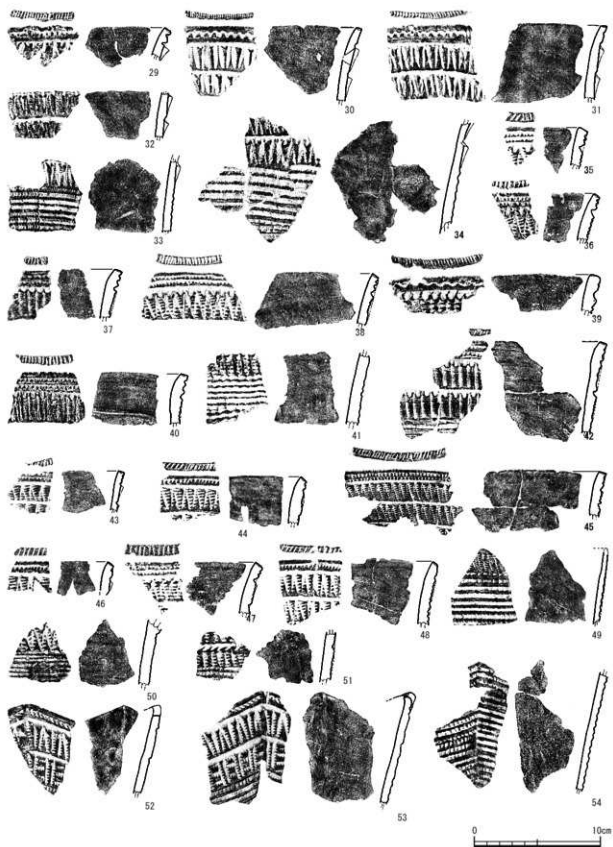
30の楔形突帯文間に補修孔が見られ、外面から縦長に穿孔され、穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部の押引文の施文具とした貝殻複線は、1cm前後と2cm前後の規格が存在する。

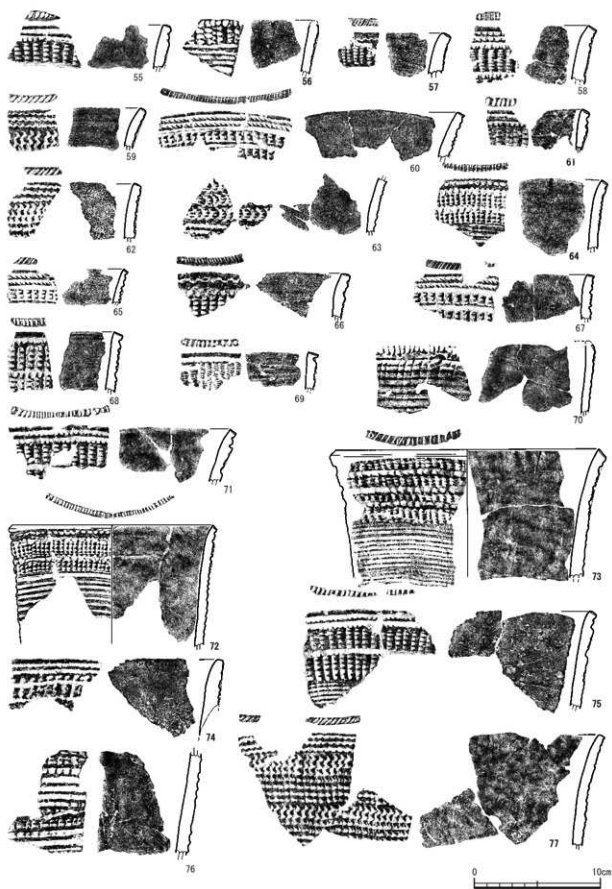
内面整形は、底部から胴部中央付近まではヘラの縦ぐりが見られるが、上位は丁寧にナデで仕上げている。

第78表 1類土器観察表(2)

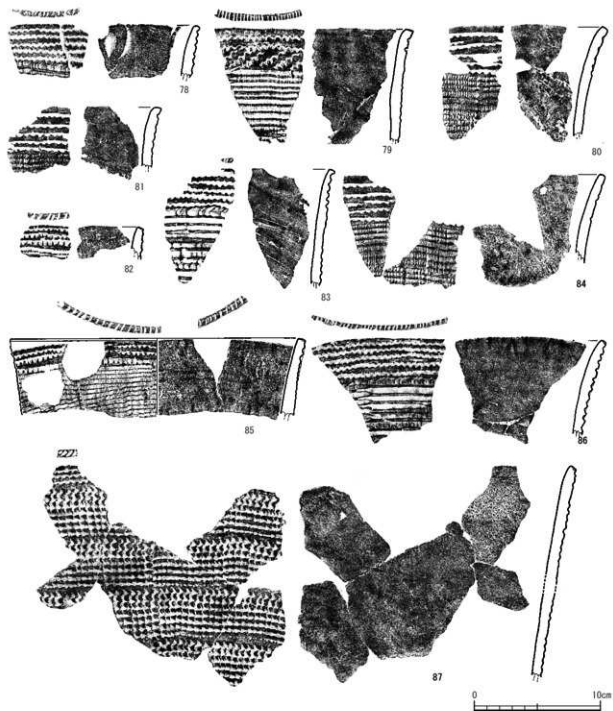
検出 No	回 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
319	11	7822(E-17/電層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR8/3 (淡黄褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	12	7680(E-17/電層)	Hue5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/1 (黄褐色)	ナデ	貝条痕	長角石	胴部	
	13	111968(F-16/電層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕	長角石	胴部、(外)あばた伏割落	
	14	8069(D-17/電層)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	15	8083(D-18/電層)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR5/4	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	16	7662(E-17/電層) 7827(D-17/電層) 7828(D-17/電層)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	17	8058(E-17/電層)	Hue5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部、(内)割落	
	18	8098(D-18/電層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/4 (にふい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	19	7789(D-18/電層) 8073(D-18/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	20	7676(E-17/電層) 7752(D-17/電層) 8093(D-18/電層) 8094(D-18/電層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR3/4 (暗赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	胴部	
	21	8005(E-17/電層)	Hue2.5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue2.5YR4/4 (にふい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	底部、(内)割落	
	22	8088(D-18/電層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	底部	
	23	7975(E-17/電層) 8055(E-17/電層)	Hue10YR4/3 (にふい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	底部	
	24	8059(E-17/電層)	Hue7.5YR5/3 (にふい褐色)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	底部	
	25	7801(E-17/電層)	Hue2.5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue2.5YR5/4 (にふい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長角石	底部、(外)割落	
	26	8007(E-17/電層) 8008(E-17/電層) 8037(E-17/電層)	Hue2.5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue2.5YR4/4 (にふい赤褐色)	ナデ 貝条痕	貝条痕	長角石	底部、(内)底部割落	
	320	27	8001(D-17/電層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	貝条痕	長角石	口縁部、口唇部刻み有り
		28	7729(E-16/電層) 7821(E-17/電層) 7936(E-17/電層) 7976(E-17/電層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝条痕	長角石	底部



第321图 II類土器実測圖(1)



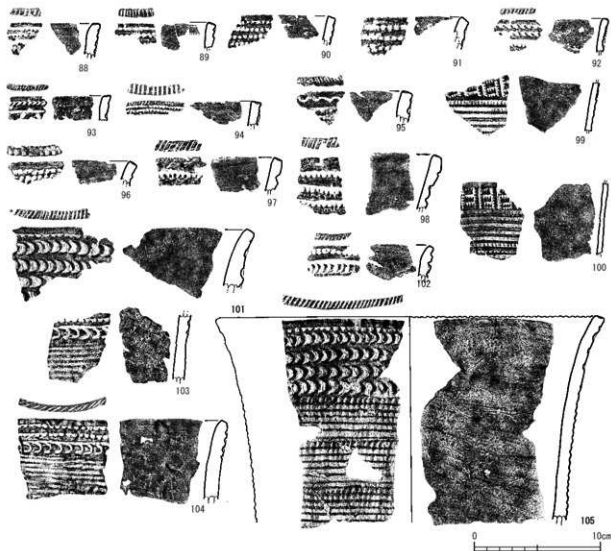
第322圖 II類土器実測圖(2)



第323図 II類土器実測図(3)

第79表 II類土器観察表(1)

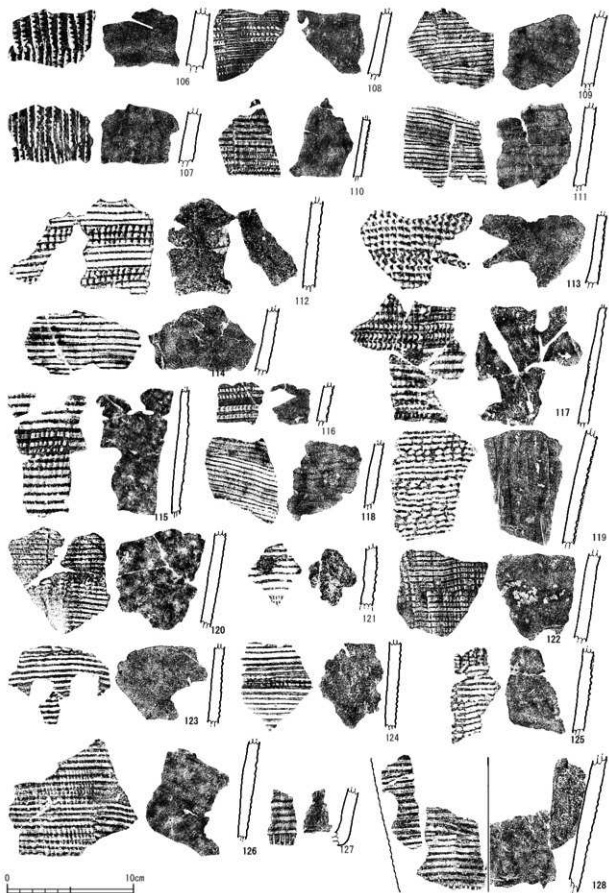
種目 No	取上番号 (出土区/層位)	色頭(内)	色頭(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
321	29 8123 (D-24/甕層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長角石	口縁部、貼付クサビ
30	7297 (C-22/甕層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長角石	口縁部、貼付クサビ、補修孔
31	7359 (D-23/甕層)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR7/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長角石	口縁部、貼付クサビ
32	7408 (D-24/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長角石	口縁部付近、貼付クサビ 31と同一か?



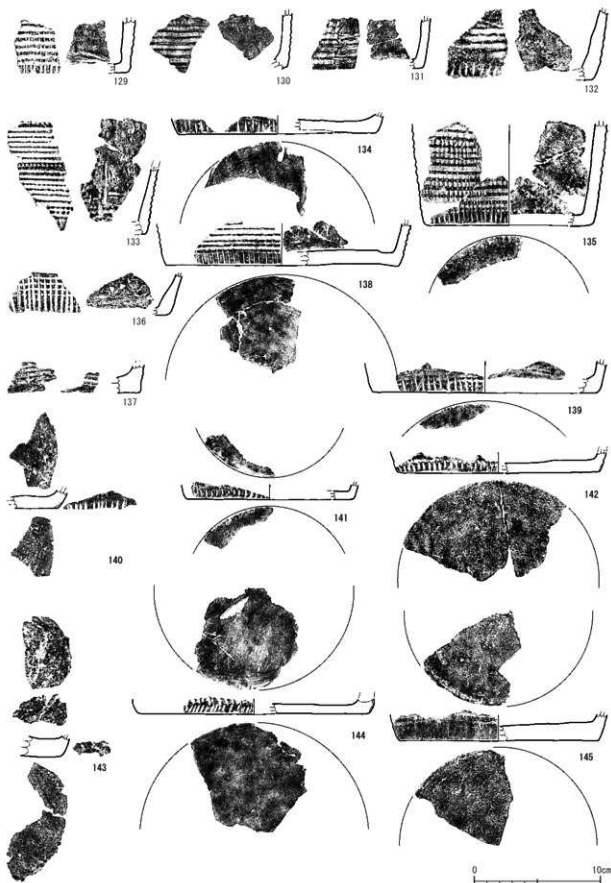
第324図 II類土器実測図(4)

第80表 II類土器観察表(2)

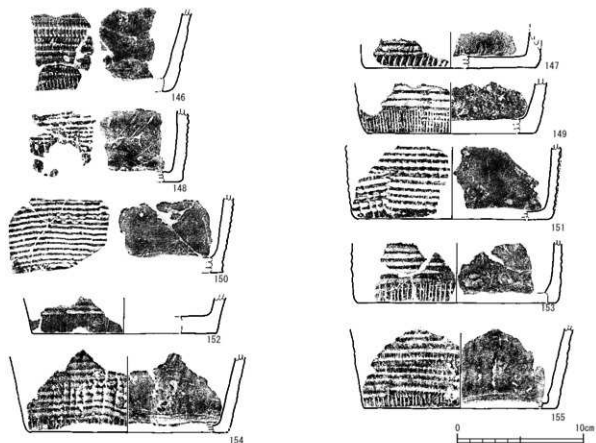
検出 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
321	33 8907(C-23)/Ⅷ層	Hue10R7/4 (にふい黄褐色)	Hue10R7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝割突(縦横)	長角,石	口縁部付近,貼付クサビ
	34 7380(D-24)/Ⅷ層 8101(D-21)/Ⅷ層 8132(D-24)/Ⅷ層	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	ナデ	貝押引(横) 貝割突(縦横)	長角,石	口縁部付近,貼付クサビ
	35 7409(D-24)/Ⅷ層	Hue10R7/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝割突(縦横), 貝押引(横)	長角,石	口縁部,ロッキング割突
	36 8929(C-24)/Ⅷ層	Hue7 5YR7/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角,石	口縁部,ロッキング割突
	37 7270(D-22)/Ⅷ層	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝割突(縦), 貝押引(横)	長角,石	口縁部,縦位割突
	38 7322(C-24)/Ⅷ層	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角,石	口縁部,ロッキング割突
	39 8417(F-15)/Ⅷ層	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue10YR6/6 (明黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角,石	口縁部付近,縦位割突
	40 7365(D-24)/Ⅷ層	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角,石	口縁部,縦位割突
	41 4764(D-5)/Ⅷ層	Hue10R7/4 (にふい黄褐色)	Hue10R7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角,石	口縁部付近,(内)炭化物附着 縦位割突
	42 7357(C-23)/Ⅷ層	Hue5YR4/4 (にふい赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角,石	口縁部,縦位割突
	43 7389(D-24)/Ⅷ層	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角,石	口縁部,ロッキング割突



第325圖 II類土器実測圖(5)



第326圖 II類土器実測圖(6)



第327図 II類土器実測図(7)

第81表 II類土器観察表(3)

種別	図No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
321	44	11023(F-17/甕層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部付近, ロッキング割突	
	45	1977(B-9/VI層) 1980(C-9/VI層)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, ロッキング割突	
	46	12015(E-16/甕層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR7/6 (褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, ロッキング割突 縮径孔	
	47	7882(E-18/甕層)	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue10YR4/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, ロッキング割突	
	48	11114(E-16/甕層)	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, ロッキング割突	
	49	1989(D-9/VI層)	Hue10YR5/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長角, 石	口縁部付近, ロッキング割突	
	50	7354(C-23/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	貝押引(横), 貝割突(縦)	長角, 石	口縁部付近, ロッキング割突	
	51	8128(D-24/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長角, 石	口縁部付近, 縦位割突	
	52	7404(C-24/甕層)	Hue2 5Y3/1 (黒褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝割突(縦)	長角, 雲	口縁部, 角筒, ロッキング割突 貝割突(縦)	
	53	7335(D-24/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, 角筒, ロッキング割突 雲	
	54	7323(C-24/甕層) 7391(D-24/甕層)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長角, 石	口縁部付近, 角筒 雲	
	322	55	7714(E-16/甕層)	Hue10YR5/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突
		56	8276(G-12/甕層)	Hue7 5YR7/6 (褐色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長角, 石	口縁部付近, 縦位割突
		57	11644(F-15/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突, 雲母
58		7347(C-23/甕層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押引(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突, 砂粒多い	
59		19109(F-9/甕層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横) 貝押引(横)	長角	口縁部, (内)灰化物付着 縦位割突	

第82表 II類土器観察表(4)

種別 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
322	60	7384(D-24/電層) 8110(C-25/電層) 8117(D-24/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突, 金雲母	
	61	7956(F-17/電層)	Hue7.5YR7/6 (棕色)	Hue5YR6/6 (棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角	口縁部, 縦位割突	
	62	16510(G-10/電層)	Hue10YR7/3 (にふい黄棕色)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横) 貝押し(横)	長角	口縁部, 縦位割突, 59と同一か?	
	63	8165(F-15/電層) 8348(F-15/電層)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横) 貝押し(横)	長角, 石	口縁部付近, 縦位割突, 小型	
	64	11956(F-17/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝条痕(横)	長角, 石	口縁部(外)炭化物付着 縦位割突	
	65	7328(C-24/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突, 砂粒多い	
	66	8346(F-15/電層)	Hue10YR7/4 (にふい黄棕色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	67	7381(D-24/電層)	Hue5YR6/6 (棕色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	68	8391(F-15/電層)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	69	11664(E-16/電層)	Hue10YR7/4 (にふい黄棕色)	Hue10YR7/4 (にふい黄棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突, 小型	
	70	11205(F-16/電層) 12053(F-15/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(横)	長角, 石	口縁部付近, 縦位割突	
	71	8374(F-15/電層) 8567(D-18/電層)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	72	7696(E-17/電層) 7698(E-17/電層) 11957(F-17/電層)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝条痕(横)	長角, 石	口縁部, ロッキング割突	
	73	7174(G-13/電層) 8194(F-14/電層) 8217(F-13/電層) 8233(E-12/電層) 8244(F-12/電層) 8254(F-12/電層) 8257(F-12/電層) 8361(F-15/電層) 8421(E-13/電層) 16433(F-11/電層) 16434(F-11/電層) 16454(F-11/電層) 16467(F-10/電層) 16563(F-11/電層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突 貝押し(横)	
	74	8042(F-17/電層)	Hue7.5YR7/6 (棕色)	Hue5YR6/6 (棕色)	ナデ	ナデ, 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	75	7620(E-17/電層)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	ナデ	貝割突(横), 貝押し(横) 貝条痕(横)	長角, 石	口縁部, 縦位割突	
	76	16418(F-17/電層)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	胴部, 落ち込み	
	77	16507(G-9/電層) 16679(G-10/電層)	Hue10YR6/3 (にふい黄棕色)	Hue10YR4/4 (淡黄棕色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横) 貝押し(横)	長角, 石	口縁部(内)炭化物付着, 横位割突	
	323	78	7320(C-23/電層)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横斜) 貝押し(横)	長角	口縁部, 横位割突
		79	7712(E-16/電層)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄棕色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横斜) 貝押し(横)	長角, 石	口縁部(内)炭化物付着, 斜位割突
		80	11209(F-15/電層) 12068(F-15/電層)	Hue10YR5/3 (にふい黄棕色)	Hue10YR5/3 (にふい黄棕色)	ナデ	貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突, 81, 84と同一か?
		81	11028(F-17/電層)	Hue10YR5/3 (にふい黄棕色)	Hue10YR5/3 (にふい黄棕色)	ナデ	貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突, 80, 84と同一か?
		82	16681(G-10/電層)	Hue7.5YR6/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横)	長角, 石	口縁部, 横位割突
83		7282(C-22/電層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突	
84		11186(F-16/電層) 7674(E-17/電層)	Hue10YR5/3 (にふい黄棕色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突, 80, 81同一か?	
85		16451(F-11/電層) 16503(G-9/電層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突, 雲母	
86		7273(C-22/電層)	Hue10YR3/2 (黄褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突	
87		1650(B-12/電層) 16441(F-11/電層) 16504(G-9/電層) 16678(G-10/電層)	Hue10YR7/3 (にふい黄棕色)	Hue2.5Y3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部, 横位割突	
324		88	8911(C-24/電層)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横)	長角	口縁部, 口唇部刻み有り
		89	12069(F-16/電層)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	Hue7.5YR6/6 (棕色)	ナデ	ナデ, 貝割突(横)	角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り

第83表 II類土器観察表(5)

種別 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
324	90	11646(F-15/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR5/6 (明褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	口縁部	
	91	5716(E-6/甕層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	92	8119(D-24/甕層)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横) 貝押し(横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	93	8876(E-17/甕層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	94	11207(F-15/甕層)	Hue2 5Y3/2 (黒褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	口縁部,口唇部刻み有り	
	95	8352(F-15/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	96		Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長角	口縁部,口唇部刻み有り	
	97	7663(E-17/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR5/6 (明褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長角	口縁部,口唇部刻み有り	
	98	8191(E-14/甕層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長角	口縁部,口唇部刻み有り	
	99	7317(C-23/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(縦横)	長角,石	口縁部付近	
	100	8111(C-23/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue5YR4/3 (にふい赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	口縁部付近	
	101	12038(E-16/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り 105と同一か?	
	102	8370(F-15/甕層)	Hue2 5Y3/1 (黒褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,炭化物付着	
	103	7678(E-17/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部付近,104と同一か?	
	104	7795(D-18/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,口唇部刻み有り 103と同一か?	
	105	7684(E-17/甕層) 8385(E-15/甕層) 11659(E-16/甕層) 11660(E-16/甕層) 11661(E-16/甕層) 11994(F-16/甕層) 12041(E-15/甕層) 12072(E-16/甕層)	Hue5YR6/6 (明赤褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横) 貝刺突(縦横)	長角,石	口縁部,(内)金雲母, 口唇部刻み有り,101と同一か?	
	325	106	8277(G-12/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,縦位刺突
		107	11115(E-16/甕層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,縦位刺突
		108	12315(E-16/甕層)	Hue5YR6/6 (明赤褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	底部付近,胎土細かい
		109	8115(D-24/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	胴部,砂粒大
110		7309(C-23/甕層)	Hue10YR7/6 (明黄褐色)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,(内)炭化物付着	
111		8114(D-24/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR7/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	胴部,砂粒大	
112		11075(F-16/甕層) 11076(F-16/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,雲母	
113		16515(G-9/甕層) 16655(G-9/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue2 5Y4/1 (灰白色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	口縁部,(内)炭化物付着	
114		7262(D-21/甕層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR8/4 (淡黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	胴部,胎土密	
115		8386(F-14/甕層) 11970(F-16/甕層)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue2 5Y6/4 (にふい黄色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部	
116		11407(E-16/甕層)	Hue5YR6/6 (明赤褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,胎土密	
117		8339(F-15/甕層) 8417(F-15/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,砂粒多い	
118		7409(D-24/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,砂粒多い	
119		16490(F-9/甕層)	Hue7 5YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,砂粒多い	
120		8031(E-17/甕層)	Hue10YR5/4 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,砂粒多い,樹皮痕粘着	
121		7664(E-17/甕層)	Hue2 5Y6/3 (にふい黄色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角	底部付近,刻み有り	
122		8389(F-14/甕層)	Hue7 5YR7/6 (橙色)	Hue7 5YR7/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,砂粒多い	
123		12023(E-16/甕層)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ,貝押し(横)	長角,石	胴部,(内)炭化物付着	

3 皿類 石坂式土器 (第327図～第333図)

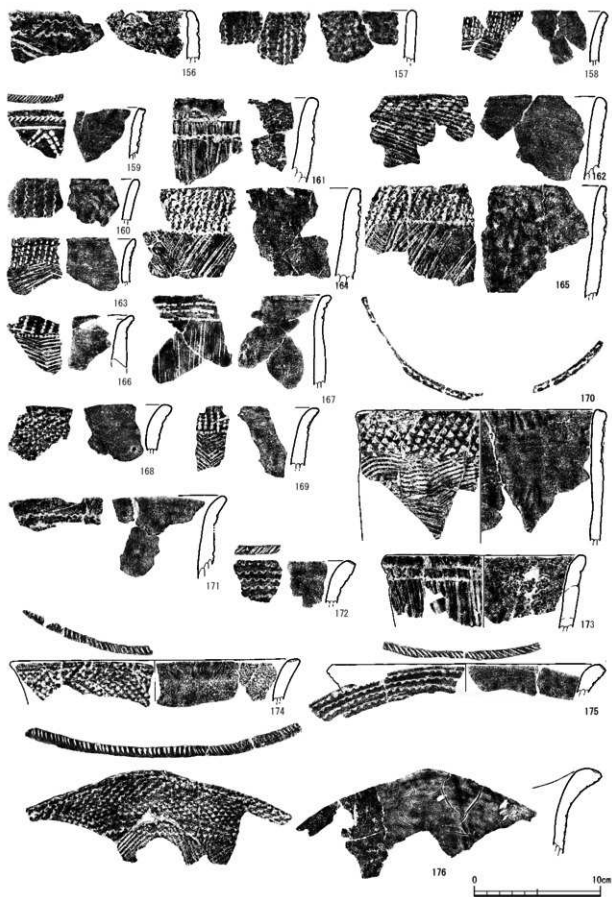
平底の底部をもち、円筒形に立ち上がる器形で口縁部は直立するもの(157, 161, 162, 165, 170)と、外反するもの(166, 167, 176, 177, 178)があり、外反する口縁部が卓越する。器形は口縁部が直立するものは円筒形を呈し、

外反すると胴部の中位から上位でやや膨らむ特性をみせる。また、外反する口縁部を成すものの中には、平縁と4隅が突出する山形口縁の2種類に分かれる。

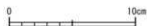
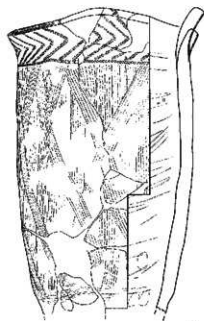
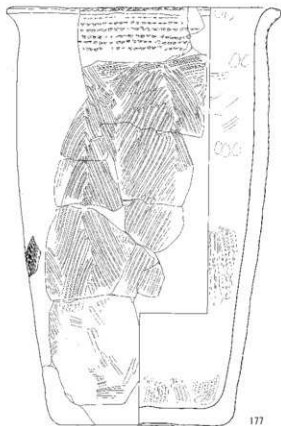
これらは貝殻燻灰文土器で、いわゆる石坂式土器に分

第84表 II類土器観察表(6)

標記 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
325	124 7378(D-24/甕層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	胴部, (外) 雷母	
	125 16436(F-11/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝割突(縦横)	長角, 石	口縁部～胴部, 横位割突	
	126 11122(F-17/甕層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	胴部, (外) 赤化	
	127 8381(F-15/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR7/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り	
	128 8359(F-15/甕層) 8371(F-15/甕層) 11078(F-16/甕層) 11396(E-15/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR5/3 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横) 貝割突(縦横)	長角, 石	胴部, 砂粒多い	
	326	129 11670(F-16/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り, 器壁薄
		130 8919(C-24/甕層)	Hue7 5YR5/6 (明褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ	長角, 石	底部, 砂粒多い
		131 7268(D-22/甕層)	Hue2 5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ	長角	底部, 器壁薄
132 7263(D-21/甕層)		Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/6 (黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り	
133 7315(C-23/甕層)		Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 刻み有り	
134 16417(F-17/X層)		Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 刻み有り, 落ち込み	
135 8045(E-17/X層) 16420(F-17/X層)		Hue2 5Y4/1 (黄灰色)	Hue2 5Y6/3 (にふい黄色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り, 砂粒大, 落ち込み	
136 11098(E-16/甕層)		Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り	
137 8120(D-24/甕層)		Hue7 5YR7/6 (褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 砂粒多い	
138 7413(C-23/甕層) 一括(C-24/甕層)		Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 底部(外) 灰化物付着 口縁部刻み有り器壁薄	
139 8414(F-15/甕層)		Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り	
140 11000(F-17/甕層)		Hue7 5YR6/6 (褐色)	Hue7 5YR7/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 刻み有り	
141 7272(D-22/甕層)		Hue5YR6/6 (褐色)	Hue5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ	長角, 石	底部, 刻み有り, 器壁薄	
142 16521(G-9/甕層)		Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 縦刻み有り	
143 7295(C-23/甕層)		Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ	長角, 霰	底部, 砂粒多い	
144 8396(F-14/甕層)		Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(縦横)	長角, 石	底部, 底部(外) 灰化物付着	
145 7375(D-24/甕層) 7419(C-22/甕層)		Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 縦刻み有り	
327		146 8410(G-15/甕層)	Hue10YR5/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り
	147 8560(D-18/甕層)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(縦横)	長角, 石	底部, 刻み有り	
	148 2376(D-8/甕層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り, 赤化	
	149 7724(E-16/甕層)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(縦横)	長角, 石	底部, 刻み有り	
	150 7587(E-16/甕層) 7716(E-16/甕層)	Hue5YR6/6 (褐色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部	
	151 8424(E-13/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	ナデ	ナデ	長角, 石	底部, 砂粒多い	
	152 7410(D-24/甕層) 8920(C-24/甕層)	Hue2 5YR5/8 (明赤褐色)	Hue2 5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 赤化	
	153 7269(D-22/甕層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(縦横)	長角, 石	底部, 刻み有り	
	154 12003(F-15/甕層)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角	底部, 刻み有り	
	155 8330(G-15/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押し(横)	長角, 石	底部, 刻み有り	



第328圖 III類土器実測圖(1)



第329図 III類土器実測図(2)

類される。

口唇部の形状は平坦(158, 164, 165), やや尖り気味(163, 166), あるいは丸く(160, 174, 177等) 整形し, 丸く整形するものが卓越する。いずれも上面に刻みを施す。口縁部直下の限られた部分に, 貝殻腹縁刺突文を横位(172, 175, 176, 193等, 貝殻刺突縦文)または縦位(157, 158, 160等), あるいは斜位(170, 176, 178, 181等),

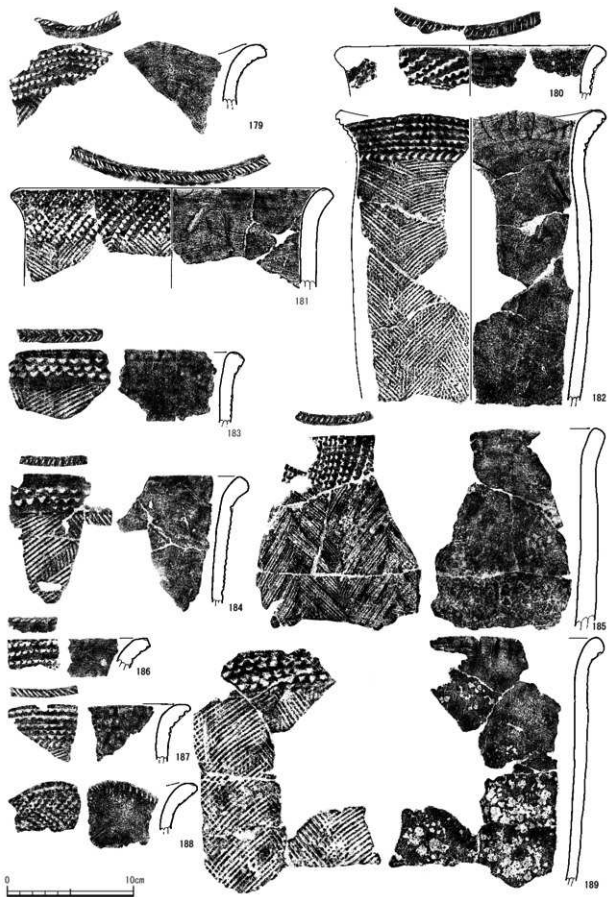
に施し巡らす。胴部には貝殻条痕文による綾杉状条痕が全面に施文され, 内面は丁寧にナデた仕上げが一般的である。器壁は厚め(10~14mm)となる。

胴部施文は綾杉状が一般的であるが, (211, 243)は縦方向, (210, 219)では個性をみせる。

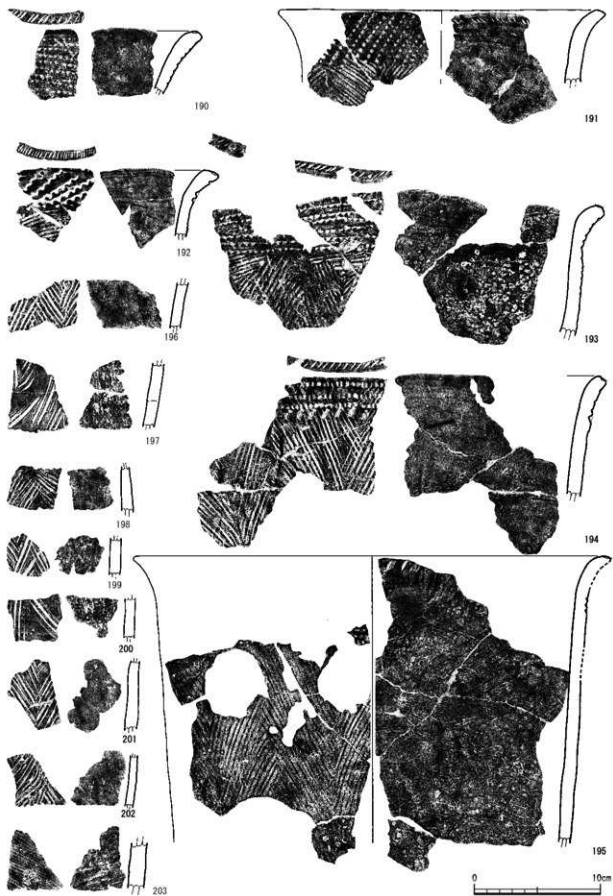
底部の両端は, 鋭角に整形することなく, 少々丸みを成す緩やかな形状を示す。

第85表 III類土器観察表(1)

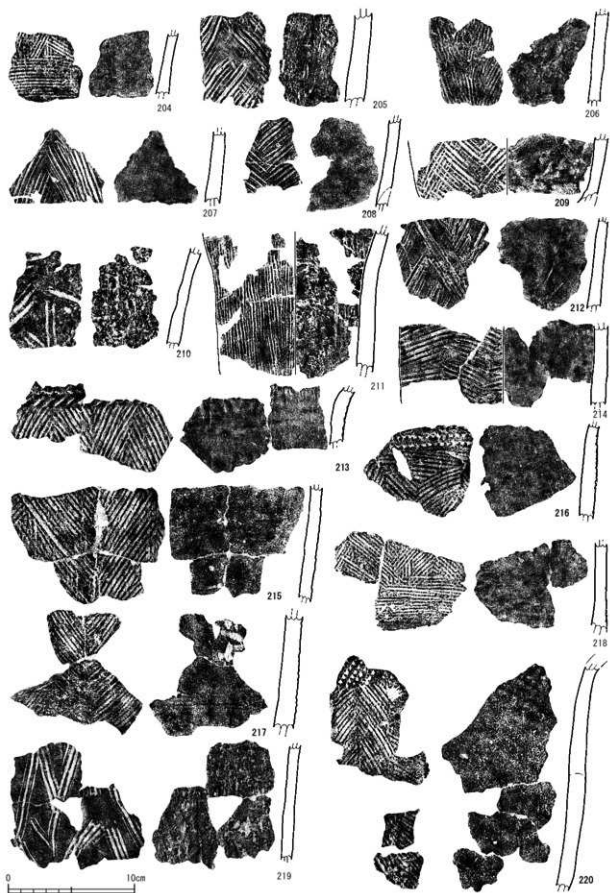
種目 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
328	156	8561(D-18/電層)	Hue2 5Y6/2 (灰黄色)	Hue2 5Y3/1 (黒褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長石	口縁部, 口唇部刻み有り
	157	7763(D-17/電層) 7888(E-17/電層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(縦)	長石	口縁部, 口唇部平坦
	158	7648(D-17/電層)	Hue7 5YR4/2 (灰褐色)	Hue7 5YR4/2 (灰褐色)	ナデ	貝条痕(横), 貝刺突(縦)	長角石	口縁部, 口唇部平坦
	159	7812(E-16/電層)	Hue7 5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue7 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長角石	口縁部, 口唇部刻み有り
	160	7682(E-17/電層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝刺突(縦)	長角石	口縁部
	161	7691(E-17/電層)	Hue7 5YR1.7/1 (黒色)	Hue7 5YR4/3 (褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長角石	口縁部, 貝殻刺突
	162	7966(D-18/電層)	Hue7 5YR3/1 (黒褐色)	Hue7 5YR6/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝条痕(横)	長角石	口縁部, 口縁部直立
	163	7651(E-17/電層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR4/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(横), 貝刺突(縦)	長角石	口縁部
	164	8918(C-24/電層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝刺突(縦斜), 貝条痕(斜)	長角石	口縁部, 口唇部平坦
	165	7329(C-24/電層) 8915(C-24/電層)	Hue7 5YR3/1 (黒褐色)	Hue7 5YR6/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(縦斜), 貝条痕(斜)	長角石	口縁部, 口唇部平坦
	166	11055(E-16/電層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜), 貝刺突(縦)	長石	口縁部



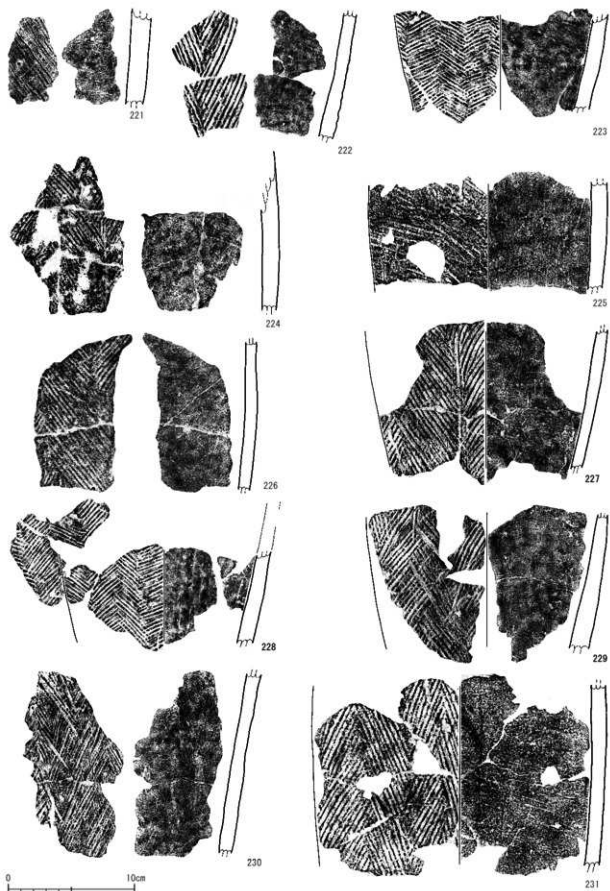
第330圖 III類土器実測圖(3)



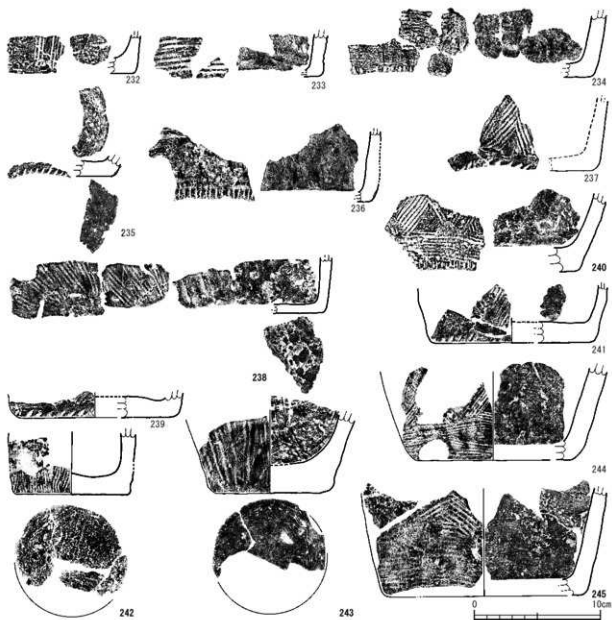
第331圖 III類土器実測圖(4)



第332圖 III類土器実測圖(5)



第333圖 III類土器実測圖(6)



第334図 III類土器実測図(7)

第86表 III類土器観察表(2)

挿入 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
328	167	7791(D-18/甕層) 8041(E-17/甕層)	Hue7.5YR5/3 (にふい褐色)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(縦), 貝刺突(横)	長角石	口縁部
	168	11032(E-17/甕層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長角石	口縁部, 口唇部別み有り
	169	7592(E-16/甕層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR4/1 (暗灰色)	ナデ	貝刺突(縦), 貝条痕(斜)	長角石	口縁部
	170	7565(E-17/甕層) 7683(E-17/甕層)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	Hue7.5YR6/4 (にふい橙褐色)	ナデ	貝条痕(斜), 貝刺突(斜)	長角石	口縁部, 口唇部貝殻刺突
	171	7945(E-17/甕層)	Hue5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR3/2 (暗赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長角石	口縁部
	172	7814(E-16/甕層)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	Hue7.5YR6/4 (にふい橙褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長角石	口縁部, 口唇部別み有り
	173	7924(E-17/甕層) 7925(E-17/甕層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/3 (にふい赤褐色)	ナデ	貝条痕(縦), 貝刺突(横)	長角石	口縁部, 口唇部貝殻刺突
	174	7938(E-17/甕層) 11963(F-17/甕層)	Hue7.5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7.5YR6/4 (にふい橙褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長角石	口縁部, 口唇部別み有り

第87表 Ⅲ類土器観察表(3)

検出 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考						
328	175	8571(D-16/電層)	Hue7 5YR3/1	Hue5YR5/4	ナデ	貝割突(横)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		11658(E-16/電層)	11091(F-16/電層)	(黒褐色)	(にふい赤褐色)									
176	7526(D-17/電層)	11032(E-17/電層)	Hue7 5YR4/1	Hue7 5YR5/4	ナデ	貝割突(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		11108(E-16/電層)	(褐色)	(にふい褐色)										
329	177	7616(E-17/電層)	Hue7 5YR5/6	Hue7 5YR6/4	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部～底部 (内)あばた状剥落 (外)下半部あばた状剥落赤化 口唇部刻み有り、縞彩条痕						
		7631(E-17/電層)	7605(E-17/電層)	7934(E-17/電層)	7935(E-17/電層)	7937(E-17/電層)	7953(F-17/電層)	(明褐色)	(にふい褐色)					
178	7675(E-17/電層)	7679(E-17/電層)	Hue10YR7/4	Hue10YR7/4	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部下半部 (内)炭化物付着あばた状剥落 (外)剥落下半部赤化 横位貝割突 口唇部刻み有り、縞彩条痕						
		7703(E-17/電層)	7704(E-17/電層)	7916(E-17/電層)	7960(F-17/電層)	7973(E-17/電層)	7999(E-18/電層)	(にふい黄褐色)	(にふい黄褐色)					
330	179	7941(E-17/電層)	Hue5YR2/1	Hue5YR3/3	ナデ	貝割突(横)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		11964(F-16/電層)	Hue5YR4/2	Hue7 5YR5/4	ナデ	貝割突(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
181	7747(D-17/電層)	8028(E-17/電層)	Hue7 5YR3/1	Hue7 5YR5/4	ナデ	ナデ、貝条痕(斜)、 貝割突(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		8078(D-18/電層)	Hue5YR4/4	Hue7 5YR2/1	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部、口唇部刻み有り						
182	7715(E-16/電層)	8078(D-18/電層)	Hue5YR4/4	Hue7 5YR2/1	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部、口唇部刻み有り						
		11435(E-16/電層)	12025(E-16/電層)	(にふい赤褐色)	(黒色)									
183	11126(F-17/電層)	11126(F-17/電層)	Hue7 5YR7/6	Hue7 5YR7/6	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		11653(F-16/電層)	11977(F-16/電層)	11986(F-16/電層)	11996(F-16/電層)	Hue7 5YR7/6	Hue7 5YR7/4	(褐色)	(にふい褐色)					
185	8342(F-15/電層)	8335(F-15/電層)	Hue7 5YR5/6	Hue7 5YR6/8	ナデ	貝割突(縦斜) 貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部、口唇部刻み有り						
		8356(F-15/電層)	8357(F-15/電層)	8366(F-15/電層)	Hue7 5YR3/3	Hue7 5YR5/4	(暗褐色)	(にふい褐色)						
187	7913(E-17/電層)	7913(E-17/電層)	Hue5YR6/4	Hue5YR6/4	ナデ	貝割突(横)	長石	口縁部、口唇部刻み有り						
		11166(F-16/電層)	Hue7 5YR5/4	Hue7 5YR5/3	ナデ	貝割突(斜)	長角石	口縁部						
189	8336(F-15/電層)	8335(F-15/電層)	Hue7 5YR6/6	Hue7 5YR6/6	ナデ	貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部 (内外)下半部あばた状剥落 口唇部刻み有り						
		8356(F-15/電層)	8357(F-15/電層)	8366(F-15/電層)	(褐色)	(褐色)								
331	190	11202(F-16/電層)	Hue10YR5/4	Hue7 5YR6/4	ナデ	貝割突(横)	長石	口縁部、口唇部刻み有り						
		7615(E-17/電層)	Hue7 5YR4/2	Hue7 5YR5/4	ナデ	貝条痕(斜)、貝割突(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
192	11117(E-16/電層)	7917(E-17/電層)	Hue7 5YR4/2	Hue7 5YR5/4	ナデ	貝割突(斜)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		7598(E-17/電層)	Hue7 5YR3/1	Hue5YR5/6	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部(内)あばた状剥落、 口唇部刻み有り						
193	7906(E-17/電層)	10995(F-17/電層)	Hue7 5YR3/1	Hue5YR5/6	ナデ	貝割突(横)、貝条痕(斜)	長角石	口縁部(内)あばた状剥落、 口唇部刻み有り						
		10995(F-17/電層)	(暗褐色)	(明赤褐色)										
194	12056(E-15/電層)	12061(F-15/電層)	Hue7 5YR6/6	Hue7 5YR6/6	ナデ	貝条痕(斜)、貝割突(横)	長角石	口縁部、口唇部刻み有り						
		12322(F-15/電層)	(褐色)	(褐色)										
195	7772(D-17/電層)	11094(E-16/電層)	Hue7 5YR5/4	Hue5YR6/6	ナデ	貝条痕(斜)	長角石	口縁部～胴部、(外)剥落多い						
		11222(F-16/電層)	11647(F-15/電層)	11648(F-15/電層)	12007(F-15/電層)	12052(E-15/電層)	12060(F-15/電層)	12067(F-15/電層)	12321(F-16/13層)	(にふい褐色)	(褐色)			
196	7887(E-18/電層)	7887(E-18/電層)	Hue7 5YR6/4	Hue7 5YR2/1	ナデ	貝条痕(斜)	長角石	胴部						
		(にふい褐色)	(黒色)											

第88表 III類土器観察表(4)

種別 No	品 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
331	197	7374(D-18/電層) 7872(E-18/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue7 5YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	198	7564(E-17/電層)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	199	8024(E-17/電層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	200	8563(D-18/電層)	Hue7 5YR5/2 (灰褐色)	Hue7 5YR5/2 (灰褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	201	7646(D-17/電層)	Hue7 5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	202	7681(E-17/電層)	Hue7 5YR5/2 (灰褐色)	Hue7 5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部、(内)炭化物付着	
	203	7049(G-9/VI層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部	
	332	204	7572(E-16/電層)	Hue10YR5/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(横斜)	長角石	底部付近 218と同一か?
		205	7889(F-17/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部
		206	11119(E-16/VI層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部
207		12049(E-15/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
208		7652(E-17/電層) 7668(E-17/電層)	Hue5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue7 5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
209		7997(E-18/電層)	Hue5YR6/4 (にふい橙色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部	
210		7799(E-18/電層)	Hue2 5Y6/2 (灰黄色)	Hue2 5Y5/1 (灰灰色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部	
211		7574(E-16/電層) 7722(E-16/電層) 7723(E-16/電層) 7794(D-18/電層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝殻色(縦)	長角石	胴部、縦筋条痕	
212		8917(C-24/電層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部	
213		7590(E-16/電層) 8329(G-15/電層)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)、貝刺突(斜)	長角石	口縁部付近～胴部、指ナデ調整痕	
214	7561(D-17/電層) 7793(D-18/電層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部		
215	7695(E-17/電層) 7808(E-16/電層) 7809(E-16/電層)	Hue5YR4/4 (にふい赤褐色)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部		
216	7893(E-18/電層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部		
217	7588(E-16/電層) 7635(E-17/電層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部		
218	7437(E-17/電層) 7690(E-17/電層)	Hue5YR5/3 (にふい赤褐色)	Hue7 5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻色(横斜)	長角石	胴部、204と同一か?		
219	7780(D-17/電層) 7838(D-17/電層) 7873(E-18/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部		
220	7595(E-16/電層) 7831(D-17/電層) 7848(D-18/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)、貝刺突(斜)	長角石	口縁部付近～胴部		
333	221	7892(E-17/電層)	Hue7 5YR5/3 (にふい褐色)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(横)	長角石	胴部	
	222	7807(E-16/電層) 12022(E-16/電層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部、(内)丁寧なナデ	
	223	7711(E-17/電層) 7900(E-17/電層) 11394(E-16/電層)	Hue7 5YR6/4 (にふい橙色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部	
	224	7711(E-17/電層) 7793(D-18/電層)	Hue7 5YR5/3 (にふい褐色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石、 砂	胴部、(外)剥落	
	225	7725(E-16/8層)	Hue5YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部、(外)厚減、砂粒細	
	226	7759(D-17/電層)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	Hue10YR5/4 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部	
	227	7856(D-18/電層) 7881(E-18/電層) 8559(D-18/電層) 12310(E-15/13層) 12318(E-16/13層)	Hue7 5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝殻色(斜)	長角石	胴部、(内)丁寧なナデ、 縦位区画有り	

第89表 III類土器観察表(5)

種別 No	図 No	取上番号 出土区/層位	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
333	228	7991(D-18/甕層) 8032(F-17/甕層) 8084(D-18/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	胴部、砂粒細
	229	7632(E-17/甕層) 7891(E-17/甕層)	Hue10YR6/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	胴部
	230	7332(C-24/甕層) 8916(C-24/甕層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	胴部
	231	7573(E-16/甕層) 7600(E-16/甕層) 7751(D-17/甕層) 11005(F-17/甕層) 11039(E-16/甕層) 11439(E-16/甕層) 12030(E-16/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	胴部、(内)丁寧なナデ
	232	7694(E-17/甕層)	Hue5YR4/4 (にふい赤褐色)	Hue5YR3/2 (暗赤褐色)	ナデ	貝殻痕(縦)	長角石、 砂	底部
334	233	一筋(E-18/甕層)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻痕(横)	長角石	底部、横位条痕
	234	7932(E-17/甕層)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/2 (灰褐色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石	底部、底部刻み有り
	235	11072(F-16/甕層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝殻痕(縦)	長角石	底部、底部刻み有り
	236	7279(C-22/甕層)	Hue10YR7/4 (にふい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝殻痕(縦)	長角石	底部、底部刻み有り
	237	7849(D-18/甕層) 7995(D-18/甕層)	Hue2 5YR6/6 (橙色)	Hue2 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	底部、底部刻み有り
	238	2557(D-8/甕層) 11644(F-15/甕層)	Hue2 5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue5YR5/4 (にふい赤褐色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長石	底部
	239	7844(D-18/甕層)	Hue5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue5YR4/3 (にふい赤褐色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	底部、底部刻み有り
	240	7918(E-17/甕層)	Hue7 5YR6/4 (にふい褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝殻痕(横斜)	長角石	底部、底部刻み有り、横位条痕
	241	8075(D-18/甕層) 8089(D-18/甕層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝殻痕(斜)	長角石、 砂	底部、底部刻み有り
	242	7904(E-17/甕層) 7914(E-17/甕層) 7915(E-17/甕層) 8038(E-17/甕層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝殻痕(横斜)	長角石、 砂	底部、底部(外)白色付着物
	243	7739(E-17/甕層) 7939(E-17/甕層) 8033(E-18/甕層)	Hue5YR5/4 (にふい赤褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	貝殻痕(縦)	長角石	底部、縦位条痕
	244	7778(D-17/甕層)	Hue7 5YR5/4 (にふい褐色)	Hue7 5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝殻痕(横斜)	長角	底部、横位条痕
	245	7740(E-17/甕層) 8555(D-17/甕層) 8556(D-17/甕層)	Hue10YR8/4 (浅黄褐色)	Hue10YR6/3 (にふい黄褐色)	ナデ	貝殻痕(縦)	長角石、 砂	底部、横位条痕

4 IV類 円筒形土器 (第336図)

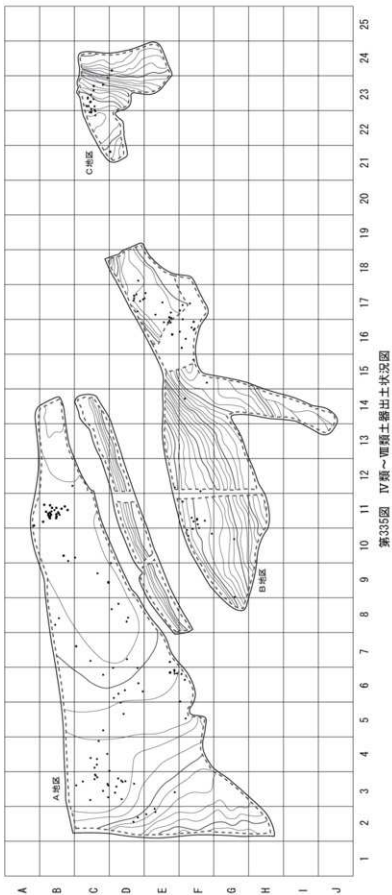
平底の底部で、胴部中央付近で緩やかに膨らみそのまま直立する器形の貝殻条痕文土器で、いわゆる貝殻状痕円筒形土器に分類される。

器壁が厚くなり、口唇部は厚く丸みをなし、刻みを施すことは無い。文様は外面の口縁部から胴部上半部分に限定し、貝殻押し文を巡らす。出土資料は2分でき、(257, 258)の小型土器とその他の大振りな土器とがある。両方とも、内面はヘラ状工具で入念にナデ仕上げを行い、小型土器では光沢を保っている。

小型土器では肋の細かい貝殻を用い、大振りな土器では肋の大きいものを用いている。260は貝殻突刺線文を巡らしたその下に押し文を、264では押し文を上下2列並行する施文がみられる。

261の底部は、緩やかに弯曲しながら膨らむ形状を呈している。確認はできていないが、形状や器壁、胎土等の特徴からIV類と判断した。

258で11cm、263で17cm、264で21cm程の口径が復元できる。



第335図 IV類～V類土器出土状況図